

男女ハートフル共生プラン
～茂原市男女共同参画計画（第3次）～

平成30年度事業評価報告書

令和2年2月

茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会
茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会

目次

- ◆ はじめに . . . 1
- ◆ 1. 茂原市男女共同参画計画（第3次）推進体制 . . . 1
- ◆ 2. 茂原市男女共同参画計画（第3次）の評価の方法 . . . 3
- ◆ 3. 事業評価スケジュール . . . 4
- ◆ 4. 茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会からの提言・要望
. . . 5
- ◆ 平成30年度事業一覧 . . . 6
- ◆ 事業評価シート No.1～60 . . . 9

はじめに

今日、少子高齢化が過去に例を見ないほどのスピードで進展し、また、市民生活を取り巻く社会経済環境は目まぐるしく変化しています。労働形態や家族形態も様変わりし、個々のライフスタイル・価値観も多様化しています。このような中、性別にとらわれずお互いを尊重し合い、一人ひとりが職場・家庭・地域等において責任と喜びを分かち合う「男女共同参画社会」の実現は、わが国における最重要課題の一つとされています。

茂原市では、平成28年3月に「男女ハートフル共生プラン～茂原市男女共同参画計画（第3次）～」を策定し、男女共同参画施策の推進に取り組んでおります。

計画の進行管理については、毎年度、事業の進捗状況について、担当課による1次評価（自己評価）、庁内組織である「茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会（以下、「推進委員会」という）」による2次評価及び市民で構成される「茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会（以下、「協議会」という）」による3次評価（外部評価）を実施しています。

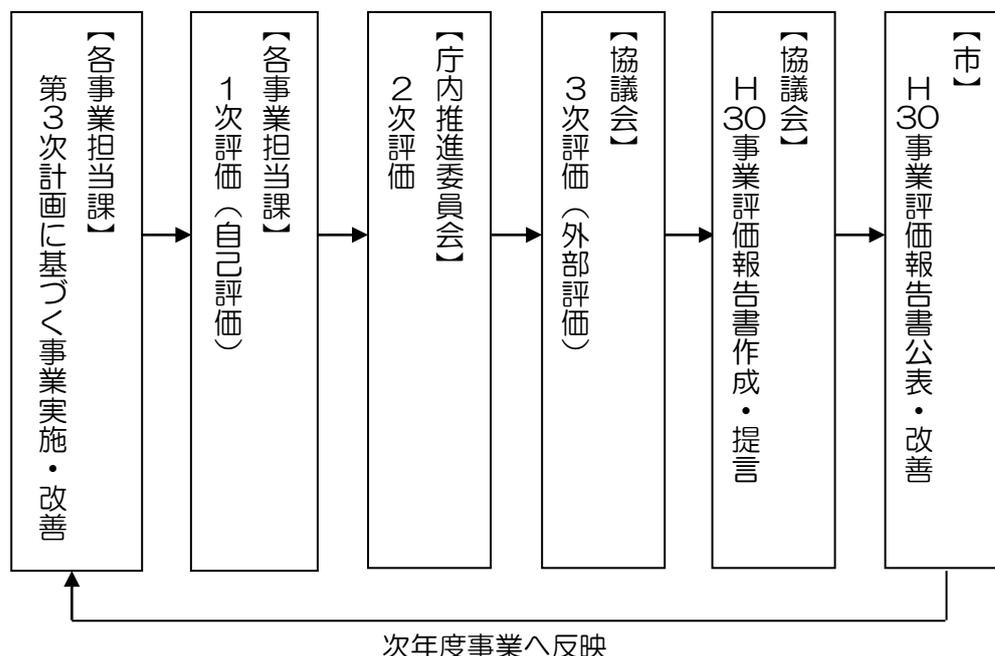
外部評価を行うことにより、評価の透明性が確保され、市民目線も取り入れた男女共同参画施策がさらに効果的に推進されることが期待できます。

平成30年度の事業評価にあたり、2次評価では全60事業を、3次評価（外部評価）では60事業のうちの23の重点評価事業について、重点的に評価を行いました。

この「平成30年度 事業評価報告書」は、計画に掲げる施策を推進するため、プランに掲げた各事業の「実施結果及び次年度の取り組み」とともに推進委員会及び協議会が行った事業評価等を一体的に掲載したものであり、各事業担当課において施策の見直しや方向性について協議・検討を行い、次年度以降の取り組みに反映できるようにすることを目指し提言するものです。

1. 茂原市男女共同参画計画（第3次）推進体制

◆ 茂原市男女共同参画計画（第3次）推進体制連携図



◆「茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会」（市役所内組織）16名

茂原市男女共同参画計画に基づく施策の進行管理と男女共同参画に関する意識啓発を行う、市役所内各部から男女1名ずつ選出された委員で構成される委員会

<茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会委員>

氏名	所属	役職
矢部 和宏	総務部	委員
金杉 真那		委員
山西 久美子	企画財政部	委員
神馬 洋		委員
大多和 絵里	市民部	委員
米倉 雅也		委員
蕨 希子	福祉部	委員
石井 達也		委員
丸島 源太郎	経済環境部	委員
中村 香織		委員
古山 茂生	都市建設部	委員
渡辺 尚美		委員長
山田 遥	教育部	委員
大多和 新士		委員
梶 貴代	議会・農業委員会・選挙管理 委員会・監査委員 事務局	委員
東條 成男		副委員長

【任期1年：平成31年4月1日～令和2年3月31日】

◆「茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会」（外部組織）10名

茂原市における男女共同参画社会の実現を目指し、男女共同参画の総合的推進を図る組織として市民で構成された協議会

<茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会委員>

氏名	役職	区分
大塚 節子	会長	学識経験者
丸嶋 輝夫	副会長	一般公募
小久保 とも子	委員	市議会議員
内山 明治	委員	一般公募
及川 哲子	委員	一般公募
織本 厚子	委員	一般公募
白土 和子	委員	一般公募
永沼 洋子	委員	一般公募
丸岡 一人	委員	一般公募
森川 礼子	委員	関係諸団体の代表者

【任期2年：平成31年4月1日～令和3年3月31日】

2. 茂原市男女共同参画計画（第3次）の評価の方法

「茂原市男女共同参画計画（第3次）」では、男女共同参画を推進するため、市が取り組むべき事業として60事業を掲げ、50事業について指標（数値目標）を設けています。基本計画の進捗状況の評価にあたっては、まず事業担当課による自己評価（1次評価）及び庁内組織の「男女共同参画社会づくり推進委員会」による2次評価を行い、続いて全事業のうちから抽出された重点評価事業について、外部組織である「茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会」が3次評価を行い、「平成30年度事業評価報告書」としてまとめました。

①評価の方法

評価者	判定区分
<p>1次評価 【各事業担当課】 茂原市男女共同参画計画（第3次）に掲げられた事業について、「事業評価シート」により <u>1次評価（自己評価）</u>を実施</p> 	<p>【項目評価基準】 4：十分達成している （90%以上） 3：概ね達成されている （70%以上）</p>
<p>2次評価 【茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会】 （市役所内組織） 全事業について、事業担当課から提出されたシートにより <u>2次評価</u>を実施</p> 	<p>2：達成が半ばであり改善を要する （50%以上） 1：不十分である （50%未満）</p>
<p>3次評価 【茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会】 （外部組織） 推進委員会の評価後、重点評価事業について、事業評価シートにより <u>3次評価（外部評価）</u>を実施 事業評価報告書を作成し、市へ提出</p>	<p>【総合評価基準】 A：十分な成果を上げた （達成度8割以上） B：ある程度の成果を上げた （達成度4割～7割） C：事業の対象や見直しが必要 （達成度3割以下）</p>

3. 事業評価スケジュール

茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会

- ◆第1回 茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会（令和元年5月22日開催）
 - ・委員長、副委員長の選出
 - ・茂原市における男女共同参画の取り組みについての研修
 - ・平成30年度事業評価
- ◆第2回 茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会（令和元年6月25日開催）
 - ・平成30年度事業評価
- ◆第3回 茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会（令和元年6月28日開催）
 - ・平成30年度事業評価

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会

- ◆第1回 茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会（平成31年4月23日開催）
 - ・委員長、副委員長の選出
 - ・茂原市における男女共同参画の取り組みについての研修
 - ・平成30年度事業評価
- ◆第2回 茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会（令和元年7月31日開催）
 - ・平成30年度事業評価
- ◆第3回 茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会（令和元年8月5日開催）
 - ・平成30年度事業評価
- ◆第4回 茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会（令和元年8月13日開催）
 - ・平成30年度事業評価
- ◆第5回 茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会（令和元年8月26日開催）
 - ・平成30年度事業評価
- ◆第6回 茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会（令和元年9月17日開催）
 - ・平成30年度事業評価
- ◆第7回 茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会（令和元年9月26日開催）
 - ・平成30年度事業評価
- ◆第8回 茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会（令和元年10月31日開催）
 - ・平成30年度事業評価
- ◆茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会から市長へ「平成30年度 事業評価報告書」を提出（令和2年2月18日）

4. 茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会からの提言・要望

(1) 事業評価結果について

平成30年度事業評価結果については、その結果を公表するとともに、各事業担当課において施策の見直しや方向性について協議・検討を行い、次年度以降の各課の事業実施に反映するようお願いします。

平成30年度に実施された事業のほとんどは、例年通りの取り組みにとどまり、積極的な事業実施が展開できていないように思われます。事業としては高く評価できても、そこに「男女共同参画の視点」が入っているかということ、疑問が生じるものもあり、事業担当課・担当者の理解不足と考えられ、事業内容のさらなる見直しが必要と感じます。また、国・県等の施策に関する情報も取り入れていく必要があると考えます。

(2) 茂原市におけるさらなる男女共同参画の推進について

本年度は茂原市も数度の災害に見舞われました。今後、災害が増えていく可能性は高いと思われます。これから災害に関して様々な検討がされていく上で、「男女共同参画の視点」は不可欠です。女性が参画することで、備蓄や避難所運営等、様々なことを見直すことができます。是非とも対策を検討する場に、半数は女性を参画させていただきたいと考えます。

DVを含む家庭内暴力は大きな社会問題となっています。児童虐待、男女間において、高齢者に対してと様々なところで発生していますが、現在はどこに相談に行ったらいいのか、そこから考える状況です。これらは一つの課で解決できる問題ではないため、いくつかの課が連携することが重要です。「男女共同参画推進室」を設置し、各課の関連する問題を繋げる役割をすることが必須です。

少子高齢化が加速する中、人口減少問題、子育て支援等、幼少時からの人権教育、高齢社会、様々な対応には「男女共同参画の視点」は必要不可欠です。

「働き方改革」が言われています。男女それぞれが頑張ることができることではありません。男女共同参画社会を実現することで変えていくことができるのです。

これらの問題解決のためにも、関連する諸問題に対してリーダーシップを取り、繋げていくことができる「男女共同参画推進室」を設置することを早急に検討し、男女共同参画社会の実現に大きな一歩を踏み出していただくことを強く要望します。

平成30年度事業一覧

評価指標 **A:**十分な成果を上げた（達成度8割以上）
B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）
C:事業の対象や見直しが必要（達成度3割以下）

事業No.	事業名（具体的取り組み）	担当課	重点評価事業	基本目標	主要課題	施策の方向	1次評価	2次評価	3次評価
1	人権に関する教育および意識啓発の推進	生活課		I 人権の尊重	I-1 人権尊重意識の啓発	I-1(1)人権を守るための社会づくり	A	A	/
2	職場におけるセクハラ・パワハラ等防止の促進	企画政策課	○	I 人権の尊重	I-1 人権尊重意識の啓発	I-1(1)人権を守るための社会づくり	C	C	B
2	職場におけるセクハラ・パワハラ等防止の促進	商工観光課		I 人権の尊重	I-1 人権尊重意識の啓発	I-1(1)人権を守るための社会づくり	B	B	/
3	人権を守るための職員研修の実施および職員の研修参加機会の確保	職員課		I 人権の尊重	I-1 人権尊重意識の啓発	I-1(1)人権を守るための社会づくり	A	A	/
4	市民相談・人権相談に対する適切な対応	生活課		I 人権の尊重	I-1 人権尊重意識の啓発	I-1(2)相談体制の拡充	B	B	/
5	児童生徒の悩みに対する相談体制の充実	学校教育課		I 人権の尊重	I-1 人権尊重意識の啓発	I-1(2)相談体制の拡充	A	A	/
6	男女共同参画に関する講演会や講座などの開催	企画政策課		I 人権の尊重	I-2 男女平等の意識づくり	I-2(1)男女平等意識啓発の推進	B	B	/
7	男女共同参画に関する意識啓発	企画政策課	○	I 人権の尊重	I-2 男女平等の意識づくり	I-2(1)男女平等意識啓発の推進	B	C	B
8	男女共同参画に関する市職員研修の実施	職員課		I 人権の尊重	I-2 男女平等の意識づくり	I-2(1)男女平等意識啓発の推進	B	B	/
9	男女共同参画の視点による表現ガイドラインの周知	企画政策課	○	I 人権の尊重	I-2 男女平等の意識づくり	I-2(1)男女平等意識啓発の推進	C	C	B
10	男女平等意識を育むための家庭教育学級の開催	生涯学習課		I 人権の尊重	I-2 男女平等の意識づくり	I-2(2)地域・家庭・職場における男女平等意識啓発の推進	A	A	/
11	地域活動における男女共同参画の促進	生活課		I 人権の尊重	I-2 男女平等の意識づくり	I-2(2)地域・家庭・職場における男女平等意識啓発の推進	B	B	/
12	乳幼児・児童・生徒の発達段階に応じた人権尊重・男女平等に関する保育・教育の推進	子育て支援課		I 人権の尊重	I-3 男女平等の視点に立った教育・学習の推進	I-3(1)保育所・幼稚園・学校における男女平等教育の推進	B	B	/
12	乳幼児・児童・生徒の発達段階に応じた人権尊重・男女平等に関する保育・教育の推進	学校教育課		I 人権の尊重	I-3 男女平等の視点に立った教育・学習の推進	I-3(1)保育所・幼稚園・学校における男女平等教育の推進	B	B	/
13	教職員等に対する男女共同参画に関する研修の実施	子育て支援課		I 人権の尊重	I-3 男女平等の視点に立った教育・学習の推進	I-3(1)保育所・幼稚園・学校における男女平等教育の推進	A	A	/
13	教職員等に対する男女共同参画に関する研修の実施	学校教育課		I 人権の尊重	I-3 男女平等の視点に立った教育・学習の推進	I-3(1)保育所・幼稚園・学校における男女平等教育の推進	B	B	/
14	個性を生かした性別にとらわれない進路指導の推進	学校教育課		I 人権の尊重	I-3 男女平等の視点に立った教育・学習の推進	I-3(1)保育所・幼稚園・学校における男女平等教育の推進	A	B	/
15	学校における国際理解教育の推進	学校教育課		I 人権の尊重	I-3 男女平等の視点に立った教育・学習の推進	I-3(1)保育所・幼稚園・学校における男女平等教育の推進	B	B	/
16	DVに関する相談窓口等の充実と周知徹底	子育て支援課	○	II あらゆる暴力の根絶	II-1 暴力の防止と被害者支援の充実	II-1(1)DV、虐待防止啓発の推進	A	A	A
16	DVに関する相談窓口等の充実と周知徹底	生活課	○	II あらゆる暴力の根絶	II-1 暴力の防止と被害者支援の充実	II-1(1)DV、虐待防止啓発の推進	B	B	B
16	DVに関する相談窓口等の充実と周知徹底	企画政策課	○	II あらゆる暴力の根絶	II-1 暴力の防止と被害者支援の充実	II-1(1)DV、虐待防止啓発の推進	A	A	A
17	相談員のDV等に関する相談技術の向上	子育て支援課	○	II あらゆる暴力の根絶	II-1 暴力の防止と被害者支援の充実	II-1(1)DV、虐待防止啓発の推進	A	A	A
18	DV防止に関する意識啓発	子育て支援課	○	II あらゆる暴力の根絶	II-1 暴力の防止と被害者支援の充実	II-1(1)DV、虐待防止啓発の推進	B	B	B

事業No.	事業名（具体的取り組み）	担当課	重点評価事業	基本目標	主要課題	施策の方向	1次評価	2次評価	3次評価
18	DV防止に関する意識啓発	企画政策課	○	Ⅱ あらゆる暴力の根絶	Ⅱ-1 暴力の防止と被害者支援の充実	Ⅱ-1(1)DV、虐待防止啓発の推進	A	B	B
19	障害者（児）の虐待防止	障害福祉課	○	Ⅱ あらゆる暴力の根絶	Ⅱ-1 暴力の防止と被害者支援の充実	Ⅱ-1(1)DV、虐待防止啓発の推進	A	B	B
20	DV対策について関係機関との連携の強化	子育て支援課	○	Ⅱ あらゆる暴力の根絶	Ⅱ-1 暴力の防止と被害者支援の充実	Ⅱ-1(2)被害者に対する支援、相談の充実	A	A	A
21	DV被害者のプライバシーに配慮した対応	国保年金課	○	Ⅱ あらゆる暴力の根絶	Ⅱ-1 暴力の防止と被害者支援の充実	Ⅱ-1(2)被害者に対する支援、相談の充実	A	A	A
22	DV被害者等における住民基本台帳等の閲覧等の制限	市民課	○	Ⅱ あらゆる暴力の根絶	Ⅱ-1 暴力の防止と被害者支援の充実	Ⅱ-1(2)被害者に対する支援、相談の充実	A	A	A
23	男女共同参画によるまちづくりの推進と審議会等委員への女性参画の拡大	企画政策課	○	Ⅲ 様々な分野における男女共同参画	Ⅲ-1 政策・方針決定過程における男女共同参画	Ⅲ-1(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進	B	A	A
24	広聴活動における女性の意見聴取機会の確保	秘書広報課	○	Ⅲ 様々な分野における男女共同参画	Ⅲ-1 政策・方針決定過程における男女共同参画	Ⅲ-1(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進	A	B	B
25	市女性職員の登用の推進	職員課	○	Ⅲ 様々な分野における男女共同参画	Ⅲ-1 政策・方針決定過程における男女共同参画	Ⅲ-1(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進	B	B	B
26	市女性職員の能力開発のための研修への参加機会の確保・拡大	職員課	○	Ⅲ 様々な分野における男女共同参画	Ⅲ-1 政策・方針決定過程における男女共同参画	Ⅲ-1(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進	B	B	B
27	男女雇用機会均等や育児・介護休業に係る法制度の周知と積極的取り組み（ポジティブ・アクション）の促進	商工観光課	○	Ⅲ 様々な分野における男女共同参画	Ⅲ-1 政策・方針決定過程における男女共同参画	Ⅲ-1(2)企業や団体における方針決定過程への男女共同参画の促進	B	B	B
28	就労を希望する女性の再チャレンジ支援	商工観光課	○	Ⅲ 様々な分野における男女共同参画	Ⅲ-1 政策・方針決定過程における男女共同参画	Ⅲ-1(2)企業や団体における方針決定過程への男女共同参画の促進	B	B	B
29	国際的視野に立った男女共同参画の推進	企画政策課	○	Ⅲ 様々な分野における男女共同参画	Ⅲ-2 地域社会における男女共同参画	Ⅲ-2(1)地域における男女共同参画の促進	A	A	A
30	環境保全における男女共同参画の促進	環境保全課	○	Ⅲ 様々な分野における男女共同参画	Ⅲ-2 地域社会における男女共同参画	Ⅲ-2(1)地域における男女共同参画の促進	A	A	B
31	父親の子育てに関する学習機会の提供	生涯学習課		Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画	Ⅳ-1(1)家庭生活における男女共同参画の促進	A	A	
32	妊娠期の健康管理・育児に関する学習機会の提供	健康管理課		Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画	Ⅳ-1(1)家庭生活における男女共同参画の促進	A	A	
33	男性の家庭参画を促す講座等の実施	東部台文化会館		Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画	Ⅳ-1(1)家庭生活における男女共同参画の促進	A	A	
34	乳幼児相談・検診事業の充実	健康管理課		Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画	Ⅳ-1(1)家庭生活における男女共同参画の促進	A	A	
35	子ども・子育て支援事業計画の推進	子育て支援課		Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画	Ⅳ-1(2)子育て支援の充実	B	B	
36	子育て支援に関する情報提供	子育て支援課		Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画	Ⅳ-1(2)子育て支援の充実	A	A	
37	子育てに関する相談業務の充実	子育て支援課		Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画	Ⅳ-1(2)子育て支援の充実	A	A	
38	多様な働き方を支援するための保育サービスの拡充	子育て支援課		Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画	Ⅳ-1(2)子育て支援の充実	B	B	
39	放課後等の子どもの居場所づくり	子育て支援課		Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画	Ⅳ-1(2)子育て支援の充実	A	A	
39	放課後等の子どもの居場所づくり	生涯学習課		Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画	Ⅳ-1(2)子育て支援の充実	A	A	
40	公立幼稚園・保育所における子育て支援と地域開放の充実	子育て支援課		Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画	Ⅳ-1(2)子育て支援の充実	B	B	
40	公立幼稚園・保育所における子育て支援と地域開放の充実	学校教育課		Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画	Ⅳ-1(2)子育て支援の充実	A	A	

事業No.	事業名（具体的取り組み）	担当課	重点評価事業	基本目標	主要課題	施策の方向	1次評価	2次評価	3次評価
41	高齢者の総合相談窓口の充実	高齢者支援課		Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画	Ⅳ-1(3)介護支援の充実	A	A	/
42	認知症高齢者と家族等への支援の充実	高齢者支援課		Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画	Ⅳ-1(3)介護支援の充実	B	B	/
43	市民へのワーク・ライフ・バランスの推進	企画政策課	○	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ-2 労働場における男女共同参画	Ⅳ-2(1)ワーク・ライフ・バランス意識の浸透	C	C	B
44	事業所へのワーク・ライフ・バランスの推進	商工観光課		Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ-2 労働場における男女共同参画	Ⅳ-2(1)ワーク・ライフ・バランス意識の浸透	B	B	/
45	市職員へのワーク・ライフ・バランスの推進	職員課		Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ-2 労働場における男女共同参画	Ⅳ-2(1)ワーク・ライフ・バランス意識の浸透	B	B	/
46	農業における女性グループ活動の支援と女性起業の育成	農政課		Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ-2 労働場における男女共同参画	Ⅳ-2(4)農業・自営業等における男女共同参画の促進	B	B	/
47	農業における家族経営協定締結の促進	農政課	○	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ-2 労働場における男女共同参画	Ⅳ-2(4)農業・自営業等における男女共同参画の促進	C	C	C
48	高齢者の自主活動への支援	高齢者支援課		Ⅴ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり	Ⅴ-1 安心して活動できる環境の整備	Ⅴ-1(1)高齢者・障害者施策の充実	B	B	/
49	障害者（児）の地域生活支援の充実	障害福祉課		Ⅴ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり	Ⅴ-1 安心して活動できる環境の整備	Ⅴ-1(1)高齢者・障害者施策の充実	A	A	/
50	障害者（児）の相談事業の充実および社会復帰の促進	障害福祉課		Ⅴ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり	Ⅴ-1 安心して活動できる環境の整備	Ⅴ-1(1)高齢者・障害者施策の充実	A	A	/
51	精神保健相談の実施および社会復帰の支援	健康管理課		Ⅴ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり	Ⅴ-1 安心して活動できる環境の整備	Ⅴ-1(1)高齢者・障害者施策の充実	B	A	/
52	男女共同参画の視点を取り入れた防災対策の充実	総務課		Ⅴ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり	Ⅴ-1 安心して活動できる環境の整備	Ⅴ-1(2)防災・防犯における男女共同参画の促進	A	A	/
53	自主防災組織の育成	総務課		Ⅴ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり	Ⅴ-1 安心して活動できる環境の整備	Ⅴ-1(2)防災・防犯における男女共同参画の促進	B	B	/
54	地域防犯体制の充実	生活課		Ⅴ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり	Ⅴ-1 安心して活動できる環境の整備	Ⅴ-1(2)防災・防犯における男女共同参画の促進	A	A	/
54	地域防犯体制の充実	学校教育課		Ⅴ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり	Ⅴ-1 安心して活動できる環境の整備	Ⅴ-1(2)防災・防犯における男女共同参画の促進	B	B	/
55	自らの健康を自ら管理する意識づくりについての啓発	健康管理課		Ⅴ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり	Ⅴ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備	Ⅴ-2(1)生涯を通じた健康支援	A	A	/
56	人生の各段階に応じた健康相談と家庭訪問の実施	健康管理課		Ⅴ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり	Ⅴ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備	Ⅴ-2(1)生涯を通じた健康支援	A	A	/
57	市民参加の健康づくりの推進	健康管理課		Ⅴ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり	Ⅴ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備	Ⅴ-2(1)生涯を通じた健康支援	A	A	/
58	スポーツを通じた健康増進	体育課		Ⅴ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり	Ⅴ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備	Ⅴ-2(1)生涯を通じた健康支援	A	A	/
59	勤労妊婦の母性健康管理対策の推進	健康管理課		Ⅴ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり	Ⅴ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備	Ⅴ-2(2)安心して妊娠・出産できる環境づくり	A	A	/
60	安心して妊娠・出産するための支援	健康管理課		Ⅴ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり	Ⅴ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備	Ⅴ-2(2)安心して妊娠・出産できる環境づくり	A	A	/

	1次評価	2次評価	3次評価
A 十分な成果をあげた（達成度8割以上）	37	35	8
B ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	28	29	14
C 事業の対象や見直しが必要（達成度3割以下）	4	5	1

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	1	基本目標	I 人権の尊重
事業名	人権に関する教育および意識啓発の推進	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	生活課	施策の方向	I-1(1)人権を守るための社会づくり
担当者職氏名	補佐 牧野 とし子	内線番号	7251

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)
	子どもたちに思いやりやいたわりの大切さを伝えるため、引き続き人権教室や人権紙芝居を実施し、人権尊重意識の教育や啓発に努める。

P L A N (計画)	事業の概要	
	人権擁護委員による街頭啓発活動を行うとともに、小学校において人権教室を開催し、他人への思いやりやいたわりの大切さなどを伝える。また、小・中学生には人権に関する作品づくりを通じ豊かな人権感覚を身に付けてもらうとともに、児童生徒の作品展示を通して市民の人権尊重意識の啓発に努める。	
	H30予算額(千円)	0 H30予算額(再掲の場合)
	H30決算見込額	0 R1予算額
平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)		
①市内小学校における人権教室の実施。 ②小中学校への人権ポスター原画・人権作文の依頼。 ③夏期学童クラブへの人権「紙芝居」の実施。 ④中学校における人権教室実施に向けての検討。		

D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入 (添付書類 無)
	①人権教室:VTRを視聴後、話し合い形式による授業を実施 9/11(火)西小学校(参加人:1年生30人)、11/21(水)五郷小学校(参加:1年生47人) ②人権ポスター(小学校14校:186点参加)・人権作文(中学校6校:158点応募) ③人権紙芝居:「ぼくのきもち、きみのきもち」他の実演 8/1東郷第一学童クラブ(参加49人)、8/1東郷第二学童クラブ(参加56人)、8/8夏期茂原学童クラブ(参加45人)、 8/8二宮学童クラブ(参加39人)、8/3豊岡学童クラブ(参加17人) ④中学校における人権教室実施に向けた先進校への視察 3/14(木)千葉市立大椎中学校1年生対象の人権教室

数値目標と平成30年度の成果		H30数値目標

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等	
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 人権擁護委員が直接小学校及び学童クラブに出向き、子どもたちに啓発ビデオや紙芝居を通して、他人への思いやりやいたわりの大切さを伝えることができた。 (課題・改善策) 人権教室を多くの学校で行うことができるよう検討が必要である。

C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等	
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 計画通り実施されている。 (課題・改善策) 人権教室の実施校数を増やすこと、対象学年を広げることを検討されたい。

A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)
	子どもたちに思いやりやいたわりの大切さを伝えるため、引き続き、人権教室、人権紙芝居を実施し、人権尊重意識の教育や啓発に努める。中学生対象の人権教室を検討する。

A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)
	子どもたちに思いやりやいたわりの大切さを伝えるため、引き続き、人権教室、人権紙芝居を実施し、人権尊重意識の教育や啓発に努める。中学生対象の人権教室を検討する。

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	2(企)	基本目標	I 人権の尊重
事業名	職場におけるセクハラ・パワハラ等防止の促進	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	企画政策課	施策の方向	I-1(1)人権を守るための社会づくり
担当者職氏名	主事 磯部 千尋	内線番号	7415

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)
	引き続き、パンフレット等の配布や市ホームページ、講座等で情報提供に努める。

P L A N (計画)	事業の概要	
	職場におけるセクハラ等防止について茂原商工会議所等の関係機関に要請するとともに、千葉労働局雇用環境・均等室や千葉県男女共同参画センター等の相談窓口について、情報提供を行う。また、市内事業所に対し、セクハラ等防止のための講座・研修等への参加を促進する。	
	H30予算額(千円)	0
	H30決算見込額	0
平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)		
①セクハラ等ハラスメント防止に関する啓発パンフレットや講座等のチラシについて茂原商工会議所や公共施設等で配布する。		
②セクハラ等ハラスメントに関する相談窓口について市ホームページで情報提供を行う。		
③茂原商工会議所に、事業者向けのセクハラ等ハラスメント防止に関するセミナー・講演会を開催するよう依頼する。		

D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を簡条書きで具体的に記入 (添付書類 無)
	①セクハラ等ハラスメント防止に関する講座等のチラシについて、茂原商工会議所、市役所1階情報公開コーナー、4階企画政策課、中央公民館等で配布した。
	②セクハラ等ハラスメントに関する相談窓口について、市ホームページに掲載してある千葉労働局や千葉県男女共同参画センターなど関係機関の相談窓口や、茂原市の相談窓口の情報を見直し、更新した。容易にアクセスできるよう、トップページに「女性のためのポータルサイト」へのリンクバナーを掲載した。
③茂原商工会議所内で開催する事業者向けセミナー・講演会において、セクハラ等ハラスメント防止に関するテーマを取り上げるよう依頼した。平成32年(2020年)1月にセクハラ等ハラスメントをテーマに開催予定。	

数値目標と平成30年度の成果		H30数値目標
市ホームページの情報更新 目標:年1回以上 成果:年1回		年1回以上

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等	
	C:事業の対象の見直しが必要(達成度3割以下)	(評価の根拠) 講座・研修等の情報や相談窓口の情報については、チラシ配布や市ホームページへの掲載を通じて発信した。 (課題・改善策) 行政の立場から民間の事業所に直接干渉することは難しい。茂原商工会議所を通じて、市内事業所に対し、啓発パンフレットの配布や、講座・研修等への参加促進を依頼するにとどまる。
	推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等	
	C:事業の対象の見直しが必要(達成度3割以下)	(評価の根拠) 啓発パンフレットや講座・研修等のチラシ配布等、計画の一部にしか取り組めていない。 (課題・改善策) 茂原商工会議所以外にも、市内の事業者向け団体に講師の紹介をする等、積極的に働きかけることを検討されたい。

A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)
	セクハラ等ハラスメント防止に関する相談窓口について、引き続き周知を図る。茂原商工会議所及び市内事業所に対する働きかけについては、啓発パンフレットや講座・研修等のチラシ配布等、情報提供に努めるとともに、セミナー・講演会の開催について要請する。

重点評価事業

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による3次評価(H30事業)

項目評価及び総合評価

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である	【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・計画→実施→見直しはできている ・やりにくい中でなんとかやっていることは評価できる。 ・成果として、数は少ないがホームページに情報をあげている。前年度より改善していると思われる部分がある。 ・推進委員と同意見で商工会議所以外の企業団体へのアプローチも必要と考える。 ・周知という意味ではこれくらいだと思う。講座・研修等についてはもう少し情報発信が必要。
改善策等の提言	
<p>・数値目標に、設置したチラシの減少数を加え、その数により周知が少し進んだといえるかも。②市ホームページでの情報提供は現在のままでよいが、できるならホームページのアクセス数が何件以上になる、というような数値目標があるとよい。③セミナー・講演会の開催については、セクハラ等防止のテーマについて講演会に取り上げられた件数等の数値目標を設定してはどうか。</p> <p>・前度の提言に「市内事業所に男女共同参画推進の部署の設置するよう指導する」とあったが、商工観光課や商工会議所と一緒にやらないと難しいと思うので、商工観光課や商工会議所と共催で企業向けセミナーを実施し、各事業所から半強制的に1～2名だしてもらうのはどうか。</p> <p>・民間の事業所に対し、講座・研修等の参加促進は難しいところもあると思うが、できないならできないなりに、講師の紹介等やってもいいのではないか。</p> <p>・これ以上はできない、ということもわかるが、そここのところをやらないと、県からきたチラシをただ置いておくだけしかできないことになる。</p>	

【総合評価基準】

- A : 十分な成果をあげた(達成度8割以上)
- B : ある程度の成果をあげた(達成度4割～7割)
- C : 事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	2(商)	基本目標	I 人権の尊重
事業名	職場におけるセクハラ・パワハラ等防止の促進	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	商工観光課	施策の方向	I-1(1)人権を守るための社会づくり
担当者職氏名	課長補佐 深山 光男	内線番号	7633

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)		
	千葉労働局、商工会議所、ハローワーク茂原等の関係機関との連携を強化し、さらなる意識啓発に努める。また、国・県等の取り組みに関する情報を、市ホームページ上で効果的に発信する。		
P L A N (計画)	事業の概要		
	職場におけるセクハラ等防止について茂原商工会議所等の関係機関に要請するとともに、千葉労働局雇用環境・均等室や千葉県男女共同参画センターなどの相談窓口について情報提供を行う。また、市内事業所に対し、セクハラ等防止のための講座・研修等への参加を促進する。		
	H30予算額(千円)	0	H30予算額(再掲の場合)
	H30決算見込額	0	R1予算額
D O (実施)	平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)		
	①茂原商工会議所や他の関係機関と連携を図り、講習会等の機会を利用しセクハラ等防止に向けた意識啓発を図る。 ②セクハラ等の防止に関する情報提供のため、市ホームページ等を積極的に活用するとともに、関係機関のパンフレットの配布により周知に努める。		
C H E C K (評価)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を簡条書きで具体的に記入 (添付書類 無)		
	①ハローワーク茂原と市が共催するセミナーにおいて、参加者に対し意識の啓発に努めた。 ②市ホームページを体系的に整理し、施策等の情報発信に努めると共に、パンフレット等の配布やポスターの掲示により周知に努めた。		
C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果		H30数値目標
	各種セミナー・講習会等を活用した周知機会の創出		年5回
	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 国・県の施策の周知にとどまり、積極的な事業実施が展開できていないものの、今年度においては市ホームページ上での表示を工夫した。 (課題・問題点) 市の取組みは、国・県等の情報提供と周知が主になってしまうことから、連携環境を整備し、事業所に直接働きかける必要がある。	
A C T (改善)	推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 国・県等の情報提供や周知といった、市としてできる範囲のことに取り組んでいる。 (課題・改善策) 事業所に対する周知について、より実効性のある取組みについて検討されたい。	
A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)		
	国・県等の施策に関する情報を、市ホームページ上でさらに充実させ効果的に発信する。また、積極的に取り組む企業名や、その取組みなどを市ホームページ上で発信する。		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	3	基本目標	I 人権の尊重
事業名	人権を守るための職員研修の実施および職員の研修参加機会の確保	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	職員課	施策の方向	I-1(1)人権を守るための社会づくり
担当者職氏名	副主査 長谷 裕子	内線番号	7432

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)
	実情にあったテーマを取り上げ、職員の人権問題に対する意識啓発をする。

P L A N (計画)	事業の概要
	あらゆる人権問題について、職員の人権意識の高揚を図る研修を実施するとともに、関係機関で実施される研修への参加を促進する。
	H30予算額(千円) 305 H30予算額(再掲の場合)
	H30決算見込額 108 R1予算額 305
	平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)
	①人権問題に関する内容をテーマとした階層別職員研修を実施する。

D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入 (添付書類 無)
	<p>①全職員を対象とした特別研修を実施。参加者:42名 内容:H30.8.24「ゲートキーパー(命の門番)養成講座」講師:健康管理課職員</p> <p>②係長・主査級以下の職員を対象とした特別研修を実施。参加者:46名 内容:H30.10.30「障害者差別解消法では何が求められるのか」講師:(株)インソース 川見敦子</p> <p>③次長職にある職員が自治研修センターが実施する研修に参加。参加者:9名 内容:H31.1.18「ハラスメント防止研修」</p>

C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果	H30数値目標
	(1)市職員を対象とした人権に関する研修の実施・参加 5回以上(年1回以上) 成果:年3回	年1回

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等
	<p>A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)</p> <p>(評価の根拠) 悩みを抱えている人に気づき、話を聞き、見守ることで自殺予防につながるゲートキーパーになるための取り組みを専門職の職員が実施することで、職員の意識啓発を促すことができた。障害者差別解消法についての研修では、職員一人一人が法律について理解を深め、障害者へ合理的配慮を提供できるように具体的な事例を学ぶことができた。管理職の職員がハラスメントに対する基礎知識を学ぶことで正しい理解、男女・個人の価値観の違いを認識し、組織的なハラスメント防止対策を図る研修に参加した。(課題・改善策) 今年度同様の成果があげられるように取り組みを継続していく。</p>

C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等
	<p>A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)</p> <p>(評価の根拠) 計画通り、階層別の職員研修が実施されている。</p> <p>(課題・改善策) より参加率を向上させるよう図られたい。</p>

A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)
	実情に合ったテーマを取り上げ、人権問題に対する職員の意識啓発を促進する。

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	4	基本目標	I 人権の尊重
事業名	市民相談・人権相談に対する適切な対応	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	生活課	施策の方向	I-1(2)相談体制の拡充
担当者職氏名	補佐 牧野 とし子	内線番号	7251

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)
	毎日実施している市民相談に加え、人権擁護委員による月2回の人権相談所の更なる周知・啓発に努める。

P L A N (計画)	事業の概要	
	市民から寄せられる相談は、年々増加するとともにその内容も複雑多様化していることから、人権相談をはじめとする各種相談について、関係各課及び国・県とも連携を図りながら、より迅速かつ適切に相談内容の解決に向けた取り組みの強化に努める。	
	H30予算額(千円)	1,151
	H30決算見込額	1,133
	R1予算額	1,180
平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)		
①地域住民に利用しやすい人権相談所の開設と周知、啓発に努める。 ②関係部署と連携し、相談窓口の充実を図る。 ③相談員や担当職員の資質向上のため研修等に積極的に参加し、相談業務の充実を図る。		

D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を簡条書きで具体的に記入 (添付書類 無)
	①人権相談所の開設(市役所12回、ほのおか館12回) ②広報への掲載(相談日案内12回、特設人権週間1回、女性の人権ホットライン1回)、茂原ショッピングプラザアスモにおいて啓発(10月) ③研修等の実施(茂原人権擁護委員協議会主催の定期総会(5月)、第2部会(6月)、全委員研修会(11月)、合同部会(2月)) ④市民相談(平日毎日)

数値目標と平成30年度の成果		H30数値目標

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等	
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 人権擁護委員や担当職員が、積極的に会議や研修会に参加し、相談業務の充実を努めた。また、相談窓口等の案内を定期的に広報・市ホームページに掲載、街頭啓発を行った。 (課題・改善策) 人権相談について、地域住民にとって、わかりやすい・相談しやすい窓口になるよう工夫が必要である。
推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等		
B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 相談窓口の開設と周知について、計画通り実施されてる。 (課題・改善策) 相談窓口についての広報の掲載が小さく見つけにくいいため、より多くの人々の目に触れ広く周知できるよう工夫されたい。	

A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)
	毎日実施している市民相談に加え、人権擁護委員による月2回の人権相談所の更なる周知・啓発に努める。また、毎日実施している法務局の人権相談にもうまく繋げる。

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	5	基本目標	I 人権の尊重
事業名	児童生徒の悩みに対する相談体制の充実	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	学校教育課	施策の方向	I-1(2)相談体制の拡充
担当者職氏名	主幹 保川 浩基	内線番号	7929

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)		
	スクールカウンセラーについて、各中学校の生徒の状況に応じた配置及び小学校における配置校の増を県に要望し、男女共同参画を踏まえた相談体制の充実を図る。心の教育相談員は、現状の相談体制で効果を上げているが、更に相談員間の情報交換等により、対応の共通理解を図るなどして、充実を図りたい。		

P L A N (計画)	事業の概要		
	スクールカウンセラー(県事業)や心の教室相談員の配置により、学校内における児童・生徒の悩みに対する相談体制について、男女共同参画の視点に配慮しながら整備充実を図る。また、中学校は、学校の状況と要望をふまえながら、毎年連続して同性のカウンセラーとならないように努める。		
	H30予算額(千円)	896	H30予算額(再掲の場合)
	H30決算見込額	896	R1予算額
平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)			
①スクールカウンセラーの配置(全中学校7校、小学校4校(東郷小、茂原小、五郷小、本納小))【県事業】			
②心の教室相談員の配置(小学校4校(豊田小、萩原小、中の島小、東部小))			

D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を簡条書きで具体的に記入 (添付書類 無)		
	①スクールカウンセラーの配置(全中学校7校、小学校4校(東郷小、茂原小、五郷小、本納小))【県事業】		
②心の教育相談員の配置(小学校4校(豊田小、萩原小、中の島小、東部小))			

C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果		H30数値目標
	(2) スクールカウンセラー配置校 目標:11校 成果:11校 ・小学校における相談件数12月末447件(H29年度末231件) ・中学校における相談件数12月末1148件(H29年度末1480件)		(2) 中学7校 小学3校
	(3) 心の教室相談員配置校 目標:4校 成果:4校 相談件数12月末356件(H29年度末620件)		(3) 小学4校

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 今年度、小学校へのスクールカウンセラー配置が1増となった。女性のスクールカウンセラーは中学校7校中6校、小学校4校中4校であり、中学校1校のみが男性である。スクールカウンセラー配置校では、カウンセラーと児童生徒との人間関係が良好で、教員からの信頼も厚く、成果を上げている。心の教室相談員は4校とも女性で、豊富な経験や教員との良好な人間関係のもと、児童の発達段階に応じた相談を行っている。 (課題・改善策) 各学校の規模や状況に応じた配置及び増員が必要である。	

C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) スクールカウンセラーの設置について、中学校には全校設置されており、小学校の数も増加している。 (課題・改善策) 今後も引き続き、児童生徒の相談について適切な対応を図られたい。	

A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)		
	スクールカウンセラーについては、今年度相談件数がかかなり増加する見込みである。各中学校の生徒の状況に応じた配置及び小学校における配置校の増を件に要望し、男女共同参画を踏まえた相談体制の充実を図る。心の教室相談員は、現状の相談体制で効果を上げているが、さらに相談員間の情報交換等により、対応の共通理解を図るなどして、充実させていきたい。		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	6	基本目標	I 人権の尊重
事業名	男女共同参画に関する講演会や講座等の開催	主要課題	I-2 男女平等の意識づくり
課係名	企画政策課	施策の方向	I-2(1)男女平等意識啓発の推進
担当者職氏名	主事 磯部 千尋	内線番号	7415

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)
	幅広い年代に参加してもらうよう、テーマや開催日時等を工夫し、意識啓発に努める。例年、女性やシニア世代の参加が多い企画が中心となっているので、来年度は男性・子育て世代・若年層等を対象にした企画にも取り組む。

P L A N (計画)	事業の概要		
	男女共同参画に関する意識啓発、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進等をテーマとした講演会や講座等を開催するとともに、県や関係各課との連携を図り、市民に対する意識啓発を図る。講演会や講座の開催にあたっては、開催日時やテーマ・託児等に配慮し多くの方に参加していただけるよう努める。		
	H30予算額(千円)	70	H30予算額(再掲の場合)
	H30決算見込額	70	R1予算額
平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)			
①ハートフルフェスタ実行委員会と協働し、男女共同参画に関する講演会・講座等を開催する。			
②男性・子育て世代・若年層等を対象にした企画にも取り組む。			

D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入 (添付書類 無)
	<p>①5/28 コスモスサロン講座「エンディングノートと遺言書のちがいがい」講師:二階堂高史氏(行政書士) 参加者数57名(男:19名、女38名) 年齢不明(アンケート未実施のため)</p> <p>7/14 育児パパおとこ塾「みんなで子育て&孫育て」(保健センター事業)に企画立案や、講師派遣の協力。</p> <p>9/10 コスモスサロン映画上映会「女たちの都～ワッゲンオッゲン～」 参加者数92名(男18:、女:74) 年齢50代以下なし、60代以上69名</p> <p>10/28 第11回ハートフルフェスタ「男女共同参画と我が人生」講師:堂本暁子氏(前千葉県知事) 無料託児あり 参加者数79名(男:15、女:64) 年齢40代4名、50代2名、60代以上44名</p> <p>12/17 コスモスサロン映画上映会「私はマララ」 参加者数68名(男10:、女:58) 年齢40代以下なし、50代3名、60代以上46名</p> <p>②ハートフルフェスタ実行委員会主催の4事業については、女性の活躍や高齢者向けの内容で、男性・子育て世代・若年層の参加が増えるような内容とは言い難い。開催日時等についても例年通りの実施。</p>

C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果	H30数値目標
	<p>(4) 講演会・講座等の開催回数 5回以上(年1回以上) 成果:年4回</p> <p>(5) 参加者数 500人以上(年100人以上) 成果:年296名</p>	<p>(4)年2回以上</p> <p>(5)年200人以上</p>

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等	
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割～7割)	(評価の根拠) 開催回数及び参加者数の数値目標については達成している。 (課題・改善策) 講演会・講座等の内容や形式、開催日時、場所の企画立案については、市民参画を大切にしており、公募市民からなるハートフルフェスタ実行委員会の意見提案に沿う。前年度からの改善に「男性・子育て世代・若年層等を対象にした企画にも取り組む」と記載したが、事務局である担当課が企画をすることは難しい。

C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等	
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割～7割)	(評価の根拠) 計画通り実施され、数値目標を達成している。 (課題・改善策) 幅広い年代に参加してもらえるよう、事務局として委員会にテーマの設定について働きかけられたい。

A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)
	男女共同参画に関する意識啓発のための講演会・講座等を開催するにあたり、幅広い年代、性別に参加してもらえるよう、親しみやすいテーマを設定する等工夫する。また、広報、自治会回覧、市ホームページ及びFacebook、公共施設でのチラシ配布等、幅広い周知を図る。

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	7	基本目標	I 人権の尊重
事業名	男女共同参画に関する意識啓発	主要課題	I-2 男女平等の意識づくり
課係名	企画政策課	施策の方向	I-2(1)男女平等意識啓発の推進
担当者職氏名	主事 磯部 千尋	内線番号	7415

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)
	引き続き、国や県の作成する男女共同参画に関する意識啓発のための情報紙やパンフレットを広く配布するとともに、ハートフルフェスタ実行委員会の取り組む各種講座・講演会やコスモスサロンの開催について幅広い周知に努める。また、より幅広い年代・性別に情報が行き渡るように工夫した情報発信に努める。

P L A N (計画)	事業の概要			
	男女共同参画に関する意識啓発のため、わかりやすく手にとりいただけるような情報紙やパンフレット等を作成し、あらゆる機会に配布するとともに、広報・ホームページ等を活用して定期的な情報発信に努める。			
	H30予算額(千円)	0	H30予算額(再掲の場合)	70
	H30決算見込額	0	R1予算額	0

D O (実施)	平成30年度の具体的な取り組み(年度当初計画)
	①国や県の作成する男女共同参画に関する意識啓発のための情報紙やパンフレットを窓口や公共施設に設置する。
	②ハートフルフェスタ実行委員会の取り組む各種講座・講演会やコスモスサロンの開催について、広報もばら、自治会回覧、市ホームページやFacebook等を利用し、幅広い情報発信に努める。
	③市ホームページに掲載されている、男女共同参画に関する意識啓発や相談窓口等の情報を更新する。
	④ハートフルフェスタ実行委員会と協働し、男女共同参画に関する意識啓発のためのパンフレットを作成する。

C H E C K (評価)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入 (添付書類 無)
	①国や県の情報紙やパンフレットについて、随時窓口や公共施設に設置した。
	②ハートフルフェスタ実行委員会主催の講演会、講座、映画上映会、コスモスサロンについて、広報もばら、市ホームページやFacebookへの掲載、自治会回覧や公共施設でのチラシ配布を行った。
	③市ホームページの「男女共同参画」のページ及び「企画政策課」のページに掲載されている、男女共同参画に関する意識啓発や相談窓口についての情報を更新した。
	④ハートフルフェスタ実行委員会との協働による男女共同参画に関する意識啓発のためのパンフレット作成については、来年度取り組むことが委員会にて決定された。

C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果	H30数値目標
	①国や県の情報紙やパンフレットの配布 随時	年2回 (6,000部)
	②ハートフルフェスタ実行委員会主催行事に関するチラシ配布 年4回、約8,400部(自治会回覧1回約2,800枚×3回)	
	③市ホームページの更新 年1回	
(6)意識啓発リーフレット等の作成・配布枚数 目標:30,000部(年6,000部) 成果:0部		

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割) (評価の根拠) 国や県の情報紙やパンフレット、ハートフルフェスタ実行委員会主催行事に関するチラシについて広く配布した。 (課題・改善策) 提言されてきた男女共同参画に関する意識啓発のためのパンフレット作成については、来年度に持ち越すこととなった。

C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等
	C:事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下) (評価の根拠) PLAN(計画)にある、情報紙やパンフレット等の作成について取り組めていない。 (課題・改善策) 来年度は情報紙やパンフレット等を作成し、配布されたい。

A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)
	引き続き、国や県の作成する男女共同参画に関する意識啓発のための情報紙やパンフレットを広く配布するとともに、ハートフルフェスタ実行委員会の取り組む各種講座・講演会やコスモスサロンの開催について幅広い周知に努める。また、ハートフルフェスタ実行委員会と協働し、男女共同参画に関する意識啓発のためのパンフレットを作成する。

重点評価事業

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による3次評価(H30事業)

項目評価及び総合評価

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	・H30はパンフレット作成を達成していないが、R1で作成中で実現可能であるため。

改善策等の提言

・DVに関する啓発パンフレットの作成はハートフルフェスタ実行委員会と取り組んでいるが、男女共同参画のパンフレットはまた違うので、他の自治体のものを参考に作ってもいいのではないかと。

・パンフレット等の作成については、予算に計上して確かなものにされたい。

・男女共同参画を促すことが真の目的なので、国や県のもので事足りるのであれば、独自のパンフレットを作成することを無理に事業に含める必要はないのでは。ハートフルフェスタの活動やコスモスサロンのイベント紹介のチラシの中に男女共同参画に関する意識啓発の情報を含めるようにし、それで代用できないか。

・パンフレットは、国や県のもの等、重複しているものもあるので、市では作る場合は切り口をどうするのかはっきりさせないと意味がない。

・ハートフルフェスタは時間的にも高齢者向けのものだけで若者向けのもので一切ない。幅広い年齢層を取り込めるよう検討されたい。

【総合評価基準】

- A : 十分な成果をあげた(達成度8割以上)
- B : ある程度の成果をあげた(達成度4割～7割)
- C : 事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	8	基本目標	I 人権の尊重
事業名	男女共同参画に関する市職員研修の実施	主要課題	I-2 男女平等の意識づくり
課係名	職員課	施策の方向	I-2(1)男女平等意識啓発の推進
担当者職氏名	副主査 長谷 裕子	内線番号	7432

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)
	幅広い年齢層の職員に対して引き続き実施し、更に充実を図る。

P L A N (計画)	事業の概要
	階層別職員研修のテーマに取り入れて男女共同参画の意識の啓発と理解の充実を図る。

H30予算額(千円)	0	H30予算額(再掲の場合)	
H30決算見込額	0	R1予算額	0

D O (実施)	平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)
	①幅広い年齢層の職員に対して、男女共同参画の意識啓発を推進する研修を行う。

D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入 (添付書類 無)
	新規採用職員フォローアップ研修において、男女共同参画研修を実施。参加者:32名 内容:H30.10.5「男女共同参画について」講師:企画政策課職員

C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果	H30数値目標
	(7)市職員対象の男女共同参画に関する研修の実施 5回以上(年1回以上) 成果:年1回	年1回

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等	
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 新規採用職員に対し研修を実施することで、茂原市の男女共同参画計画への理解及び男女共同参画の意識啓発を推進することができた。 (課題・改善策) 広い分野にわたる研修を計画する中で、男女共同参画に特化した研修を実施するのに困難がある。今後はペーパーなどの取り組みを検討する。

C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等	
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 数値目標を達成している。 (課題・改善策) 新規採用職員に対してのみならず、全職員に男女共同参画計画への理解及び意識啓発を推進できるよう、研修を実施されたし。より多くの研修の実施や職員の出席が難しい場合は、開催された研修の資料を配布する等、周知を図られたい。

A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)
	新規採用職員に対しては、引き続きフォローアップ研修時に茂原市における男女共同参画の取り組みについて理解する機会を設ける。他の研修の中においても「男女共同参画」についてペーパーなどで意識啓発の機会を設けたい。

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	9	基本目標	I 人権の尊重
事業名	男女共同参画の視点による表現ガイドラインの周知	主要課題	I-2 男女平等の意識づくり
課係名	企画政策課	施策の方向	I-2(1)男女平等意識啓発の推進
担当者職氏名	主事 磯部 千尋	内線番号	7415

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)		
	引き続き、様々な機会を通じてガイドラインの説明を行い、より多くの職員に周知する。他自治体や関係機関の表現ガイドラインを参考に、茂原市の表現ガイドラインを更新する。		
P L A N (計画)	事業の概要		
	市の刊行物にとどまらず、すべての表現(文章・写真・イラスト等)において男女共同参画の視点による表現ガイドラインを遵守するよう、周知に努める。また、内容についても、適宜見直しを図る。		
	H30予算額(千円)	0	H30予算額(再掲の場合)
	H30決算見込額	0	R1予算額
D O (実施)	平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)		
	①男女共同参画の視点による表現ガイドラインの内容について、他自治体や関係機関の表現ガイドラインを参考に見直す。市の刊行物にとどまらず、すべての表現(文章・写真・イラスト等)において活用できるよう、一般に公表できる内容を検討する。 ②表現ガイドラインの周知を図る。		
C H E C K (評価)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を簡条書きで具体的に記入 (添付書類 無)		
	①男女共同参画の視点による表現ガイドラインの改訂案を作成中。来年度の男女共同参画社会づくり推進委員会及びハートフルフェスタ実行委員会にて校正予定。 ②平成30年10月5日実施の新規採用職員研修及び平成30年5月22日実施の推進委員会において冊子を配布した。		
C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果		H30数値目標
	(8) 表現ガイドラインに関する研修の実施 5回以上(年1回以上) 成果: 年0回		年1回
	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等		
	C:事業の対象の見直しが必要(達成度3割以下)	(評価の根拠) (課題・改善策) 表現ガイドラインは平成22年4月に作成されており8年以上が経過しているため、改訂を急ぐ必要がある。数値目標については、表現ガイドラインを配布するに留まり、研修は実施していない。	
A C T (改善)	推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等		
	C:事業の対象の見直しが必要(達成度3割以下)	(評価の根拠) 表現ガイドラインの改訂を達成していない。 (課題・改善策) 表現ガイドラインを改訂し、各課1名以上の出席を募って説明会を実施するか、庁内LANを通じて配布する等、周知に努められたい。	
A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)		
	表現ガイドラインを改訂し、市職員に配布するとともに、新規採用職員研修等、職員向け研修のなかで説明の時間を取る。市ホームページに掲載し、公表する。		

重点評価事業

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による3次評価(H30事業)

項目評価及び総合評価

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2	4…十分達成している	【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている	【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である	【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・H30は表現ガイドランの改訂を達成していないが、R1で取り組み中で実現可能であるため。 ・ガイドライン改訂中であっても、研修は古いもので一度は実行した方がよかった。
改善策等の提言	
<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ以外に公表する方法として、広報紙に隔月でもよいからシリーズで掲載する方法も検討されたい。 ・表現ガイドラインについての研修会は一般の人も対象にしてはどうか。ハートフルフェスタ実行委員会のコスモスサロンで開催してはどうか。 ・ガイドラインに関する研修はまず新人研修の中でやるべきだと思う。 	

【総合評価基準】

- A : 十分な成果をあげた(達成度8割以上)
- B : ある程度の成果をあげた(達成度4割～7割)
- C : 事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	10	基本目標	I 人権の尊重
事業名	男女平等意識を育むための家庭教育学級の開催	主要課題	I-2 男女平等の意識づくり
課係名	生涯学習課	施策の方向	I-2(2)地域・家庭・職場における男女平等意識啓発の推進
担当者職氏名	副主査 篠崎 光代	内線番号	7932

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)		
	幼児期家庭教育学級の対象者を拡大することにより、参加者の増加を図る。		
P L A N (計画)	事業の概要		
	集団学習の場を通して、家庭教育に対する家庭や地域の関心を高めるため、3歳児・就学前児童・幼稚園・小学校の保護者等を対象に、講演会・講習会・研修視察を開催し、男女平等の意識高揚を図る。		
	H30予算額(千円)	614	H30予算額(再掲の場合)
	H30決算見込額	528	R1予算額
D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を簡条書きで具体的に記入 (添付書類 無)		
	① 5回 86人 (男性 8人、女性 78人) ② 14回 623人 (男性 36人、女性 587人) ③ 60回 2,335人 (男性 475人、女性 1,860人)		
C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果		H30数値目標
	(9) 家庭教育学級の開催 目標:375回(年75回) 成果:年79回		年75回
	(10) 家庭教育学級の参加者 目標:延べ14,000人以上(年2,800人以上) 成果:年3,044人		年2,800人
	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等		
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 開催回数、参加者数が数値目標を上回ったため。 (課題・問題点) 更なる参加増加に努める。		
	推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等		
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 開催数、参加者数ともに数値目標を達成している。 (課題・改善策) 男性の参加者数が女性の参加者数に対して少ないため、開催の内容や時間、場所を工夫する等、増加に努められたい。		
	令和元年度の取り組み(予定)		
A C T (改善)	各家庭教育学級の更なる充実を図る。		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	11	基本目標	I 人権の尊重
事業名	地域活動における男女共同参画の促進	主要課題	I-2 男女平等の意識づくり
課係名	生活課	施策の方向	I-2(2)地域・家庭・職場における男女平等意識啓発の推進
担当者職氏名	係長 風戸 嘉幸	内線番号	7254

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)		
	講演会や講座の開催により、引き続き、自治会活動をはじめとする地域におけるまちづくりへの理解を深め、性別を問わず、より多くの市民が参加できるよう意識啓発に努めるとともに、意思決定過程における男女共同参画の促進に努める。		

P L A N (計画)	事業の概要		
	自治会長連合会や社会福祉協議会と連携し、男女が共に地域活動に参画することの意義について理解を深めるようあらゆる機会を通じて意識啓発を図る。		
	H30予算額(千円)	1,579	H30予算額(再掲の場合)
	H30決算見込額	1,567	R1予算額
平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)			
男女が共に自治会活動や地域でのボランティア活動に参加できるよう、会議の場などにおいて、男女共同参画について周知に努める。			

D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を簡条書きで具体的に記入 (添付書類 無)		
	<ul style="list-style-type: none"> 自治会長連合会主催により、市民社会パートナーズ代表の庄嶋孝広氏を講師に招き、「団体活動レベルアップ講座」と題した講演会を開催した。【参加者74名、うち女性10名】 協働提案事業サポート講座(全2回)を開催し、協働事業のスムーズな提案ができるよう、支援に努めた。第1回講座:「地域をつなげ、活力を引き出す手法と着眼点」(講師:株式会社ソーレ代表 東浩司氏)【参加者15名、うち女性6名】、第2回講座:「誰もが生きやすい社会を創るため、私たちができること」(講師:株式会社シーズプレイス代表取締役 森林育代氏)【参加者12名、うち女性4名】 		

C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果		H30数値目標

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 講演会や講座の開催により、自治会活動をはじめとする地域におけるまちづくりに男女がともに参加できるよう、意識啓発に努めた。 (課題・改善策) 以前に比べて、地域におけるまちづくりに男女がともに参加する機運は高まっているが、依然として主導的立場の女性が少なく、意思決定過程における男女共同参画が進んでいないのが実情である。	

C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 講演会や講座の開催により意識啓発に取り組んでいる。 (課題・改善策) 地域活動に男女共同参画の視点をどう取り入れるかが課題。講演会や講座の女性の参加者数が男性の参加者数に対して少ないため、開催の内容や時間、場所を工夫したり、託児所を設ける等、増加に努められたい。	

A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)		
	講演会や講座の開催により、引き続き、地域におけるまちづくりへの理解を深め、性別を問わず、より多くの市民が参加できるよう、意識の醸成に努めるとともに、意思決定過程における男女共同参画の促進に努める。		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	12(子)	基本目標	I 人権の尊重
事業名	乳幼児・児童・生徒の発達段階に応じた人権尊重・男女平等に関する保育・教育の推進	主要課題	I-3 男女平等の視点に立った教育・学習の推進
課係名	子育て支援課	施策の方向	I-3(1)保育所・幼稚園・学校における男女平等教育の推進
担当者職氏名	係長 近藤 正利	内線番号	6291

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)
	引き続き、日常の保育や行事において、保育士が男女平等の意識に立った保育に努める。

P L A N (計画)	事業の概要
	(保育所・幼稚園)乳幼児の保育や幼児教育において、男女平等の視点に配慮した保育及び教育を実施し、男女平等の意識を高める。
	H30予算額(千円) 0 H30予算額(再掲の場合)
	H30決算見込額 0 R1予算額 0
	平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)
	①性別による固定的な役割分担や、性格、服装、色使い等において必要以上に男女の区別をしないよう配慮する。 ②緊急的な保育や育児に伴う保護者の心理的・肉体的負担の軽減を図るため、朝日の森保育所において、一時保育を実施する。 ③生活発表会や運動会等の行事において、男性(父親)も参加できるよう保護者の希望を取り入れた工夫に配慮する。

D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を簡条書きで具体的に記入 (添付書類 無)
	①日常の保育や行事において、性別による固定的な役割分担や、性格、服装、色使い等において必要以上に男女の区別をしないよう配慮した。 ②朝日の森保育所 一時預かり保育利用人数130人(H31.3月末現在) ③運動会において、男性(父親)も参加できる種目を取り入れ、男女ともに子育てに参加できるよう努めた。

C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果	H30数値目標
	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等	
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠)(課題・改善策) 保育所保育指針(平成29年厚生労働省告示第117号)中で、保育の実施に関して留意すべき事項として「子どもの性差や個人差にも留意しつつ、性別などによる固定的な意識を植え付けることがないようにすること。」と定められており、保育所は同指針を遵守し保育を実施しているが、これについては達成度を図ることが難しい。
	推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等	
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 保育所保育指針を遵守した保育を実施している。 (課題・改善策) 引き続き、日常の保育において男女共同参画の視点に配慮するとともに、行事に男性保護者の参加が増加するよう、努められたい。

A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)
	引き続き、日常の保育や行事において、保育士が男女平等の意識に立った保育に努める。

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	12(学)	基本目標	I 人権の尊重
事業名	乳幼児・児童・生徒の発達段階に応じた人権尊重・男女平等に関する保育・教育の推進	主要課題	I-3 男女平等の視点に立った教育・学習の推進
課係名	学校教育課	施策の方向	I-3(1)保育所・幼稚園・学校における男女平等教育の推進
担当者職氏名	主幹 田中 弘樹	内線番号	7927

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)
	若年層教員育成研修の充実を、夏季休業中の開催回を中心にさらに図っていく。

P L A N (計画)	事業の概要
	(保育所・幼稚園)乳幼児の保育や幼児教育において、男女平等の視点に配慮した保育及び教育を実施し、男女平等の意識を高める。 (小中学校)児童・生徒の発達段階に応じ、社会科、技術・家庭科等の教科や道徳、特別活動および総合的な学習の時間での教育活動などを通じて、男女平等の意識を高める教育等を実施する。
	H30予算額(千円) 0 H30予算額(再掲の場合)
	H30決算見込額 0 R1予算額 0
	平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)
	①社会科の学習をとおして人権や男女平等について学ばせる。 ②中学校技術・家庭科の保育所訪問をとおして、幼児の特性や接し方について学ばせる。 ③思春期健康教室を開催し、児童生徒に命の大切さを学ばせる。

D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を簡条書きで具体的に記入(添付書類 無)
	①社会科や道徳の授業をとおして、人権尊重や男女共同参画に関する教育実践が行われた。 ②中学校技術・家庭科の保育所訪問をとおして、幼児の特性や接し方について学ぶ教育実践が行われた。 ③思春期健康教室をとおして、性に関する理解や命の大切さについて学ぶ教育実践が行われた。

C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果	H30数値目標
	思春期健康教室の開催 結果:1回(各校)	年1回
	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等	
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 小・中学校において、社会科や道徳、保健体育、総合的な学習の時間など、多くの場面で、児童生徒は人権や男女共同参画に関する考え方を学ぶことができた。 (課題・改善策) それぞれの取り組みをとおして、どれだけ成果があったかを客観的に評価する方法を確立することが課題である。
推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 数値目標を達成しているが、授業の時間以外でも、日常的に男女共同参画の視点を身に着けることができるよう、指導されたい。 (課題・改善策) 教室の開催により、児童生徒がどれだけ人権や男女共同参画に関する考え方を理解できているか、成果を図ることが難しい。

A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)
	本年度と同様に、 ①社会科の学習をとおして人権や男女平等について学ばせる。 ②中学校技術・家庭科の保育所訪問をとおして、幼児の特性や接し方について学ばせる。 ③思春期健康教室を開催し、児童生徒に命の大切さを学ばせる。

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	13(子)	基本目標	I 人権の尊重
事業名	教職員等に対する男女共同参画に関する研修の実施	主要課題	I-3 男女平等の視点に立った教育・学習の推進
課係名	子育て支援課	施策の方向	I-3(1)保育所・幼稚園・学校における男女平等教育の推進
担当者職氏名	係長 近藤 正利	内線番号	6291

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)
	引き続き、男女共同参画の視点に立った研修に積極的に参加させるよう努める。

P L A N (計画)	事業の概要			
	(保育所・幼稚園)保育所・幼稚園に勤務する職員に対して、男女平等教育に関する内容を盛り込んだ研修を実施する。			
	H30予算額(千円)	0	H30予算額(再掲の場合)	
	H30決算見込額	0	R1予算額	0
	平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)			
	①男女共同参画の視点に立った研修に保育士を積極的に参加させるよう努める。 (年1回、各保育所1名)			

D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を簡条書きで具体的に記入 (添付書類 無)
	<ul style="list-style-type: none"> ・初級職員研修「男女共同参画について」に保育士9名(各公立保育所から1名)が参加した。 ・研修内容について回覧等により保育所内で共有を図った。

C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果	H30数値目標
	(11) 保育所職員を対象とした男女共同参画に関する研修の実施・参加 目標:5回以上(年1回以上) 成果:年1回(参加9名:各保育所1名)	年1回
	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等	
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 目標に掲げた回数、人数で研修へ参加させることができた。 (課題・改善策) 待機児童解消のため、定員の限度近くまで園児を預かっており、保育士を保育から外して研修へ参加させることが難しいが、所長・主任保育士が代替に入ることによってフォローしている。
	推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等	
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 数値目標を達成している。 (課題・改善策) あまり多くの保育士を外の研修に参加させることは難しいため、研修に参加した保育士よりミーティング等で情報共有されたい。

A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)
	引き続き、男女共同参画の視点に立った研修に積極的に参加させるよう努める。

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	13(学)	基本目標	I 人権の尊重
事業名	教職員等に対する男女共同参画に関する研修の実施	主要課題	I-3 男女平等の視点に立った教育・学習の推進
課係名	学校教育課	施策の方向	I-3(1)保育所・幼稚園・学校における男女平等教育の推進
担当者職氏名	主幹 田中 弘樹	内線番号	7927

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)
	市教育研究協議会の各部研修の充実をさらに図っていく。

P L A N (計画)	事業の概要		
	(保育所・幼稚園)保育所・幼稚園に勤務する職員に対して、男女平等教育に関する内容を盛り込んだ研修を実施する。 (小中学校)児童・生徒一人ひとりの個性を尊重し、固定的な性別役割分担意識を植え付けることのないよう、男女共同参画に関する教職員の研修を実施するとともに、関係機関で実施される研修への参加を促進する。		
	H30予算額(千円)	0	H30予算額(再掲の場合)
	H30決算見込額	0	R1予算額

D O (実施)	平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)
	①市教育研究協議会、若年層教員育成研修、初任者研修(地域の特色ある研修)に参加し、男女平等教育の推進について指導する。 ②学校人権教育研究協議会に参加し、研修で得た成果を幼・小・中学校に普及する。

D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を簡条書きで具体的に記入 (添付書類 無)
	①市教育研究協議会:年間3回実施(17部会) ②校長研修会:年間10回実施(21名) ③教頭研修会:年間2回実施(22名) ④教務主任研修会:年間3回(21名) ⑤若年層教員育成研修:年間3回実施(38名)

C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果	H30数値目標
	(12) 教職員等を対象とした男女共同参画に関する研修の実施・参加 目標15回以上(年3回以上) 成果:年3回	年3回

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等	
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 研修の中で、個を大切にし、個に応じた指導を実施していく中で、男女共同参画の意識を高めることができた。 (課題・改善策) 業務多忙化の解消とのバランスを図りながら、充実した研修を行う必要がある。

C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等	
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 計画通り実施し、数値目標を達成している。 (課題・改善策) 幼稚園の教職員を対象とした研修も実施されたい。

A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)
	・市教育研究協議会の各部研修会の充実を図っていく。 ・男女共同参画という視点で各種研修会の内容を見直す必要がある。

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	14	基本目標	I 人権の尊重
事業名	個性を生かした性別にとらわれない進路指導の推進	主要課題	I-3 男女平等の視点に立った教育・学習の推進
課係名	学校教育課	施策の方向	I-3(1)保育所・幼稚園・学校における男女平等教育の推進
担当者職氏名	主幹 保川 浩基	内線番号	7929

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)		
	職場見学や体験学習等では、グループの構成に留意し、男女がお互いを認め協力する活動となるように計画的に進める。思春期教室の実施拡大と内容の拡大を図る。		
P L A N (計画)	事業の概要		
	学校教育全体を通じて、人権の尊重、男女の平等、相互理解・協力についての指導の充実を図るとともに、教科書などの教材においても適切な配慮がなされるよう留意する。また、自立の意識を育む教育、一人ひとりの個性や能力を尊重し、園児・児童生徒が主体的に学び、考え、行動する姿勢を育む教育を推進する。中学校においては、固定的な性別役割分担意識にとらわれず、主体的に進路を選択できるような進路指導に努める。		
	H30予算額(千円)	4,201	H30予算額(再掲の場合)
	H30決算見込額	4,201	R1予算額
D O (実施)	平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)		
	①小学校においては職場見学、中学校においては職場体験学習を通してキャリア教育を行う。 ②稲作体験や野菜作り、鯛ちようちん、絵馬、野鳥観察などの体験活動を全小中学校で充実させる。 ③思春期の男女の発達について理解するために専門的な講師を招いて講話を行う。 ④宿泊学習による体験活動を全ての小中学校で実施する。		
C H E C K (評価)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を簡条書きで具体的に記入(添付書類 無)		
	①小学校の職場見学は、6年生を中心に6校(参加:357人)、中学校の職場体験は、2年生を中心に6校(参加:627人)。ただし、他の学校は職業人を招いて話を聞いたり、体験をさせたりしている。 ②稲作体験は、小学校8校(参加:356人)で実施。それ以外に鯛ちようちん、絵馬づくりなど、体験的な学習を行っている。 ③思春期教室は、小学校8校(参加:419人)、中学校6校(参加:831人)で実施している。 ④宿泊学習による体験活動は、すべての小中学校で実施している。		
C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果		H30数値目標
	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 体験活動を通して、キャリア形成に必要な自己理解と生き方について考え、男女平等意識に基づいた職業観を育成することができた。思春期教室では、命の尊さはもちろんのこと、性差を認め、お互いを尊重する意識を育てることができた。 (課題・改善策) 稲作等の学校支援ボランティアの活用では、高齢化が進み、継続に支障をきたしている事例もある。職場見学や職場体験では、受け入れてくれる事業所の確保や児童生徒の移動手段に課題があり、職業人を招いての講話や体験活動を行っているケースも増えている。思春期教室では、講師及び講師料の確保に努めていきたい。	
	推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等		
B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) ②について、計画にある「全小中学校」は実現できていない。 (課題・改善策) ③思春期教室についても、全校で開催できるよう努められたい。		
A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)		
	職場見学や職場体験では、グループの構成に留意し、男女がお互いを認め協力する活動となるように計画的に進める。思春期教室は、実施拡大と発達段階に応じた内容の検討を図る。租税教室も行っている学校があり、キャリア教育に位置付けていきたい。		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	15	基本目標	I 人権の尊重
事業名	学校における国際理解教育の推進	主要課題	I-3 男女平等の視点に立った教育・学習の推進
課係名	学校教育課	施策の方向	I-3(1)保育所・幼稚園・学校における男女平等教育の推進
担当者職氏名	主幹 田中 弘樹	内線番号	7927

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)		
	海外派遣については、中学生28人、10日間の研修実施を継続する。 小学校の外国語科の実施に向け、小学校教員だけでなく中学校教員も含めた研修の充実を図っていく。		
P L A N (計画)	事業の概要		
	男女ともに学生のうちから国際理解教育を受け、姉妹都市ソルズベリー市をはじめとする各国との交流を通じ、今後世界に羽ばたける人材を育成する。また、学校において多様な言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーション能力の向上を図る。		
	H30予算額(千円)	3,700	H30予算額(再掲の場合)
	H30決算見込額	3,700	R1予算額
平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)			
①茂原市内7中学校から男女のバランスよく参加者を募り、国際理解教育を推進する。 ②事前研修において、茂原市と姉妹都市ソルズベリー市との交流を深めるための指導を行う。 ③小中学校の英語・外国語教育を推進するため、ELTとともに学ぶ研修機会を増やす。			
D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を簡条書きで具体的に記入 (添付書類 無)		
	①中学生28名の参加があった。 ②前年同様、事前研修を1回増やし、準備の充実を図った。 ③各小学校では年間2回、市全体としての研修を2回実施した。		
C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果		H30数値目標
	(13) 中学生海外派遣参加者数 目標:155人(年31人) 成果:31人(中学生28人+教員3人)		年31人
	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 海外派遣には中学生28人(男子9人・女子19人)が参加し、10日間の研修で姉妹都市であるソルズベリー市の学校等での研修を通じ、国際理解の視点を広げることができた。各中学校では、文化祭等での学校行事で研修参加者が報告会を行うなど、研修の成果を広める取り組みも実施された。 (課題・改善策) 外国語に関する研修では、小学校では充実した研修を実施することができた。今後は中学校での研修充実を図る必要がある。	
推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等			
B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 数値目標を達成しているが、男女比に偏りがある。 (課題・改善策) 外国社会・文化の体験を通じて、男女共同参画についても多様な考え方を学ぶことができるよう、研修内容の充実を図りたい。		
A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)		
	・海外派遣については、今年度同様、中学生28人・教員3人で10日間の研修実施を継続する。 ・外国語研修については、小学校は今年度同様の内容で実施する。加えて、中学校教諭を対象に夏季休業中にオールイングリッシュの研修を1日行う予定である。		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	16(子)	基本目標	Ⅱ あらゆる暴力の根絶
事業名	DVに関する相談窓口等の充実と周知徹底	主要課題	Ⅱ-1 暴力の防止と被害者支援の充実
課係名	子育て支援課	施策の方向	Ⅱ-1(1)DV、虐待防止啓発の推進
担当者職氏名	室長 佐久間 栄一	内線番号	6239

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)
	広報もばらやホームページ、啓発物資の配布などにより周知を図る。

P L A N (計画)	事業の概要	
	国・県等の関係機関、庁内の関係各課との連携により、被害者の保護や情報収集に努める。また、家庭児童相談員を配置し、相談窓口の充実を図るとともに、広報もばらやホームページ、パンフレット、ポスター、啓発物資の配布等により周知を図る。	
	H30予算額(千円)	0
	H30決算見込額	0
平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)		
①DV相談窓口に関する広報もばらへの掲載(毎月) ②公共施設の女子トイレにDV相談カードを設置		

D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を簡条書きで具体的に記入 (添付書類 無)
	①DV相談窓口に関する広報もばらへの掲載(毎月掲載) ②公共施設の女子トイレにDV相談ステッカーを設置(市庁舎、本納支所など、計16か所の公共施設に設置) ③DV相談カードの配布(子育て支援課、本納支所、保健センター窓口および11月のイベント時配布) ④DV防止に関する記事をホームページに随時掲載

C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果	H30数値目標
	(14)相談窓口の周知・啓発回数 5回以上(年1回以上) 成果:年12回 (15)DVカード配布枚数 2,500枚(年500枚以上) 成果:年500枚	(14)年12回 (15)年500枚

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上) (評価の根拠) 計画通り実行できた。 (課題・改善策)
C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上) (評価の根拠) 数値目標を達成している。 (課題・改善策) 男性向けのDV相談カードの配布や、相談ステッカーの男性トイレへの設置も検討されたい。

A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)
	①DV相談窓口に関する広報もばらへの掲載 ②公共施設の女子トイレにDV相談ステッカーを設置 ③DV相談カードの配布

重点評価事業

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による3次評価(H30事業)

項目評価及び総合評価

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である	【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
A	<ul style="list-style-type: none"> ・数値目標としては達成している ・周知の取組みはしているが、相談窓口の充実については取り組めていない。
改善策等の提言	
<ul style="list-style-type: none"> ・DV相談の専用ダイヤルに電話をかけたら、市にかけてくれと言われた知人がいる。どのような相談体制になっているのかわかりにくい。 ・相談窓口の充実については、さらに拡充する必要がある。周知徹底については、他部署ともっと連携する必要あり。 ・男性向けの相談体制も検討されたい。 ・相談カードを配布したことによって、どのような成果があったのか指標(相談件数など)を設定した方がよい。 	

【総合評価基準】

- A : 十分な成果をあげた(達成度8割以上)
- B : ある程度の成果をあげた(達成度4割～7割)
- C : 事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	16(生)	基本目標	Ⅱ あらゆる暴力の根絶
事業名	DVに関する相談窓口等の充実と周知徹底	主要課題	Ⅱ-1 暴力の防止と被害者支援の充実
課係名	生活課	施策の方向	Ⅱ-1(1)DV、虐待防止啓発の推進
担当者職氏名	補佐 牧野 とし子	内線番号	7251

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)
	関係各課と連携し、情報の共有を図ることで、適切な相談窓口案内するなど、相談業務の充実に努める。

P L A N (計画)	事業の概要			
	国・県等の関係機関、庁内の関係各課との連携により、被害者の保護や情報収集に努める。また、家庭児童相談員を配置し、相談窓口の充実を図るとともに、広報もばらやホームページ、パンフレット、ポスター、啓発物資の配布等により周知を図る。			
	H30予算額(千円)	0	H30予算額(再掲の場合)	
	H30決算見込額	0	R1予算額	0
	平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)			
	関係部署と連携し情報の共有を図り適切な相談窓口を案内する。			

D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を簡条書きで具体的に記入 (添付書類 無)
	<ul style="list-style-type: none"> 市民相談において、DV・虐待等の相談があった場合、関係部署と連携し、適切に対応した。 啓発ポスターやチラシを活用し、意識啓発の推進を図った。

C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果	H30数値目標
	(14) 相談窓口の周知・啓発回数 5回以上(年1回以上) 成果:年12回(広報による相談日案内)	年1回以上
	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等	
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割) (評価の根拠) 市民相談において、DV等の相談があった場合には、担当窓口スムーズにつなげられるよう連携に努めている。 (課題・改善策) 関係部署と連携し、情報の共有を図るため、今後も庁内会議等により、担当職員同士の情報交換が必要。	
	推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等	
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割) (評価の根拠) 数値目標を達成している。 (課題・改善策) 広報掲載以外の方法での相談日周知も検討するとともに、引き続き、関係各課の連携や職員同士の情報共有を強化し、適切な対応に努められたい。	

A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)
	関係各課と連携し、情報の共有を図ることで、適切な相談窓口案内するなど、相談業務の充実に努める。

重点評価事業

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による3次評価(H30事業)

項目評価及び総合評価

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である	【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・生活課としてこれ以上は無理だと思ふ。やれることはやっている。 ・毎年、文章がほとんど変わらない。やっていることは同じ。 ・具体的取り組みと実施が一致していない。
改善策等の提言	
<ul style="list-style-type: none"> ・数値目標が年5回から年1回以上になったのはなぜか。 ・「関係部署と連携し適切に対応した」と書いてあるが、もう少し具体的に評価がしやすいように書いてほしい。 	

【総合評価基準】

- A : 十分な成果をあげた(達成度8割以上)
- B : ある程度の成果をあげた(達成度4割～7割)
- C : 事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	16(企)	基本目標	Ⅱ あらゆる暴力の根絶
事業名	DVに関する相談窓口等の充実と周知徹底	主要課題	Ⅱ-1 暴力の防止と被害者支援の充実
課係名	企画政策課	施策の方向	Ⅱ-1(1)DV、虐待防止啓発の推進
担当者職氏名	主事 磯部 千尋	内線番号	7415

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)
	引続き、研修への積極的な参加による知識の習得と情報収集に努め、関係機関との連携を図りながら、相談窓口の周知啓蒙に努める。DVに関する相談があった場合、相談窓口にスムーズに繋ぐことができるよう、対応窓口との更なる連携に努める。啓発物資の配布や市ホームページの掲載内容の充実等、更なる周知に努める。

P L A N (計画)	事業の概要
	国・県等の関係機関、庁内の関係各課との連携により、被害者の保護や情報収集に努める。また、家庭児童相談員を配置し、相談窓口の充実を図るとともに、広報もばらやホームページ、パンフレット、ポスター、啓発物資の配布等により周知を図る。

H30予算額(千円)	0	H30予算額(再掲の場合)	
H30決算見込額	0	R1予算額	0

D O (実施)	平成30年度の具体的な取り組み(年度当初計画)
	①国・県等の関係機関や関係各課が開催する研修に参加し、知識の習得と情報収集に努める。 ②庁内の関係各課と連携し、DVに関する相談があった場合、家庭児童相談員を配置している子育て支援課に付き添って案内する等、ワンストップの被害者保護に努める。 ③国・県・市のDVに関する相談窓口について、広報もばらやホームページ、パンフレット、ポスター、啓発物資の配布等により周知を図る。

D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を簡条書きで具体的に記入 (添付書類 無)
	①「ちば男女共同参画行政担当者連絡会議」平成30年10月3日開催に出席。 「DV被害者に関する庁内連携会議」①管理職対象(平成30年7月23日開催)、②係長・主査級以下対象(平成30年10月18日開催)に出席。 ②当課へのDVに関する相談はなかった。 ③国・県・市のDVに関する相談窓口について、ホームページに掲載の内容を更新し、また、該当ページへアクセスしやすいようホームページ内のリンクを見直すとともに、市ホームページのトップページに「女性のためのポータルサイト」のバナーを掲載した。

C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果	H30数値目標
	①国・県等の関係機関等が開催する研修への参加 目標:年1回以上 成果:年1回 ②庁内の関係各課との連携のための会議への出席 目標:年1回以上 成果:年2回 (14) 相談窓口の周知・啓発回数 5回以上(年1回以上) 成果:年1回	①年1回以上 ②年1回以上 (14)年1回以上

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上) (評価の根拠) 庁内連携会議では、各課の取り組みを共有し合い、連携方法について確認することができた。行政担当者連絡会議では、県内市町村の取り組みについて学ぶことができた。ホームページ上の情報にアクセスしやすいよう改善した。 (課題・改善策) 相談窓口について、更なる周知が必要。

C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上) (評価の根拠) 数値目標を達成している。 (課題・改善策) 「男性のためのポータルサイト」の作成も検討するとともに、引き続き、相談窓口についての更なる周知のため、工夫・改善に努められたい。

A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)
	引き続き、国・県等の関係機関や関係各課が開催する研修へ積極的に参加し情報収集に努めるとともに、国・県等の関係機関や庁内の関係各課との連携を図りながら、相談体制の整備及び相談窓口の周知に努める。

重点評価事業

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による3次評価(H30事業)

項目評価及び総合評価

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している	【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	4	3…概ね達成されている	【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	4	2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	4	1…不十分である	【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
A	<ul style="list-style-type: none"> ・推進委員と同意見。 ・着実に計画を続けられている。 ・ホームページの改善に取り組んでいる。 ・数値目標は達成している。 ・各課(子育て・生活課)と同じような事業をやっているが、各課独自の部分があり、共有している部分もあると、このシートでよく分かった。 ・H29とH30で何が変わったのかよく分かる。
改善策等の提言	
<ul style="list-style-type: none"> ・DVについて理解のない男性がまだ多いので、周知に取り組まれない。 ・男性でもDV被害が2割あるので、男性向けのサイトについても検討されたい。 ・男性が暴力を受ける割合やDVがどのようなものなのか分かる情報を広報等に掲載されたい。 ・これをやったことでどのような成果があったのか記載があるとよい。 	

【総合評価基準】

- A : 十分な成果をあげた(達成度8割以上)
- B : ある程度の成果をあげた(達成度4割～7割)
- C : 事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	17	基本目標	Ⅱ あらゆる暴力の根絶
事業名	相談員のDV等に関する相談技術の向上	主要課題	Ⅱ-1 暴力の防止と被害者支援の充実
課係名	子育て支援課	施策の方向	Ⅱ-1(1)DV、虐待防止啓発の推進
担当者職氏名	室長 佐久間 栄一	内線番号	6239

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)
	今後も積極的に研修等に参加し、職員の専門的な知識の向上を図る。

P L A N (計画)	事業の概要			
	被害者からの申出に対し迅速かつ適切に対応するため、国・県・関係機関等が開催する研修事業に積極的に参加し、相談員の資質や相談技術の向上を図る。			
	H30予算額(千円)	0	H30予算額(再掲の場合)	
	H30決算見込額	0	R1予算額	0
	平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)			
	人事異動に伴い、経験のない職員が増えたことから、特に新任研修を中心に積極的に研修等に参加する。			

D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入 (添付書類 無)
	<ul style="list-style-type: none"> ①H30.4.19 DV対策担当課長会議(男性1名) ②H30.5.24 市町村DV対策担当者会議(女性1名) ③H30.7.2 DV・児童虐待相談新任研修(男性1名、女性2名) ④H30.9.28 DV職務担当者スキルアップ研修(女性1名) ⑤H30.10.16 DV被害者支援連絡会議(女性1名)

C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果	H30数値目標
	(16) DV等に関する研修参加 10回以上(年2回以上) 成果:年5回	年3回
	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等	
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 新任3名を中心に各種研修に参加した。 (課題・改善策)
C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等	
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 数値目標を達成している。 (課題・改善策) 会議・研修内容を充実させ、更なるスキルアップに努められたし。研修に参加していない職員への情報共有にも努められたい。

A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)
	引き続き積極的に研修に参加し、スキルアップを図る。

重点評価事業

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による3次評価(H30事業)

項目評価及び総合評価

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である	【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
A	<ul style="list-style-type: none"> ・新任研修やスキルアップ研修に参加している。 ・目標は順調に進められている。 ・担当者の課題・改善策が書かれていない。
改善策等の提言	
<ul style="list-style-type: none"> ・新任研修だけで終わっているような感じがする。前年のようにもっと具体的な研修もすべき。研修を受けた人から研修を受けていない人へ情報を共有されたい。 ・相談室担当者以外の子育て支援課職員にも研修を受けさせるべき。または研修参加者が指導するとい い。 ・「研修により理解度が上がった人が増えた」、「研修結果を課内でシェアした」等、参加したことでの成果を記載されたい。 ・児童虐待に対応するにはマンパワーが必要。正職員が2人だけなので、人員配置についても検討されたい。 	

【総合評価基準】

- A : 十分な成果をあげた(達成度8割以上)
- B : ある程度の成果をあげた(達成度4割～7割)
- C : 事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	18(子)	基本目標	Ⅱ あらゆる暴力の根絶
事業名	DV防止に関する意識啓発	主要課題	Ⅱ-1 暴力の防止と被害者支援の充実
課係名	子育て支援課	施策の方向	Ⅱ-1(1)DV、虐待防止啓発の推進
担当者職氏名	室長 佐久間 栄一	内線番号	6239

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)
	若年層に対する啓発について関係部署と連携し取り組む。

P L A N (計画)	事業の概要			
	DVが人権侵害であるという観点から、女性に対する暴力を許さない社会づくりをテーマとした講演会等への参加を促進する。また、若年層向けにデートDVに関する正しい理解を促進するための啓発に努める。			
	H30予算額(千円)	0	H30予算額(再掲の場合)	
	H30決算見込額	0	R1予算額	0
	平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)			
	DV防止に関する周知を図るため、様々な機会を通じ啓発活動に取り組む。			

D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を簡条書きで具体的に記入 (添付書類 無)
	民生委員児童委員の会議に出席し、DV支援に関する講演を実施した。(年2回、男性15名、女性24名) 中核地域生活支援センターの研修会に出席し、DV支援に関する講演を実施した。(年1回、男性10名、女性8名) 女性に対する暴力をなくす運動実施期間に合わせ、11月の広報もばらに掲載し周知を図った。

C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果	H30数値目標
	(17) 女性に対する暴力をなくす運動の周知 5回以上(年1回以上) 成果:年1回	年1回
	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等	
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 関係機関の会議等に出席し、周知・啓発を図った。 (課題・改善策)
	推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等	
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 数値目標は達成しているが、ACT(改善)にある「若年層に対する啓発」が不十分である。 (課題・改善策) 成人式や中高学校等での講演会の実施や啓発パンフレットの配布等、若年層へのアプローチを図られたい。

A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)
	様々な機会を通じ、DVに関する正しい理解や認識を図るため、講演等を実施する。

重点評価事業

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による3次評価(H30事業)

項目評価及び総合評価

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・若年層に対する啓発がなされていない。 ・担当者の課題・改善策が書かれていない。
改善策等の提言	
<p>・若年層向けの啓発ではなく、関係者会議の実施になっている。子育て支援課で若年層啓発は難しいが、先生の会議などの際に、協力を求めたり、連携を依頼することはできるのではないかと。</p>	

【総合評価基準】

- A : 十分な成果をあげた(達成度8割以上)
- B : ある程度の成果をあげた(達成度4割～7割)
- C : 事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	18(企)	基本目標	Ⅱ あらゆる暴力の根絶
事業名	DV防止に関する意識啓発	主要課題	Ⅱ-1 暴力の防止と被害者支援の充実
課係名	企画政策課	施策の方向	Ⅱ-1(1)DV、虐待防止啓発の推進
担当者職氏名	主事 磯部 千尋	内線番号	7415

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)		
	DV問題について正しい認識を持ってもらえるよう、引き続きパンフレット等の配布や市ホームページへの情報掲載により周知する。関係機関・部署との連携を図り、地域でDV問題に取り組めるような啓発事業を実施する。		
P L A N (計画)	事業の概要		
	DVが人権侵害であるという観点から、女性に対する暴力を許さない社会づくりをテーマとした講演会等への参加を促進する。また、若年層向けにデートDVに関する正しい理解を促進するための啓発に努める。		
	H30予算額(千円)	0	H30予算額(再掲の場合)
	H30決算見込額	0	R1予算額
平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)			
①DV問題について、啓発パンフレット等の配布や市ホームページへの情報掲載により意識啓発を図る。 ②関係機関・部署との連携を図り、地域でDV問題に取り組めるような啓発事業を実施する。			
D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を簡条書きで具体的に記入 (添付書類 無)		
	①DV問題について、関係機関の啓発パンフレットや講演会のチラシ等を窓口や公共施設、行事・会議等で配布した。(随時) ②茂原市ハートフルフェスタ実行委員会と連携し、DV問題についての啓発パネルを掲示した。 庁舎ロビー(平成30年10月18日～27日)、講演会会場(平成30年10月28日)		
C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果		H30数値目標
	(17) 女性に対する暴力をなくす運動の周知 5回以上(年1回以上) 成果:年1回		年1回以上
	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割～7割)	(評価の根拠) 啓発パンフレットや講演会のチラシ等について、随時配布を行った。啓発パネルを来庁者の目につくようロビーに設置し、啓発を図った。 (課題・改善策) 若年層向けのデートDVに関する正しい理解を促進するための啓発には取り組めていない。	
推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等			
B:ある程度の成果をあげた(達成度4割～7割)	(評価の根拠) 数値目標を達成しているが、若年層へ直接アプローチする取り組みがなされていない。 (課題・改善策) 成人式や中高等学校等での講演会の実施や啓発パンフレットの配布等、若年層へのアプローチを図られたい。		
A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)		
	引き続き、DV問題についての関係機関の啓発パンフレットや講演会のチラシ等を窓口や公共施設、会議等で配布し、周知啓蒙に努める。若年層向けのデートDVに関する正しい理解を促進するための啓発について、取組方法を考える。		

重点評価事業

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による3次評価(H30事業)

項目評価及び総合評価

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である	【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・推進委員の意見と同意見。 ・目標は順調に進められている。 ・「デートDVに関する正しい理解を促進するための啓発」に取り組めていない。
改善策等の提言 <ul style="list-style-type: none"> ・若年層に対する啓発について行っていないので、成人式等での啓発や、学校への出前講座等検討されたい。 ・講演会を実施するだけでなく、もっと直接的にアプローチされたい。 ・中学生にDV問題を啓発するために、どうしたらよいか教育委員会と話し合われたい。 ・中学校での人権教室の時に、デートDVについての内容を取り入れるよう法務局に要請されたい。 ・若年層へのアプローチは難しいが、何か工夫してほしい。(成人式・パープルリボンを市民コーナーに飾る等) 	

【総合評価基準】

- A : 十分な成果をあげた(達成度8割以上)
- B : ある程度の成果をあげた(達成度4割～7割)
- C : 事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	19	基本目標	Ⅱ あらゆる暴力の根絶
事業名	障害者(児)の虐待防止	主要課題	Ⅱ-1 暴力の防止と被害者支援の充実
課係名	障害福祉課	施策の方向	Ⅱ-1(1)DV、虐待防止啓発の推進
担当者職氏名	主査 中村 清香	内線番号	6214

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)
	今後も虐待にかかる通報等があった場合は、関係各課及び関係機関と連携し、障害のある人への支援や養護者への支援を行っていく。

P L A N (計画)	事業の概要
	障害のある人が尊厳を保ち、安心して暮らしていけるよう、虐待に係る通報・届出の受理、相談・指導・援助を行う。また、障害者虐待の相談窓口及び通報義務について広報誌、パンフレット、ホームページを用いて周知する。

H30予算額(千円)	0	H30予算額(再掲の場合)	
H30決算見込額	0	R1予算額	0

P L A N (計画)	平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)
	<p>①担当職員の資質向上のため、県主催の障害者虐待防止担当者連絡会議及び障害者虐待防止・権利擁護研修(年4回開催)に積極的に参加。</p> <p>②障害者虐待の相談窓口及び通報義務があることを市民に周知するため、ホームページへの掲載や、窓口でのチラシ設置等を行う。</p> <p>③虐待通報、発見があった場合、事実を確認し、警察・関係各課・中核支援センター等の機関と連携し、障害のある人への支援や成年後見の申立、養護者への支援などを行う。</p>

D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を簡条書きで具体的に記入 (添付書類 無)
	<p>①県主催の障害者虐待防止担当者連絡会議及び障害者虐待防止・権利擁護研修(年4回開催)に3名の職員が参加し、虐待にかかる相談・指導・援助について対応方法を習得した。</p> <p>②障害者虐待の相談窓口や通報義務があることについて、窓口付近の掲示版への掲示、窓口にリーフレットを設置し、市民への周知を行った。</p> <p>③虐待通報については、事実を確認し、警察・関係各課・中核支援センターなどの関係機関と連携し、障害のある方への支援や養護者への支援を行った。</p>

C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果	H30数値目標

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等
	<p>A:十分な成果を上げた(達成度8割以上) (評価の根拠) 県主催の研修へ積極的に参加することで、担当者のスキルアップを図った。また虐待を発見した場合の通報することの重要性についての周知を行い、障害者虐待の防止と被害者への支援を実施した。</p> <p>(課題・改善策)</p>

C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等
	<p>B:ある程度の成果をあげた(達成度4割～7割) (評価の根拠) 計画通りの取組みがなされている。</p> <p>(課題・改善策) より男女共同参画の視点を意識した取組みがなされるとよい。</p>

A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)
	平成30年度同様、関係各課及び関係機関と連携し、障害のある方へ養護者への支援を行っていく。

重点評価事業

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による3次評価(H30事業)

項目評価及び総合評価

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・暴力、虐待防止の啓発がある程度行われている。 ・虐待に係る通報・相談件数等の現状を書いて欲しい。どのような相談があり、どのように対応しているのか。実施に「周知を行った」、「支援を行った」とあるが、具体的にどのように行ったのか見えない。 ・今までの流れで進められており、創意工夫が感じられない。担当者による課題・改善策が書いていない。 ・女性であることによる被害があると思うが、一切書かれていない。
改善策等の提言	
<p>・女性は身体的や性的虐待の割合が高いので、女性であることにより困難な状況に置かれることのないよう、今後も権利擁護に努められたい。</p>	

【総合評価基準】

- A : 十分な成果をあげた(達成度8割以上)
- B : ある程度の成果をあげた(達成度4割～7割)
- C : 事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	20	基本目標	Ⅱ あらゆる暴力の根絶
事業名	DV対策について関係機関との連携の強化	主要課題	Ⅱ-1 暴力の防止と被害者支援の充実
課係名	子育て支援課	施策の方向	Ⅱ-1(2)被害者に対する支援、相談の充実
担当者職氏名	室長 佐久間 栄一	内線番号	6239

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)		
	庁内支援体制の強化を図り、被害者の安全確保に努めるとともに、自立に向けた支援を実施する。		
P L A N (計画)	事業の概要		
	地域配偶者暴力相談支援センター(長生健康センター)、女性サポートセンター、警察、母子生活支援センター、中核地域支援センターなどの関係機関との連携を強化し、シェルターへの避難など緊急的対応の充実を図る。また、外国人や高齢者、障害者等のDV被害者の対応について、庁内支援体制の強化を図るとともに、情報の共有や漏洩防止に努める。		
	H30予算額(千円)	9,200	H30予算額(再掲の場合)
	H30決算見込額	9,200	R1予算額
D O (実施)	平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)		
	庁内連携会議について、これまでの一般職員向けだけでなく、管理職員向けの会議も開催する。		
C H E C K (評価)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を簡条書きで具体的に記入 (添付書類 無)		
	H30.7.23 管理職員向けDV等に関する庁内連携会議(男性14名、女性4名) H30.10.18 一般職員向けDV等に関する庁内連携会議(男性8名、女性15名) DV被害者に対するシェルター支援実績(新規) 3世帯8名(一般女性3名、子ども男子2名、女子3名)		
C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果		H30数値目標
	(18)DV等に関する庁内連携会議開催(5回以上) 成果:年2回		年2回
	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 計画通り、今年度から管理職員向けの研修を開催した。また、今年度3世帯8名に対しシェルター支援を実施し、安全確保を図ると共に自立に向けた支援を行った。 (課題・改善策)	
C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 数値目標を達成している。 (課題・改善策) 庁内連携会議の内容を工夫し、開催回数も増やせるよう工夫されたい。	
A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)		
	引き続き、庁内支援体制の強化を図り、被害者の安全確保に努めるとともに、自立に向けた支援を実施する。		

重点評価事業

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による3次評価(H30事業)

項目評価及び総合評価

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である	【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
A	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職や担当者と連携会議をしており、努力している。 ・課題・改善策が書いていない。
改善策等の提言	
<ul style="list-style-type: none"> ・今後も市内の連携強化を図りながら、情報の漏洩防止に努められたい。 ・よりスピーディーな対処の仕方を書いてくれるとなおよい。 ・人員の増員を提言する。 	

【総合評価基準】

- A : 十分な成果をあげた(達成度8割以上)
- B : ある程度の成果をあげた(達成度4割～7割)
- C : 事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	21	基本目標	Ⅱ あらゆる暴力の根絶
事業名	DV被害者のプライバシーに配慮した対応	主要課題	Ⅱ-1 暴力の防止と被害者支援の充実
課係名	国保年金課	施策の方向	Ⅱ-1(2)被害者に対する支援、相談の充実
担当者職氏名	主事補 畠山 彩	内線番号	7235

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)
	DV被害者から国民健康保険加入の相談があった場合、迅速かつ適切に対応できるように、資格管理の引継ぎを実施する。また、被害者情報を適切に管理するため、関係部署との情報共有に努める。

P L A N (計画)	事業の概要			
	DV防止法に基づき、配偶者からの暴力を受けている被害者および子について、関係各課及び職員間の情報共有を図り、情報漏洩等のないよう努める。			
	H30予算額(千円)	0	H30予算額(再掲の場合)	
	H30決算見込額	0	R1予算額	0

P L A N (計画)	平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)
	<p>①女性サポートセンター等関係機関及び庁内関係部署と連携を図り適切な対応に努める。</p> <p>②被保険者証を交付しているDV被害者の把握をして、資格管理に遺漏のないようにする。</p> <p>③DV被害者からの相談があった場合に迅速に対応できるように、担当事務の引継ぎを綿密に行う。</p>

D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を簡条書きで具体的に記入 (添付書類 無)
	<p>①連携を図り適切な対応に努めた。</p> <p>②資格管理の徹底ができた。</p> <p>③担当事務の変更にあわせて、事務の引継ぎを行った。</p>

数値目標と平成30年度の成果		H30数値目標

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等	
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) DV被害者に対して、外部機関及び庁内関係部署と連携をはかりながら、迅速かつ適切に諸手続きができた。 (課題・改善策) 今後もDV被害者に対しての適切な資格管理のために、担当が変更する場合は事務の引継ぎを綿密に行う必要がある。

C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等	
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 計画通りの取組みがなされている。 (課題・改善策) マニュアルを作成する等、担当引継ぎや職員間の情報共有を徹底されたい。

A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)
	DV被害者から国民健康保険の加入の相談があった場合、迅速かつ適切に対応できるように、資格管理を徹底する。また、被害者情報を適切に管理するため、関係部署との情報共有を行う。

重点評価事業

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による3次評価(H30事業)

項目評価及び総合評価

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	4	3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	4	2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	1	1…不十分である	【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
A	<ul style="list-style-type: none"> ・推進委員会と同意見。 ・着実に計画を進められている。 ・実施が「努めた」「できた」だけで具体性がない。計画に対して、実施は、具体的に何が実施されたのかわかるように記述されたい。「①連携を図り～」については、どんな連携を図り(なぜ?)、適切な対応(何?)を何のためにやったのか、全くわからない。②の「徹底ができた」についても、何のことなのかよくわからない。
改善策等の提言	
<ul style="list-style-type: none"> ・デリケートな事例なので、担当者の引継ぎの際に慎重に取組まれたい。 ・担当する職員の間でマニュアル等を作成し、職員間の情報共有を徹底されたい。 ・茂原でも過去に情報漏洩をしてしまったことがあった。それ以来、変わって徹底されるようになったと思うが、気を抜かずに更なる徹底をしていって欲しい。過去の事例について、そのときの原因や対処について引き継ぐことが必要。例えばJALは何十年前に起きた事件についても、きちんと研修等で取り上げ、職員を教育している。他の自治体の事例研修もして、そこから自分たちで行動規範を見つけていくことが大切。 ・目標については、「対応に努める」のを目標にするのは低すぎるので、「対応する」を目標にすべき。 ・評価判定のための数値目標を設定されたい。例えば、「被害者および子について、関係部署・職員間に情報共有されたが、情報漏洩がされなかった(0件)」、「すべての関係部署・職員の間で、DV防止法に則り、情報漏洩がないようにするための行動規範が周知徹底された」等。 	

【総合評価基準】

- A : 十分な成果をあげた(達成度8割以上)
- B : ある程度の成果をあげた(達成度4割～7割)
- C : 事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	22	基本目標	Ⅱ あらゆる暴力の根絶
事業名	DV被害者等における住民基本台帳等の閲覧等の制限	主要課題	Ⅱ-1 暴力の防止と被害者支援の充実
課係名	市民課	施策の方向	Ⅱ-1(2)被害者に対する支援、相談の充実
担当者職氏名	副主査 吉原 江里子	内線番号	7215

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)
	H29と同じく、引き続き支援を行っていく。課内及び他課との情報共有、連絡相談をより密に行っていく。

P L A N (計画)	事業の概要
	DV被害者等からの申出により、住民基本台帳等の閲覧・交付の制限を行います。関係各課にて支援情報を共有することで、個人情報の漏洩を防ぐ。
	H30予算額(千円) 0 H30予算額(再掲の場合) 0
	H30決算見込額 0 R1予算額 0
	平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)
	<p>①市民課では、2名体制でなるべく女性職員で被害者の状況に配慮した相談対応を行うようにする。</p> <p>②支援対象者からの証明書請求について、円滑な交付ができるよう事務処理内容の見直しを行う。</p> <p>③支援決定後は、関係各課へ直接手渡しで文書配布し、情報の共有、個人情報漏洩がないよう努める。</p>

D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を簡条書きで具体的に記入 (添付書類 無)
	<p>①平成31年3月15日現在で111件の支援措置を実施している。(うち、当市での支援受付件数:50件)当課での支援に該当するしないに関わらず、子育て支援課、警察等の相談を勧め、適切な支援が受けられるよう案内した。</p> <p>②支援対象者からの証明書交付は、書類整備、マニュアル等を作成し課内職員が誰でも対応できるようにした。</p> <p>③現住所が茂原市内にある支援対象者は、庁内関係部署に通知を送付、情報の共有し、支援者の対応について連携を行うようにした。</p>

C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果	H30数値目標
	研修を実施することで課内職員に周知し、相談者に寄り添った対応をしている。また、他課とも連携を密にし、事故なく職務を遂行している。	

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等
	<p>A:十分な成果を上げた(達成度8割以上) (評価の根拠) 実施内容のとおり。支援に関する相談等は、内容によって関係する他課の相談員と共に個室で対応をした。支援申出者の個々の状況に沿った案内を心がけ対応を行った。</p> <p>(課題・改善策) 今後も、他課との情報共有、連絡等を緊密に行い、支援者に寄り添った対応を行っていきたいと考えている。</p>

C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等
	<p>A:十分な成果を上げた(達成度8割以上) (評価の根拠) 計画通りの取り組みがなされている。</p> <p>(課題・改善策) 担当課と同じ。</p>

A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)
	H30と同様、引き続き相談内容に沿った支援を行っていく。支援対象者の情報管理を徹底し、庁内関係課と情報の共有、連携を行っていく。

重点評価事業

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による3次評価(H30事業)

項目評価及び総合評価

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	4	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	4	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
A	<ul style="list-style-type: none"> ・着実に計画通り取り組まれている。 ・担当者が適切に自己評価できている。 ・実施②にマニュアルを作成したとあるので評価したい。 ・実施③「行うようにした」とあるが、「行った」という結果がでていないので、より徹底したほうがいい。 ・他課との連携も進んでいる。 ・次年度の取り組みについては、もっと具体的にされたい。 ・事業内容の「住民基本台帳等の閲覧・交付の制限を行います」の部分の記述が、計画や目標のどこに当てはまるか今一つわからない。
改善策等の提言	
<ul style="list-style-type: none"> ・作成されたマニュアルに沿った、きちんとした対応を図られたい。 ・数値目標を設定されたい。「相談者に寄り添った対応をできるように、課内職員～名(全員)に研修で周知する」、「必要があるすべてのケースについて、該当の他課と連携する」、「DV被害者や子に関する個人情報の漏洩件数0件」等。 ・何もなくて100点、何かあったらマイナスなので、数値目標は難しいが、数値目標を書けない分、自己評価のスケールを通信簿のように書いてはどうか。 	

【総合評価基準】

- A : 十分な成果をあげた(達成度8割以上)
- B : ある程度の成果をあげた(達成度4割～7割)
- C : 事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	23	基本目標	Ⅲ 様々な分野における男女共同参画
事業名	男女共同参画によるまちづくりの推進と審議会等委員への女性参画の拡大	主要課題	Ⅲ-1 政策・方針決定過程における男女共同参画
課係名	企画政策課	施策の方向	Ⅲ-1(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進
担当者職氏名	主事 磯部 千尋	内線番号	7415

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)
	女性委員のいない審議会等については、その原因を担当課にヒアリングし、女性を積極的に登用する取り組みを推進する。

P L A N (計画)	事業の概要			
	市民協働によるまちづくり推進を担う各団体において、意思決定過程における男女共同参画を促進するとともに、審議会等委員の選定にあたっては公募枠の拡大、代表者に限定しない適任者の推薦などを依頼し女性の登用を促進する。特に女性委員のいない団体や審議会等をなくすことを目指し女性の参画拡大を図る。			
	H30予算額(千円)	0	H30予算額(再掲の場合)	
	H30決算見込額	0	R1予算額	0
	平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)			
	①審議会等における女性の登用率について調査し、女性委員のいない審議会等についてはその理由について説明してもらう。 ②審議会等における女性の参画促進について各担当課に依頼する。 ③他自治体に倣い、審議会等における女性の登用率について、市ホームページ等で公表する。			

D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入 (添付書類 無)
	①審議会等における女性の登用率調査については、女性のいない審議会等はその理由について記入してもらうよう、調査票の様式を見直した。来年度より使用予定。 ②審議会等における女性の参画促進について、各担当課に依頼した。 ③審議会等における女性の登用率について、市ホームページで公表している市町村の例を調べ、提案したが実施しない判断となった。

C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果	H30数値目標
	①審議会等における女性の登用率についての調査 目標:年1回 成果:年1回 ②審議会等における女性の参加促進についての依頼 目標:年1回 成果:年1回 (19) 審議会等における女性委員の登用率 目標:平成32年度までに30%以上 成果(4月1日時点):23.4% (H29 20.9%、H28 19.0%、H27 18.9%)	①年1回 ②年1回 (19) -
	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等	
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 毎年数値目標に向かって成果が上がっている。 (課題・改善策) 女性を積極的に登用してもらうよう依頼しても、そもそもその分野に女性人材がほとんどいないといった問題がある。各分野で性別に関わりなく優秀な人材が育つよう、社会全体で固定的役割分担意識や偏見等を解消していく必要があるため、担当課のみで改善していくには限界がある。
	推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等	
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 数値目標を達成している。平成32年度の目標に向け調査・依頼を行い、目標に着実に近づいている。 (課題・改善策) 担当課に同じ。

A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)
	引き続き、審議会等における女性の登用について調査し、女性の積極的な登用を依頼する。

重点評価事業

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による3次評価(H30事業)

項目評価及び総合評価

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	4	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	4	1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
A	<ul style="list-style-type: none"> ・52の審議会のうち、女性のいない審議会が13もある。 ・H27から成果が上がってきている。着実に計画を進められていると思われる。 ・担当課でできる範囲は一生懸命やっていると思う。 ・次年度の計画のところにもっと具体性があるといい。
改善策等の提言	
<ul style="list-style-type: none"> ・企画政策課だけでは限界がある。全庁をあげての取組が必要。 ・広報で、「女性委員を求めている」、というような特集を組んではどうか。どのような審議会があり、どのように市民を求めているか一目でわかるように公表した方がいい。 ・とても難しい問題と共感できる。各団体の考え方の根源、地域社会の考え方を変えていく必要を強く感じる。この問題に関して、行政のみに頼ることなく、市民との連携が必要と強く感じる。 ・女性人材があまりいない分野があるのは事実である反面、関連している女性人材はいるが、こういった活動に女性が参加すること自体がためられる風潮がまだまだあるのではないと思われる。女性がよく集まる場に、どういった審議会があり、女性が参加することが求められているという情報を発信されたい。 ・審議会に参加している男性に、同分野や関連分野に元同僚や知り合いの女性がいないかどうか確認したり、専門分野に関連する民間会社に、同分野で活躍する女性の社員がいるかどうか、いた場合には、会社からの貢献として、勤務時間中に、職務の一部として審議会に参加してもらえるかどうか打診 ・女性しかいない審議会はないようだが、女性が80%の審議会はある。これはもっと男性を増やした方がいい。 ・審議会等の女性登用は担当課だけの問題ではない。市長や市職員の幹部の意識も関わってくる。 	

【総合評価基準】

- A : 十分な成果をあげた(達成度8割以上)
- B : ある程度の成果をあげた(達成度4割～7割)
- C : 事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	24	基本目標	Ⅲ 様々な分野における男女共同参画
事業名	広聴活動における女性の意見聴取機会の確保	主要課題	Ⅲ-1 政策・方針決定過程における男女共同参画
課係名	秘書広報課	施策の方向	Ⅲ-1(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進
担当者職氏名	係長 久保田 健一	内線番号	7314

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)		
	引き続き、「市長と話し合う会」の記録や「市長への手紙」の内容を公開していくことで、興味喚起を行う。また、広報やウェブサイトだけでなく、Facebookやマチイロ等の媒体を活用し、周知に努める。 開催回数・時間は未定。		

P L A N (計画)	事業の概要		
	「市長と話し合う会」や「市民ふれあいミーティング」、「公共施設見学会」など、広聴事業に女性参加者を増やす方を講じ、女性の意見聴取機会の増加を図る。		
	H30予算額(千円)	94	H30予算額(再掲の場合)

H30決算見込額	52	R1予算額	84
----------	----	-------	----

P L A N (計画)	平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)		
	<p>①「市長と話し合う会」を11月18日(日)に開催。会議録をウェブサイトに掲載、行政情報コーナー・本納支所・図書館にも設置し、興味喚起を行う。</p> <p>②「市民ふれあいミーティング」は、昨年同様、5人以上の団体・グループからの申込制とし、申込者からテーマ・日時設定をしてもらい、女性同士でも気軽に参加しやすくなるように工夫。</p> <p>③「市長への手紙」で寄せられた意見等や回答をウェブサイトに掲載し、興味喚起を行う。</p> <p>④「公共施設見学会」を10月10日(水)に開催。公共施設の見学を通じて市政への理解を深めてもらう。</p>		

D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入 (添付書類 無)		
	<p>①「市長と話し合う会」(1回開催)【参加者45人(男40人、女5人)】 (H29参加者55人(男48人、女7人))</p> <p>②「市民ふれあいミーティング」(2回開催)【参加者8人(男3人、女5人)】 (H29は開催なし)</p> <p>③「市長への手紙」【回答したものは51件(男31人、女20人)】 (H29は48件(男37人、女11人))</p> <p>④「公共施設見学会」(1回開催)【参加者21人(男9人、女12人)】 (H29は1回開催 参加者30人(男14人、女16人))</p>		

数値目標と平成30年度の成果		H30数値目標

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	<p>(評価の根拠) 男女問わず広く市民から意見が出されている。特に「市長への手紙」や「市民ふれあいミーティング」、「公共施設見学会」は、女性からの提案・質問・参加等も多く、意見聴取の機会は確保されている。また「市長と話し合う会」については、昨年度からテーマを設けたことにより、女性参加者及び女性からの質問が多くなった。</p> <p>(課題・問題点) 「市長と話し合う会」や「市民ふれあいミーティング」は、女性や若年層の参加が少ないため、広報もばらやウェブサイトだけでなく、他の周知手段を考える必要がある。</p>	

C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	<p>(評価の根拠) 女性参加者の増加を図る取組みが、広報等の周知だけでは不十分である。他の方法についても検討されたい。</p> <p>(課題・改善策) 女性の意見を求める別の機会を設けてはどうか。どの年齢層の、どういった女性を対象とするのかを明確にした上で具体的な数値目標を設定されたい。育児世帯を対象とするなら、託児環境を用意したり、時間帯を考慮する必要がある。</p>	

A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)		
	引き続き、「市長と話し合う会」の会議録や「市長への手紙」の内容を公開していくことで、興味喚起を行う。また、広報やウェブサイトだけでなく、Facebookやマチイロ等の媒体を活用し、周知に努める。 開催回数・時間は未定。		

重点評価事業

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による3次評価(H30事業)

項目評価及び総合評価

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・担当課及び推進委員会の意見と同意見。 ・着実に計画を進められている。 ・女性が参加しやすいように日程を工夫したことは評価できる。 ・女性の参加者が増えていて、成果が出ている。 ・記載内容がH29のものと98%くらい同じ内容。H29の1次評価で「…は、女性や若年層の参加が少ないため…他の周知手段を考える必要がある」と具体的に課題に触れながらも、周知手段がH29と全く同じ内容で、H30の課題・問題点がまた同じであるのは、課題・問題点とこいつつ、それを解決しようとする姿勢が見られない。
改善策等の提言	
<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの事業で話し合われた内容や意見について公表したり、募集内容をより明確にし、テーマや募集内容を絞ることで、敷居が低くなり、より参加者が増えるのではないかな。 ・テーマを決めて参加者を募ることで、女性参加者を増やす等工夫されたい。 ・託児所を設けたり、市民が参加しやすい環境づくりに取り組まれたい。 ・それぞれの事業の数値目標(参加者数等)を設定してもよいのではないかな。 ・周知方法について、インターネット技術についていけない高齢者への効果的な周知方法も考えられたい。 ・「市長と語り合う会」では管理職の市職員が市長の答弁に対して失笑していたり、個人の意見を長い時間述べる市民がいたり、職員の意識や運営上の問題があるように感じた。 ・「ふれあいミーティング」や「市長と語る会」では、名札に役職だけ書いてあり、氏名が書いていなくて市民に失礼だと思う。役職としてだけでなく、個人としても責任を負うことで市民との信頼ができてくると思う。 ・市長の方からテーマを設けて、参加者・意見を募ればもっと参加者・意見が出てくると思う。各課が課題・現状を説明し、それについて市民の意見を求めるべき。毎回特定の人が同じ話を長時間話すような会になっていると、参加者も減ってしまう。 ・本来各課窓口で対応すべきことなのに、各課の対応が適切でないため、市長に要望が集まるようになる。市長に喋らせず、担当部長がきちんと対処すべき。 ・数値目標を設定されたい。例えば、現在、女性比率約11パーセントの市長と話し合う会の女性比率を40%以上にする(男女別の定員を設け、女性が定員が満たない場合には、女性が多く集まる場所に張り紙をしたり、各地区の自治会に出席できる女性を募集するように依頼する等)等。 ・男女共同参画に関する現状を改善しようという、市長の強い意志を感じられるような改善策を打ち出してほしい。 	

【総合評価基準】

- A : 十分な成果をあげた(達成度8割以上)
- B : ある程度の成果をあげた(達成度4割～7割)
- C : 事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	25	基本目標	Ⅲ 様々な分野における男女共同参画
事業名	市女性職員の登用の推進	主要課題	Ⅲ-1 政策・方針決定過程における男女共同参画
課係名	職員課	施策の方向	Ⅲ-1(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進
担当者職氏名	副主査 長谷 裕子	内線番号	7432

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)
	今後も積極的に、女性の登用を図る。

P L A N (計画)	事業の概要			
	男女を問わず採用・登用し、性別にとらわれない人事配置を行う。また、女性職員がその能力特性を十分発揮し、政策・方針決定過程への参画を通して管理職へ積極的に登用されるよう、人材育成の方策について検討する。			
	H30予算額(千円)	0	H30予算額(再掲の場合)	
	H30決算見込額	0	R1予算額	0
	平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)			
	① 適材適所の人員配置をして、積極的な女性の登用を図る。			

D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入 (添付書類 無)
	平成30年度管理職への登用状況(H30.4.1現在) 管理職に占める女性の割合 20.3%(23人/113人) 9級(部長職) 0人/8人 8級(次長職) 2人/10人 7級(課長職) 3人/39人 6級(補佐級) 18人/56人

C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果	H30数値目標
	(20)管理職における女性の割合 目標:平成32年度までに30%以上 成果:20.3%	

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等	
	<table border="1"> <tr> <td>B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)</td> <td>(評価の根拠) 能力開発のための研修参加者から管理職へ登用を図り、効果をあげることができた。政策・方針決定などに参画し、実力を発揮している。 (課題・改善策) 女性の登用にあたっては、本人の意欲や責任感の醸成が必要であるとともに、長期的視点にたつて対応を図る必要がある。</td> </tr> </table>	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)
B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 能力開発のための研修参加者から管理職へ登用を図り、効果をあげることができた。政策・方針決定などに参画し、実力を発揮している。 (課題・改善策) 女性の登用にあたっては、本人の意欲や責任感の醸成が必要であるとともに、長期的視点にたつて対応を図る必要がある。	
C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等	
	<table border="1"> <tr> <td>B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)</td> <td>(評価の根拠) 積極的な登用は行っているが、目標数値には達していない。 (課題・改善策) 研修参加のみならず、人事評価制度を生かし登用を図る必要がある。</td> </tr> </table>	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)
B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 積極的な登用は行っているが、目標数値には達していない。 (課題・改善策) 研修参加のみならず、人事評価制度を生かし登用を図る必要がある。	

A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)
	今後も積極的に、女性の登用をはかる。

重点評価事業

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による3次評価(H30事業)

項目評価及び総合評価

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である	【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・目標が30%の割には成果が低いが、H29より1.3%上昇しているため、着実に計画を進められている。 ・数値等が更新された以外、H29とほぼ同じ内容。 ・課題・改善策については、担当者と同意見。 ・事業概要の2つ目「女性職員が…管理職へ積極的に登用されるよう、人材育成の方策について検討する」の部分の実施が見えない。 ・H29年度の2次評価にもあった「早期からの意識の醸成・能力開発等の人材育成に取り組まれない」の部分についての取り組みが見えない。 ・改善策が具体的に書かれていない。
改善策等の提言	
<ul style="list-style-type: none"> ・女性本人の意欲や責任感の醸成が必要。 ・女性管理職を育てていく体制、女性が管理職として働きやすい環境整備(メンター制度、スポンサーシップ制度の導入等)が必要。 ・女性の意識改革も必要だが、男性職員に対する意識改革も必要。家庭内での男性の意識が変わり、家庭での女性の負担が軽減されないと難しい。 ・男性側にも女性も管理職につけるようにするべきだという意識醸成を積極的に行い、人材登用制度の改革を働き方改革や福利厚生改革と組み合わせて実施できる仕組みを構築されたい。(人材登用制度だけを変えても、子育てや介護に忙しい女性が残業ができない等の問題があるため、育児休暇や介護休暇を配偶者とどちらが取れるか、半分ずつ取れるようにし、休暇中の「代理」制度、残業は最低限にするために、業務量全体の削減を図る等を他部署と共に改革を行う)。 ・女性管理職が少ない理由として「女性が管理職をやりたいがらない」と言われるが、女性がなぜやりたがらないかを考えないといけない。家庭での負担や、職場での男女差別等。 	

【総合評価基準】

- A : 十分な成果をあげた(達成度8割以上)
- B : ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)
- C : 事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	26	基本目標	Ⅲ 様々な分野における男女共同参画
事業名	市女性職員の能力開発のための研修への参加機会の確保・拡大	主要課題	Ⅲ-1 政策・方針決定過程における男女共同参画
課係名	職員課	施策の方向	Ⅲ-1(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進
担当者職氏名	副主査 長谷 裕子	内線番号	7432

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)
	引き続き、自発的に参加しようとする職員の育成に努める。

P L A N (計画)	事業の概要
	女性職員の人材育成の観点から、関係機関での研修を活用するなど、能力開発のための研修等への参加機会の確保・拡充を図る。
	H30予算額(千円) 74 H30予算額(再掲の場合)
	H30決算見込額 59 R1予算額 74
	平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)
	①千葉県自治研修センター等が実施する女性職員のための研修に、積極的に職員を派遣する。

D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を簡条書きで具体的に記入 (添付書類 無)
	①平成30年度4名の女性職員を派遣。 ・千葉県自治研修センター「女性職員スキルアップ研修」(1日間)2名 ・株式会社インソース「女性リーダー研修スキルアップ編」(1日間)2名

C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果	H30数値目標
	(21) 市女性職員の能力開発のための研修への参加人数 延べ25人以上 成果:4人	年5人
	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等	
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 係長相当職の職員を派遣したので、女性リーダーの育成に有効であったと考える。研修で学んだことを活かし各所属で活躍している。 (課題・改善策) 現在、派遣職員の決定は職員課の推薦に基づき行っているが、意欲のある職員の自発的な参加が可能となる方針を検討する必要がある。
推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) ある程度目標数値を達成している。 (課題・改善策) 管理職割合を増加していく為に、係員レベルから様々な研修への参加機会を確保し女性リーダー育成を図られたい。

A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)
	引き続き研修に積極的に派遣するとともに、自発的に参加しようとする職員の育成に努める。

重点評価事業

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による3次評価(H30事業)

項目評価及び総合評価

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である	【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	・担当者による自己評価は適切に行われている。改善策もきちんと書かれている。
改善策等の提言	
<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に職員を派遣すると言っているのに、年5人の数値目標は低い。 ・事業の概要には「能力開発のための研修等への参加機会の確保・拡充を図る」とあるのに、H30の取り組み計画で「千葉県自治研修センター等の実施する女性職員のための研修に…」と最初から制限されていることが気になる。 ・担当者が改善策に記載しているように、職員課による推薦だけでなく、女性が自発的な参加が可能となるような制度を検討されたい。管理職を目指す女性を応援するために、彼女たちが必要としている民間の研修コースへの参加や開催ができるようにするのはどうか。 ・女性のみを対象としたスキルアップ研修への参加だけではなく、男女双方を対象としている「管理職養成講座」のような研修にも、男性だけでなく女性職員を参加させるべき。 ・指標としては、現在の指標に加えて、「市女性職員の能力開発のための研修機会を増加させる」として、「市女性職員が参加する能力強化研修件数が～件になる」という研修数の目標値や、「将来的に管理職につきたいという意欲を持ったし女性職員が～名以上になる」等も考えられる。 	

【総合評価基準】

- A : 十分な成果をあげた(達成度8割以上)
- B : ある程度の成果をあげた(達成度4割～7割)
- C : 事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	27	基本目標	Ⅲ 様々な分野における男女共同参画
事業名	男女雇用機会均等や育児・介護休業に係る法制度の周知と積極的取り組み(ポジティブ・アクション)の促進	主要課題	Ⅲ-1 政策・方針決定過程における男女共同参画
課係名	商工観光課	施策の方向	Ⅲ-1(2)企業や団体における方針決定過程への男女共同参画の促進
担当者職氏名	課長補佐 深山 光男	内線番号	7633

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)		
	国・県等の施策に関する情報を、市ホームページ上でさらに見やすく利用しやすいものとし効果的に発信する。また、「次世代育成支援対策推進法」及び「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」の周知に努めるとともに、一般事業主行動計画の策定を促進する。		

P L A N (計画)	事業の概要		
	男女ともに仕事と育児・介護が両立できる職場環境を整備するため、男女雇用機会均等や育児・介護休業に係る法制度の周知を図る。また、商工会議所等の関係機関と連携し、企業・団体におけるポジティブ・アクション(積極的改善措置)の実行等を通じ、積極的に女性を指導的地位へ登用するよう促す。		
	H30予算額(千円)	0	H30予算額(再掲の場合)
	H30決算見込額	0	R1予算額
			0
平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)			
①男女雇用機会均等や育児・介護休業に係る法制度、ポジティブ・アクション関連の情報提供のため、市ホームページを積極的に活用するとともに、商工団体の広報誌への掲載やパンフレット等の配付により事業所への周知に努める。 ②他市町村における取り組みを調査するとともに、企業における優良事例等を発信する。			

D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を簡条書きで具体的に記入 (添付書類 無)		
	①関係機関主催によるセミナーや法制度に関するチラシ等の案内を市窓口、公共施設で配布し周知した。 ②市ホームページの構成を施策体系に沿って整理し効果的な情報発信に努めるとともに、国のポータルサイトの利活用を促進した。		

C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果		H30数値目標
	各種セミナー・講習会等を活用した周知機会の創出		年2回
	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 国・県の施策の周知にとどまり、積極的な事業実施が展開できていないものの、今年度においては、HP上での表示を工夫した。 (課題・問題点) 市の取り組みは、国・県等の情報提供と周知が主となってしまい、それ以上の取り組みが難しい。	
	推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等		
B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) HP上の情報を見やすく改善するなど、周知に努めている。 (課題・改善策) 計画②に対する実施が一致していない。企業の優良事例や他市町村における取り組みを調査し、目に見える形にしていきたい。		

A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)		
	国・県等の施策に関する情報を、市ホームページ上でさらに充実させるとともに、「次世代育成支援対策推進法」及び「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」の周知に努め、一般事業主行動計画の策定を促進する。		

重点評価事業

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による3次評価(H30事業)

項目評価及び総合評価

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・数値目標に対して、成果の記載がない。 ・「各種セミナー」と記載されており、具体的な記載がない。 ・PLAN②「他市町村における取組を調査するとともに、企業における優良事例等を発信する」の取組みが見えない。実施②が一致していない。
改善策等の提言	
<ul style="list-style-type: none"> ・担当課が具体的に何をやったらよいか分からないよう。事業を見直すとともに何をどのようにやるのか定めるべき。 ・茂原市独自の優良企業表彰を実施すると、企業ももっと関心が出てくるのではないか。 ・数値目標に、他市町村および企業における取り組みを何件検査するかどうか、優良事例を何件発信することができたか等加えるのはどうか。 ・茂原市のホームページは他市と比べて分かりづらい。国・県等の施策の周知だけでなく、もっと知らせようという工夫が必要。 ・H29には、促進施策(一般事業主行動計画の策定?)を検討するとあったのが、H30には消えている。H29シートの改善の中には、H30に「一般事業主行動計画の策定」をするとあるため、R1は計画に含めて実施されたい。 	

【総合評価基準】

- A : 十分な成果をあげた(達成度8割以上)
- B : ある程度の成果をあげた(達成度4割～7割)
- C : 事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	28	基本目標	Ⅲ 様々な分野における男女共同参画
事業名	就労を希望する女性の再チャレンジ支援	主要課題	Ⅲ-1 政策・方針決定過程における男女共同参画
課係名	商工観光課	施策の方向	Ⅲ-1(2)企業や団体における方針決定過程への男女共同参画の促進
担当者職氏名	課長補佐 深山 光男	内線番号	7633

ACT(改善) 平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)

千葉県ジョブサポートセンターと連携し、ニーズに応じた再就職支援セミナーを継続して開催する。また、マザーズハローワークや千葉県ジョブサポートセンターなどの就職支援機関と支援業務の情報を効果的に発信する。

PLAN(計画) 事業の概要

県及び関係機関と連携し、女性の職業能力の向上のための講座や再就職を支援するための情報提供を実施する。
広報紙・ホームページを利用し、就業相談窓口の情報を提供するとともに、女性の就職・再就職等のための相談事業の支援を実施する。

H30予算額(千円)	0	H30予算額(再掲の場合)	
H30決算見込額	0	R1予算額	0

平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)

- ①千葉県ジョブサポートセンターと連携し、再就職を支援するセミナーを開催する。
- ②ハローワーク茂原やマザーズハローワークなどの支援機関が開催する講座や、就職・再就職支援の取り組みについて、広報・市ホームページへの掲載により情報を提供するとともに、関係機関のパンフレット等を商工観光課カウンターに設置する。

DO(実施) 平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)

- ①本年度においても「千葉県ジョブサポートセンター」の講師派遣事業を活用し、「子育てお母さんの再就職支援セミナー」の開催を希望したが、前年の参加者が少数(7名)であったことから、開催にいたらなかった。
- ②市ホームページの構成を施策体系に沿って整理し、「マザーズハローワーク」や「千葉県ジョブサポートセンター」などの就職支援機関及び就業相談・就職支援セミナーなどの情報発信を強化した。

CHECK(評価) 数値目標と平成30年度の成果

女性の就職・再就職に特化したセミナーの開催にいたらなかった。(全年齢を対象としたセミナーを開催し20名が参加。うち7名が女性)	H30数値目標 15人以上
---	------------------

担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等

B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)
(評価の根拠) 女性に特化せず、全年齢を対象としたセミナーの開催ではあったが、結果として7名の女性が参加するにいたった。
(課題・問題点) 再就職支援については、就業を希望する女性のニーズを把握や、支援メニューを提供する必要がある。

推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等

B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)
(評価の根拠) 開催には至らなかったが、取り組みは行われている。
(課題・改善策) 再就職を希望する女性のニーズ把握や、支援メニューの内容を検討されたい。

ACT(改善) 令和元年度の取り組み(予定)

千葉県ジョブサポートセンターと連携し、ニーズに応じた再就職支援セミナーを継続して開催する。また、マザーズハローワークや千葉県ジョブサポートセンターなどの就職支援機関と支援業務の情報発信をさらに強化する。

重点評価事業

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による3次評価(H30事業)

項目評価及び総合評価

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2	4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である	【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・推進委員会と同意見。 ・情報発信の的が外れているように感じられる。
改善策等の提言	
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代の参加しやすい環境づくり(日程の工夫・託児など)に取り組みたい。そのためには予算の確保にも努める必要あり。予算がない中で県の講師派遣事業を利用するのであれば、参加者の確保に工夫が必要。 ・女性参加者7名がセミナー受講後、就職ができたのかなど具体的な効果について記載されたい。 ・女性のニーズ把握や支援メニューを充実させる必要あり。庁舎9階のサポートステーションから情報を収集してはどうか。 ・市がどんな情報を発信すべきか検討するとともに、効果的な発信の仕方を検討されたい。また、評価のため、情報発信した場所(ホームページのどこに掲載されているか等)の記載をされたい。 ・保健センターと連携されたい。もし、すでに保健センターとの連携がされているならば、そのような記載をされたい。 	

【総合評価基準】

- A : 十分な成果をあげた(達成度8割以上)
- B : ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)
- C : 事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	29	基本目標	Ⅲ 様々な分野における男女共同参画
事業名	国際的視野に立った男女共同参画の推進	主要課題	Ⅲ-2 地域社会における男女共同参画
課係名	企画政策課	施策の方向	Ⅲ-2(1)地域における男女共同参画の促進
担当者職氏名	主事 磯部 千尋	内線番号	7415

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)
	姉妹都市交流についても、国際交流協会の事業についても、男女共に自主的に活動に参加し、活躍できるよう、さらなる周知に努め、活動を支援する。

P L A N (計画)	事業の概要	
	男女を問わず国際社会に柔軟に対応できる人材を育成するため、国際交流を通じて異文化理解と友好親善を深める機会の充実に努める。 また、茂原市国際交流協会と協力し、性別・国籍を問わずすべての住民が安心して暮らせる多文化共生社会の実現を目指す。	
	H30予算額(千円)	2,619
	H30決算見込額	888
	H30予算額(再掲の場合)	
	R1予算額	518
平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)		
①姉妹都市交流について、豪ソルズベリー市より訪問団を受け入れ、行政レベル・市民レベルでの交流事業を実施する。		
②国際交流協会と協力し、国際交流や多文化共生社会促進のための事業を実施する。		

D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を簡条書きで具体的に記入 (添付書類 無)
	①姉妹都市交流について、性別を問わず参加できる機会を提供した。 通訳ボランティア協力者数(男:3名、女:2名)、他、表敬訪問、歓迎会、日本文化交流、七夕祭りへの参加を通じて、職員や市民との交流を図った。 ②国際交流協会と協力し、国際交流や多文化共生社会促進のための事業を実施し、性別を問わず広く企画立案への参画や事業への参加の機会を提供した。 理事会の構成(男:9名、女:6名)、国際交流バーベキュー参加者数(男:28名、女:48名)、国際交流バスツアー参加者数(男:11名、女:44名)、国際交流パーティー参加者数(男:45名、女:78名)、世界の料理教室参加者数(男:4名、女:12名)、日本人向け「多文化共生社会のための異文化コミュニケーション講座」参加者数(男:15名、女:27名)、在住外国人向け生活相談会延べ参加者数(男:13名、女:39名)

C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果	H30数値目標
	(22) 国際交流イベントの開催 10回以上(年2回以上) 成果:年6回	年5回以上
	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等	
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 数値目標を達成している。 (課題・改善策) 国際交流及び多文化共生促進事業は、異文化の相互理解や国籍にとらわれない共生を目的としているので、そこに男女共同参画の視点を盛り込むことは難しい。男女関係なく企画立案へ参画してもらったり、事業へ参加してもらうことは大前提であり、各事業において運営者も参加者も性別にとらわれずに活躍している。
推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等		
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 数値目標を達成しているが、国際交流事業における男性の参加比率が少ない。 (課題・改善策) 引き続き男女の性別に捉われず、より裾野を広げた市民交流を開催されたい。	

A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)
	姉妹都市交流事業及び国際交流協会事業について、男女共に企画立案から積極的に参画してもらうよう、幅広い周知を図る。

重点評価事業

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による3次評価(H30事業)

項目評価及び総合評価

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である	【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
A	<ul style="list-style-type: none"> ・推進委員会と同意見。きちんと計画を進められていると思う。 ・国際交流の事業の中で、男女共同参画という概念が重要視されるものではない中で、担当課は努力している。数値目標以上の成果も見られる。 ・年6回もイベントを開催している。参加者は女性の方が多いが、もう少し男性参加者が増えても良い。 ・参加者に男女差はあるが、割と夫婦や家族で参加しているのではないかと思うので、それほど男女差は気にならない。
改善策等の提言	
<ul style="list-style-type: none"> ・国際的視野の男女共同参画について、ジェンダーギャップ指数など日本はランキングがかなり低いので、そういう意味ではもう一度どのようなことをするのか考えてみたい。 ・目標と計画の立て方がこれで良いのか疑問。狙いがはっきりしないと、このシート自体なくても良いのではないか。 ・あくまで国際交流事業であって、男女共同参画の推進とはあまり関係ないのではないか。 ・諸外国(スウェーデン・デンマーク等)の役所・議会に職員を派遣して、男女共同参画を学ぶ等できればよい。 	

【総合評価基準】

- A : 十分な成果をあげた(達成度8割以上)
- B : ある程度の成果をあげた(達成度4割～7割)
- C : 事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	30	基本目標	Ⅲ 様々な分野における男女共同参画
事業名	環境保全における男女共同参画の促進	主要課題	Ⅲ-2 地域社会における男女共同参画
課係名	環境保全課	施策の方向	Ⅲ-2(1)地域における男女共同参画の促進
担当者職氏名	係長 東間 一博	内線番号	7662

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)
	ゴミゼロ運動を継続していくことで市民の環境美化に対する意識の高揚を図る。茂原市花いっぱい運動推進協議会と協働により第67回花いっぱいコンクールを開催し多くの方に参加してもらえるよう呼びかけていく。

P L A N (計画)	事業の概要
	公共施設への花の植栽や花いっぱい運動を通じて緑や花を育てる市民意識の高揚を図るとともに、ゴミゼロ運動など環境保全のための地域活動に男女がともに参画する環境づくりを目指す。

H30予算額(千円)	2,569	H30予算額(再掲の場合)	
H30決算見込額	2,510	R1予算額	2,466

P L A N (計画)	平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)
	①ゴミゼロ運動の実施(5月27日) ②花いっぱいコンクールの実施(春の審査会・秋の審査会)の開催

D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入 (添付書類 無)
	①ゴミゼロ運動の実施(5月27日) 参加者数12,345人(H29:12,186人) ②花いっぱいコンクールの実施 春(4月17日、4月20日)秋(9月18日、9月21日) 参加34組(H29:38組)

C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果	H30数値目標
	(23)花いっぱいコンクールの参加者数 目標:延べ200組(年40組×5年) 成果:34組 (24)ゴミゼロ運動の参加者数 目標:延べ75,000人(年15,000人×5年) 成果:12,345人	(23)年40組 (24)年15,000人

担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等

C H E C K (評価)	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) ゴミゼロ運動は男女を問わず幅広い年齢層の市民が参加した。また、年間を通じて自治会やボランティア団体による地域清掃が行われた。花いっぱいコンクールは段男女ともに参加が得られた。 (課題・改善策) 参加者の増加に努める。
-------------------------------	----------------------	---

推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等

C H E C K (評価)	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 数値目標の8割を達成している。 (課題・改善策) ②参加34組の男女比率を数値で把握する方法を検討されたい。全体の数値目標が高過ぎるように思われるため、再考しても良いのではないか。
-------------------------------	----------------------	---

A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)
	ゴミゼロ運動を継続していくことで市民の環境美化に対する意識の高揚を図る。茂原市花いっぱい運動推進協議会と協働により第68回茂原市花いっぱいコンクールを開催し多くの市民に参加してもらえるよう呼びかけていく。

重点評価事業

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による3次評価(H30事業)

項目評価及び総合評価

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である	【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・推進委員会と同意見。 ・数値目標は達成していないが、昨年より微増している。
改善策等の提言	
<ul style="list-style-type: none"> ・2次評価で数値目標を再考しても良いのではとあるが、再考しないで良いと思う。数値目標の達成に向けて努力されたい。 ・ごみの減量化については、小中学校と協力して取り組まれない。 ・ごみゼロ運動は自治会行事として、かなり浸透していると思う。花いっぱいコンクールは、一時は盛んだったようだったが、ここ数年はコンクールが開催されていることを知らない市民も多いと感じる。小中学校を中心に各地域団体に声がけし、来年のオリンピックの際「花でおもてなし」も考えられるが、茂原に立ち寄ってもらう事を考えなければならないと思う。 ・ごみゼロ運動や花いっぱいコンクールは男女共同参画とは視点が違うので、担当課と一度話してみたいと思う。他に男女共同参画の視点の事業がないのであれば、このシートはなくてよいのではないかな。 ・環境問題を無理に男女共同参画と結び付ける必要はないのではないかな。 ・担当課としてやっている事業としてはA評価だが、男女共同参画の推進における課題にわざわざ挙げる必要はないと思う。男女共同参画の視点から見たらこのシートはいらないと思う。 	

【総合評価基準】

- A : 十分な成果をあげた(達成度8割以上)
- B : ある程度の成果をあげた(達成度4割～7割)
- C : 事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	31	基本目標	IV ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
事業名	父親の子育てに関する学習機会の提供	主要課題	IV-1 家庭における男女共同参画
課係名	生涯学習課	施策の方向	IV-1(1)家庭生活における男女共同参画の促進
担当者職氏名	副主査 篠崎 光代	内線番号	7932

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)
	引き続き、家庭教育学級を通じて、家庭生活における男女共同参画の意識啓発を図る。

P L A N (計画)	事業の概要
	家庭教育学級などにおいて、父親の子育ての意識を高める内容を取り入れるなど、父親の積極的な子育ての参加を促進するための学習機会を提供し、子育てを共にする意識の啓発を図る。 また、父親が参加しやすいよう、講座・講習会・研修視察等を土日にも開催し、男女共同参画の高揚を図る。

H30予算額(千円)		H30予算額(再掲の場合)	614
H30決算見込額	528	R1予算額	583

P L A N (計画)	平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)
	①幼児期家庭教育学級の開催 ②就学时子育て講座 ③幼稚園・小学校家庭教育学級の開催

D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を簡条書きで具体的に記入 (添付書類 無)
	① 5回 86人 (男性 8人、女性 78人) ②14回 623人 (男性 36人、女性 587人) ③60回 2,335人 (男性 475人、女性 1,860人)

C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果	H30数値目標
	(25) 家庭教育学級の開催回数 375回(年75回) 成果: 79回 (26) 家庭教育学級の父親参加者 延べ1,700人以上(年340人以上) 成果: 519人	年75回 年450人

担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等

C H E C K (評価)	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 開催回数、参加者数が数値目標を上回ったため。 (課題・問題点)
-------------------------------	----------------------	--

推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等

C H E C K (評価)	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 数値目標を達成している (課題・改善策)
-------------------------------	----------------------	---------------------------------

A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)
	引き続き、家庭教育学級を通じて、家庭生活における男女共同参画の意識啓発を図る。

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	32ここから	基本目標	IV ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
事業名	妊娠期の健康管理・育児に関する学習機会の提供	主要課題	IV-1 家庭における男女共同参画
課係名	健康管理課	施策の方向	IV-1(1)家庭生活における男女共同参画の促進
担当者職氏名	保健師 櫻井 奈津美	内線番号	25-1725

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)		
	平日の日程があわない参加者のために、訪問、保健センターにての個別指導を実施する。また、教室の内容を父親にも参加しやすい内容にし、男性の参加率を向上させる。		

P L A N (計画)	事業の概要		
	妊娠期から夫婦で積極的に健康管理・育児の知識の普及と技術の習得を行うことで、出産後育児が不安なく行われ、愛情を持って子どもを養育できるよう「ママ・パパ教室」等を実施する。開催にあたっては父親も参加しやすいよう土曜日にも実施する。		
	H30予算額(千円)	234	H30予算額(再掲の場合)
	H30決算見込額	216	R1予算額
平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)			
①3コース実施 各コース4回(平日2回、土曜日2回)実施する。 ・1回目:「出産準備編」・・・妊娠・陣痛・お産中の時の過ごし方。ママと赤ちゃんの歯のお話 他 ・2回目:「産後育児編」・・・母乳育児のお話、おむつ交換体験、ママと赤ちゃんの栄養のお話 他 ・3回目:「沐浴・妊婦体験編」・・・赤ちゃんのお風呂入れ体験、パパ”カ”アップミニ講座 他 ②受講者アンケートを、参加者(母親、父親等)に実施し、教室を知った経緯や今後教室にて体験したいこと学びたいこと、などを集計していく。 ③グループワークを開催し、父親として役割を共有できるように支援していく。			

D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を簡条書きで具体的に記入 (添付書類 無)		
	①1回目「出産準備編」(年4回実施のうち、平日2回、土2回実施) 妊婦77名、夫45名、他6名 2回目「産後育児編」(年4回実施のうち、平日2回、土2回実施) 妊婦83名、夫54名、他3名 3回目「沐浴・妊婦体験編」(年4回実施のうち、平日2回、土2回実施) 妊婦76名、夫63名、他3名 ②アンケートを実施、参加動機や不安軽減の有無、おむつ交換と沐浴体験等の感想を集計した。 ③妊婦と2人で参加していても、父親同士情報交換できるよう工夫した。		

C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果		H30数値目標
	(27) ママ・パパ教室の初妊婦参加率 目標:50% 成果:40.9%		(27)50%
	(28) ママ・パパ教室のパートナー参加率 目標:70% 成果:68.6%		(28)70%
	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等		
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)		(評価の根拠) ママ・パパ教室の初妊婦参加率及びパートナー参加率について、概ね数値目標を達成した。母子健康手帳発行時やママ・パパ教室時に次回の参加を促すなど、周知にも努めた。また、参加者の89%が『不安が軽減された』との回答があり、おおむね教室の内容に満足されていた。 (課題・改善策) 夫の子育て参加促進のための具体的な指導を求められることもあったため、夫婦ともに主体的に育児ができるような教室の内容に改善する必要がある。	
推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等			
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)		(評価の根拠) 子育てにおける父親の参加意識が高まっており、十分な成果を上げていく。 (課題・改善策) 今後も引き続き、夫婦で積極的に育児に携っていけるよう実技指導等を含めた教室の実施、情報交換の機会の提供に努められたい。	

A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)		
	妊婦及びその夫が共に協力して育児ができるよう、先輩ママ・パパから体験談を聞く機会を設けたり、調乳指導など夫にもできる育児手技が体験できる機会等も盛り込み、4回目の教室として追加する。また、防災や受動喫煙、夫婦間トラブルの予防に関する内容についても取り入れ、妊娠期より子どもの健やかな成長を育むための環境づくりを支援していきたい。		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	33	基本目標	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
事業名	男性の家庭参画を促す講座等の実施	主要課題	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画
課係名	東部台文化会館	施策の方向	Ⅳ-1(1)家庭生活における男女共同参画の促進
担当者職氏名	係長 菊池 京子	内線番号	23-8711

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)		
	「男の料理教室」「太巻き寿司教室」を実施し、家事に親しんでもらう機会を設け、更なる男性の家庭参画を促進する。		

P L A N (計画)	事業の概要		
	男女が対等な家族の構成員として互いに尊重し協力し合えるよう、男性も参加しやすい料理教室やその他生活に根ざした実践的な講座・生きがい講座等を開催し、男性の家庭参画を促進する。		

H30予算額(千円)	100	H30予算額(再掲の場合)	
H30決算見込額	100	R1予算額	100

P L A N (計画)	平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)		
	①「男の料理教室」は毎月第3又は第4金曜日とする。(5~7月、9月~10月の年5回) 「太巻き寿司教室」は毎月第4木曜日とする。(6~7月、9月~11月の年5回)		
	②旬の食材を活かし、健康的な家庭料理を習得する。(男の料理教室) 季節感のある模様を巻き込んだ房総伝統の太巻き寿司の作り方を習得する。(太巻き寿司教室) ③食生活への関心を高め、健康増進を図るとともに、楽しく家事に参加するよう促す。		

D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を簡条書きで具体的に記入 (添付書類 無)		
	①「男の料理教室」講師:佐土邦枝氏 開催日:5月25日、6月22日、7月20日、9月21日、10月26日(金)全5回 参加者88人(男性88人)、「太巻き寿司教室」講師:関野和子氏 開催日:6月28日、7月26日、9月27日、10月25日、11月22日(木)全5回 参加者93人(男性9人)		
	②旬の食材を活かし、健康的な家庭料理を実習した(男の料理教室)。季節感あふれる模様を巻き込んだ房総伝統の太巻き寿司を楽しく実習できた(太巻き寿司教室)。 ③食材の特性や季節感を大事にし、家庭でも参考になる調理方法を実習した。		

C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果		H30数値目標
	(29) 男性の家庭参画を促す講座の開催 45回以上(年10回以上) 成果:年10回		(29)年10回
	(30) 男性の家庭参画を促す講座の参加者 900人以上(年180人以上) 成果:年181名		(30)年180人

担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等

C H E C K (評価)	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 受講生たちが講師の説明の時に真剣にメモを取っている姿や、とても楽しんで作業している様子が見られる。受講後のアンケートには、本格的な味を知り食材などを見直した、基礎的なことを学べ実践に役立つ、などの意見もあり、食に対する興味や家庭参画が促進されていると感じる。 (課題・改善策) 昨年より内容を簡単に、より家庭で応用できるように工夫したため満足度は高かった。「太巻き寿司教室」については募集時に声掛けをし、男性受講者が増えるようにしたい。
-------------------------------	----------------------	---

推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等

C H E C K (評価)	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 講座の開催回数、参加者数ともに数値目標を達成している。 (課題・改善策) 太巻き寿司教室における男性参加者の増加が図られるよう、周知方法等に工夫を図られたい。
-------------------------------	----------------------	--

A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)		
	「男の料理教室」「太巻き寿司教室」を実施し、家事に親しんでもらう機会を設け、男性の家庭参画を促進する。		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	34	基本目標	IV ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
事業名	乳幼児相談・検診事業の充実	主要課題	IV-1 家庭における男女共同参画
課係名	健康管理課	施策の方向	IV-1(1)家庭生活における男女共同参画の促進
担当者職氏名	保健師 清水 裕子	内線番号	25-1725

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)
	電話や家庭訪問等における受診勧奨を行い、さらなる受診率の向上をめざす。男性がより積極的に育児に参画するためにも、健診から育児パパおとこ塾等へ積極的に参加できるよう事業周知をはかっていく。

P L A N (計画)	事業の概要
	すべての乳児に健康相談、幼児に健康診査を行い、運動機能・視聴覚等の障害、精神発達の遅滞等障害を早期に発見し、適切な指導を行い、心身障害の進行を未然に防止する。また、乳幼児期の親子が健全に成長発達でき、楽しく育児ができるように健康相談、健康診査を通じて男女が共に家庭における役割を担えるよう啓発していく。

H30予算額(千円)	6,502	H30予算額(再掲の場合)	
H30決算見込額	6,321	R1予算額	6,528

P L A N (計画)	平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)
	①相談・健診未受診者に対して、電話・家庭訪問等で再勧奨し、受診率の向上を目指す。 ②育児についての不安や悩みをしっかりと聞くことにより育児不安の軽減を図り、家族やパートナーとの関係で悩んでいる方は育児パパおとこ塾等の事業や関係機関の相談に繋げる。

D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入 (添付書類 無)
	①受診率:6か月乳児相談97.1%、1歳6か月児健診98.7%、3歳児健診97.5% 受診勧奨、精密検査連絡票発行者数:6か月乳児相談4件、1歳6か月児健診24件、3歳児健診45件(平成30年2月末現在) ②育児不安等については、電話や訪問等で保健師等が対応し、不安の軽減に務めた。また、パートナーとの関係に悩んでいる方については、育児パパおとこ塾を紹介する他、子育て支援課の相談に繋げるなどした。

C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果	H30数値目標
	①6か月乳児相談受診率 成果:97.1%(平成29成果:95.6%)	①95%
	②1歳6か月児健康診査受診率 成果:98.7%(平成29成果:97.3%)	②97%
	③3歳児健康診査受診率 成果:97.5%(平成29成果:96.8%)	③95%

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上) (評価の根拠) 6か月乳児相談、1歳6か月児健診、3歳児健診のいずれも数値目標を達成し、未受診者についても訪問等で把握に努めた。また、夫婦で協力して育児ができるように各種健診を通じて働きかけた。 (課題・改善策) 次年度も引き続き高い受診率を維持できるよう受診勧奨に努める。

C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上) (評価の根拠) 十分な成果を上げている。 (課題・改善策) 計画②について目標を数値で掲げられると、評価がしやすい。

A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)
	各種健診については、電話や家庭訪問等による受診勧奨を行い、高い受診率を維持できるよう努める。また、夫婦で協力して育児ができるように、母子保健事業を通じて働きかけ、必要に応じて子育て支援課につないでいく。

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	35	基本目標	IV ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
事業名	子ども・子育て支援事業計画の推進	主要課題	IV-1 家庭における男女共同参画
課係名	子育て支援課	施策の方向	IV-1(2)子育て支援の充実
担当者職氏名	課長補佐 齊藤 隆	内線番号	6234

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)
	引き続き各事業の実績を把握して子育て支援策の充実を図る。

P L A N (計画)	事業の概要
	「未来に輝く子どもたち みんなで育てるまち もばら」の基本理念をもとに、幼児期の学校教育・保育の充実及び地域子ども・子育て支援事業の充実に加え、「長生郡市次世代育成支援対策地域行動計画」で掲げてきた各施策について、4つの基本目標を掲げ推進していく。

H30予算額(千円)	3,686	H30予算額(再掲の場合)	
H30決算見込額	1,707	R1予算額	3,064

D O (実施)	平成30年度の具体的な取り組み(年度当初計画)
	①茂原市子ども・子育て審議会を開催し、平成29年度の実績報告を行う。 ②平成32年度を始期とする第2期茂原市子ども・子育て支援事業計画の策定にあたり、ニーズ調査を実施する。

D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を簡条書きで具体的に記入 (添付書類 無)
	①7/11 第1回子ども・子育て審議会 出席委員16名(男:7名、女:9名) 11/19 第2回子ども・子育て審議会 出席委員16名(男:6名、女:10名) ②ニーズ調査については、未就学児童と小学生児童の保護者2,000名を対象に男女を問わず実施したところ1,664名から回答があった。

C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果	H30数値目標
	①茂原市子ども・子育て審議会の開催 目標:年5回 成果:年2回 ②ニーズ調査の回収率 目標:80%以上 成果:83%	①年5回 ②80%以上

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割) (評価の根拠) 子ども・子育て審議会は必要に応じて開催するため、開催回数は妥当であると判断する。 ニーズ調査の回収率については目標以上の成果を上げることができた。 (課題・改善策) 平成31年度は審議委員の改選にあたるため、女性の積極的な登用を図る。

C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割) (評価の根拠) 審議会の開催数が目標を下回っている。 (課題・改善策) 目標数値を審議会の開催数とされている点は妥当か精査が必要。ニーズ調査結果の評価と反映をされたい。

A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)
	子ども・子育て審議会の意見を聞きながら、第2期茂原市子ども・子育て支援事業計画を策定する。

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	36	基本目標	IV ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
事業名	子育て支援に関する情報提供	主要課題	IV-1 家庭における男女共同参画
課係名	子育て支援課	施策の方向	IV-1(2)子育て支援の充実
担当者職氏名	室長 佐久間 栄一	内線番号	6239

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)
	ガイドブックについて、今後も妊娠期から子育て期の家庭に対し、わかりやすい誌面を心がけ作成する。

P L A N (計画)	事業の概要	
	男女が協力して子育てができるよう子育てガイドブックの配布、ブックスタートの充実、ホームページの活用による子育て支援に関する情報提供に努める。また、育児や養育に関する不安や、仕事と子育ての両立における問題を解消できるよう、こんにちは赤ちゃん訪問や家庭相談員による家庭訪問等で対応していく。	
	H30予算額(千円)	0
	H30決算見込額	0
	平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)	
もばらで子育てガイドブックを中心に、子育て支援に関する情報提供を実施する。また、相談員による家庭訪問を積極的に行う。		

D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入 (添付書類 無)
	もばらで子育てガイドブック配布数 2,500部(うち、妊娠届時の手渡し配布数500部) 子育て家庭相談室における家庭訪問件数 延べ270件

C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果	H30数値目標
	(31)「もばらで子育てガイドブック」の配布数 目標:10,000部以上(年2,000部以上) 成果:2,500部	(31) 年2,500部
	(32) ブックスタート手渡し率 目標:100% 成果:なし ※ブックスタートについては、H29年度より保健センターで妊娠届時に手渡しすることとなった。	

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等	
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 当初の計画通り発行、配布し、子育てに関する情報を発信した。 (課題・改善策)
C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等	
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) もばら子育てガイドブックの配布など、情報提供に努められた。 (課題・改善策) 今後更なる内容充実を図り、普及に努められたい。「ブックスタート」については、所管移管されたなら、事業概要から抜くべきである。

A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)
	もばらで子育てガイドブックを中心に、子育て支援に関する情報提供を実施する。また、相談員による家庭訪問を積極的に行う。

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	37	基本目標	IV ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
事業名	子育てに関する相談業務の充実	主要課題	IV-1 家庭における男女共同参画
課係名	子育て支援課	施策の方向	IV-1(2)子育て支援の充実
担当者職氏名	室長 佐久間 栄一	内線番号	6239

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)
	引き続き関係機関との連携・情報共有を密にし、相談業務の充実を図る。

P L A N (計画)	事業の概要		
	夫婦の子育て不安や孤立感を解消できるよう、広報もばらや茂原市ホームページを活用して相談事業の周知を図るとともに、子育て支援課(子育て家庭相談室)及び保育所、幼稚園、保健センターなどの身近な施設において、育児・子育てに関する相談に対応する。児童虐待などの専門的な内容や困難事例については、要保護児童対策地域協議会を構成する関係機関と連携を図りながら対応する。		
	H30予算額(千円)	73	H30予算額(再掲の場合)
	H30決算見込額	46	R1予算額
			0
		73	
平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)			
児童相談所や警察などの関係機関で構成された要保護児童対策地域協議会を通じ、連携・情報共有を図りながら対応する。 ①代表者会議の開催(年1回)、②実務者会議の開催(年6回)、③個別支援会議の開催(随時)			

D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を簡条書きで具体的に記入 (添付書類 無)
	①代表者会議 (年1回、男性12名、女性5名) ②実務者会議 (年6回、男性45名、女性60名) ③個別支援会議 (年52回、男性156名、女性208名)

C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果		H30数値目標
	①代表者会議(5回以上)	年1回開催	①年1回
	②実務者会議(30回以上)	年6回開催	②年6回
	③個別支援会議(250回以上)	年52回開催	③年50回
担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等			
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 代表者会議、実務者会議の定期開催の他、必要に応じ個別支援会議を52回開催し、関係機関との連携、情報共有、並びに役割分担等を決め児童虐待等の対応を図った。 (課題・改善策)	
推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等			
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 担当課に同じ。 (課題・改善策) 今後も引き続き、積極的な訪問相談を実施しつつ、子育て・育児における悩みを一人で抱え込む事のないよう相談事業の充実を図りたい。	

A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)
	引き続き、関係機関との連携・情報共有を密にし、児童虐待対応並びに相談業務の充実を図る。

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	38	基本目標	IV ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
事業名	多様な働き方を支援するための保育サービスの拡充	主要課題	IV-1 家庭における男女共同参画
課係名	子育て支援課	施策の方向	IV-1(2)子育て支援の充実
担当者職氏名	係長 北田 裕司、近藤 正利	内線番号	6233 6291

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)		
	引き続き、延長保育及び一時預かり保育を実施し、保護者の多様な保育ニーズに対応するとともに、更なるサービスの充実に努める。		

P L A N (計画)	事業の概要		
	子育てと仕事が両立できるように延長保育事業、一時預かり事業、病児・病後児保育 事業の充実に努め、ファミリーサポートセンター の創設を視野に入れ、更なるサービスの充実に努める。		

H30予算額(千円)	病児・病後児(既存分):7,200 ファミサポ:5,505	H30予算額(再掲の場合)	
H30決算見込額	病児・病後児(既存分):7,200 ファミサポ:5,505	R1予算額	病児・病後児:7,200、ファミサポ:5,583

D O (実施)	平成30年度の具体的な取り組み(年度当初計画)		
	②病児・病後児保育について既存施設の運営委託を行う他、長生病院での開設が可能かどうか広域と協議を行う。 ③ファミサポについては周知・事前説明会等を実施し、平成31年1月よりマッチング受付が開始できるよう努める。		

D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を簡条書きで具体的に記入 (添付書類 無)		
	①一時預かり保育利用者数(延べ):朝日の森保育所130人、高師保育園41人、東茂原保育園67人、認定こども園アップル幼稚園5,611人 ②病児・病後児保育については長生病院での開設可能性について協議したが、B棟建替に関連してくるということで、具体的進展は見られなかった。 ③ファミサポについては上半期に制度周知・事前準備を行い、平成31年1月から事業開始となった。具体的なマッチングについては成立しなかったが、依頼・提供・両方の会員総数は52人(見込)となった。		

数値目標と平成30年度の成果			H30数値目標
(33) 延長保育の実施時間を延長する保育所	目標:1カ所	成果:1カ所	1カ所
(34) 一時預かりを実施する保育所	目標:1カ所	成果:4カ所	1カ所
(35) 病児・病後児保育を実施する保育所の追加	目標:1カ所	成果:0カ所	1カ所

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) ファミサポについては一定の前進が見られたが、病児・病後児保育については具体的な成果を示せなかったため。 (課題・改善策) ファミサポについては制度が浸透していない面もあるので、さらなる周知が必要。病児・病後児保育については、新規事業所の開設検討と並行して既存施設の利用促進が求められている。	

C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) ファミサポにおける成果は8割以上の結果が出ている。 (課題・改善策) ファミサポについては今後もより裾野をひろげ、制度周知を図られたい。病児・病後児保育においては実施新規事業所の増設に向け、検討されたい。	

A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)		
	・病児・病後児保育については、引き続き既存施設での事業運営と、新規事業所の増設に向けた関係各所との検討を行う。 ・ファミサポについてはさらなる周知広報を行い、会員数とマッチング件数の増加を目指す。		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	39(子)	基本目標	IV ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
事業名	放課後等の子どもの居場所づくり	主要課題	IV-1 家庭における男女共同参画
課係名	子育て支援課	施策の方向	IV-1(2)子育て支援の充実
担当者職氏名	係長 北田 裕司	内線番号	6233

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)		
	・本納学童クラブについて、本納小学校余裕教室への移転を進める。 ・待機児童が増えつつあるクラブについて、学校施設の利活用による受入枠拡大のための具体的計画を策定する。		

P L A N (計画)	事業の概要		
	学童クラブでは、小学校に就学している児童であって、その保護者が就労等により昼間家庭にいないものに、授業の終了後等に児童館等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る。また、夏休み子ども教室では、夏休み期間中、すべての子供を対象に、学校の余裕教室等を活用した安全・安心な居場所づくりと学習や地域住民との交流活動等の機会の提供を行う。これらの事業は、相互の連携に努めるとともに、放課後子どもプラン運営委員会で随時検証を行い、更なる充実を図る。		

H30予算額(千円)	63,120	H30予算額(再掲の場合)	
H30決算見込額	63,223	R1予算額	102,298

D O (実施)	平成30年度の具体的な取り組み(年度当初計画)		
	①公設学童クラブの通年及び長期休業時の入所受付・運営管理 ②民設学童クラブの運営支援(クラブ及び利用者に対する補助) ③利用ニーズの調査と待機児童解消のための公共施設等利活用の促進		

D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)		
	①通年及び長期休業中の利用について入所受付等の事務を行った。 ②民設学童クラブについては低所得世帯等に対する利用料補助(延べ150件、3,274千円)を実施したほか、補助要綱の運用を見直し、施設の補修に対する補助を行った(1件、86,000円) ③6月に萩原・東部・東郷・豊田の各小学校児童(保護者)対象に利用意向についてのアンケート実施。また、本納学童クラブについては本納小余裕教室への移設作業を実施、さらに東部小学校敷地内にH32年度開設を目指し専用建物新設について予算要求した。		

数値目標と平成30年度の成果			H30数値目標
(36) 学童保育の開設場所	目標: 19カ所	成果: 19カ所	年19カ所 年615人
(37) 学童保育の児童数	目標: 延べ3,075人(年615人)	成果: 612人	

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 本事業の実施により、保護者の就労環境の整備と児童の育成環境の向上が実現されたものとする。(特に本納学童クラブの本納小余裕教室への移設に関して) (課題・改善策) 長期休業時の保育については希望していながらも利用できない児童(待機児童)が多数見られるので、受け入れ枠の拡充について受託事業者や公共施設管理者と協議する必要がある。また、本納小や東部小以外の学区の学童クラブについても公共施設や余裕教室を活用した受け入れ枠拡充を検討する必要がある。	

C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 本納学童クラブに関して小学校の余裕教室への移設を図るなど、児童の育成環境の向上に努められた。 (課題・改善策) 待機児童が多くみられる点について、受入れ側との協議を重ね、公共施設の活用も含め受け入れ枠の拡大を検討されたい。	

A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)		
	・東部小学校区学童クラブの専用建物新設及び運営事業者の選定 ・「本納小の本納中への移設」及び「二宮小と緑ヶ丘小の統合」に対応した学童施設整備に向けた準備		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	39(生)	基本目標	IV ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
事業名	放課後等の子どもの居場所づくり	主要課題	IV-1 家庭における男女共同参画
課係名	生涯学習課	施策の方向	IV-1(2)子育て支援の充実
担当者職氏名	副主査 西周 雅二	内線番号	7933

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)		
	「放課後子ども教室推進事業」において実施する夏休み子ども教室に学童クラブの児童を受け入れ、学習・体験プログラムを提供することにより、児童の健全育成を支援する。29年度に実施した豊田小、緑ヶ丘小、鶴枝小、中の島小、茂原小に新たに本納小を加えた6校で実施する。		
P L A N (計画)	事業の概要		
	学童クラブでは、小学校に就学している児童であって、その保護者が就労等により昼間家庭にいないものに、授業の終了後等に児童館等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る。また、夏休み子ども教室では、夏休み期間中、すべての子供を対象に、学校の余裕教室等を活用した安全・安心な居場所づくりと学習や地域住民との交流活動等の機会の提供を行う。これらの事業は、相互の連携に努めるとともに、放課後子どもプラン運営委員会で随時検証を行い、更なる充実を図る。		
	H30予算額(千円)	448	H30予算額(再掲の場合)
	H30決算見込額	284	R1予算額
平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)			
①夏休み子ども教室を豊田小、緑ヶ丘小、鶴枝小、中の島小、茂原小、本納小の6校で実施する。			
D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を簡条書きで具体的に記入 (添付書類 無)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・豊田小学校 7/24～7/26(平日3日間) 9:30～11:30(延べ105人参加) 定員50名 申込者数36人 ・緑ヶ丘小学校 7/31～8/2(平日3日間) 9:30～11:30(延べ62人参加) 定員50名 申込者数26人 ・中の島小学校 8/6～8/7(平日2日間) 9:30～11:30(延べ66人参加) 定員50名 申込者数36人 ・鶴枝小学校 8/10(平日1日間) 9:30～11:30(延べ32人参加) 定員40名 申込者数41人 ・本納小学校 8/20～8/22(平日3日間) 9:30～11:30(延べ52人参加) 定員40名 申込者数20人 ・茂原小学校 8/27～8/29(平日3日間) 9:30～11:30(延べ86人参加) 定員40名 申込者数34人 		
C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果		H30数値目標
	(38) 夏休み子ども教室開設場所 目標:7カ所 成果:6カ所		6カ所
	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 今年度より6つの小学校で教室を開催し、達成率は8割を超えた。開催校が増加したことで夏休み中の児童の安心・安全な居場所づくりに資することができた。また、学童クラブに在籍する児童(計26人)にもプログラムの提供をすることができた。(課題・改善策) 事業の継続、拡大が必要。	
推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等			
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 子ども教室の開設場所としての達成率は8割を超えている。(課題・改善策) 各教室において定員割れが生じているのであれば、まずは原因調査が必要。その上で開催通知の周知拡大をなど、利用率の向上を図る必要性がある。		
A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)		
	夏休み子ども教室今年度に引き続き豊田小、緑ヶ丘小、中の島小、鶴枝小、本納小、茂原小の6校で実施する。		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	40(子)	基本目標	IV ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
事業名	公立幼稚園・保育所における子育て支援と地域開放の充実	主要課題	IV-1 家庭における男女共同参画
課係名	子育て支援課	施策の方向	IV-1(2)子育て支援の充実
担当者職氏名	係長 近藤 正利	内線番号	6291

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)
	引き続き、各保育所において、保育に関する相談及び園庭の開放を実施するとともに、公開保育の充実を図る。

P L A N (計画)	事業の概要			
	少子化への対応を進めるため、幼稚園及び保育所機能を生かした子育て支援事業を実施するとともに、家庭のあり方が変化する中での子育てと仕事の両立を支援するため、保護者の立場に立った子育て支援を行う。各幼稚園で「子育てふれあい広場」を年間を通じて実施するなど、親同士の交流の場の提供、園庭開放、相談事業を実施するとともに預かり保育を実施する。各保育所において、園庭開放及び相談事業を実施する。			
	H30予算額(千円)	0	H30予算額(再掲の場合)	
	H30決算見込額	0	R1予算額	0

P L A N (計画)	平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)
	①各保育所において、保育に関する相談及び園庭の開放を実施する。 保育に関する相談:随時実施 園庭開放:予約制、4月を除く平日10時~15時

D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入 (添付書類 無)
	①各保育所において、保育に関する相談及び園庭の開放を実施した。また、公開保育を実施する園を昨年の4園から9園(公立全園)に増やした。 公開保育実施日10月30日~31日、参加人数82名(児童数)

C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果	H30数値目標
	5月~11月の園庭開放参加親子数:111組(公立保育所9園の合計、12月以降分は未集計)	参加親子 100組

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等	
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 園庭開放について、ポスター、Facebook等で広報を図り、目標以上の参加者があった。公開保育の実施園を増やした。 (課題・改善策) 保育に関する相談について、日常業務において、短いアドバイスから子育て家庭相談室と連携して対処するものまで様々な相談を受けており、数値目標を設定することは難しい。

C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等	
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 数値目標を達成している。 (課題・改善策) 育児・子育てに関する相談についての周知徹底を図りたい。

A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)
	各保育所において、育児・子育てに関する相談、園庭の開放及び公開保育を実施する。

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	40(学)	基本目標	IV ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
事業名	公立幼稚園・保育所における子育て支援と地域開放の充実	主要課題	IV-1 家庭における男女共同参画
課係名	学校教育課	施策の方向	IV-1(2)子育て支援の充実
担当者職氏名	主幹 金坂 暁	内線番号	7928

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)
	公立幼稚園3園において、「子育てふれあい広場」、「預かり保育」などの子育て支援事業を、引き続き実施する。(中の島幼稚園が閉園のため、3園となる)

P L A N (計画)	事業の概要	
	少子化への対応を進めるため、幼稚園及び保育所機能を生かした子育て支援事業を実施するとともに、家庭のあり方が変化する中での子育てと仕事の両立を支援するため、保護者の立場に立った子育て支援を行う。各幼稚園で「子育てふれあい広場」を年間を通じて実施するなど、親同士の交流の場の提供、園庭開放、相談事業を実施するとともに預かり保育を実施する。各保育所において、園庭開放及び相談事業を実施する。	
	H30予算額(千円)	240
	H30決算見込額	240
平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)		
①子育て支援事業「ふれあい広場」を各園で年間を通して定期的実施。 ②講演会の開催、園の開放、相談事業の実施。 ③預かり保育の実施。		

D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入 (添付書類 無)
	①「子育てふれあい広場」の開催 各園6回/年 (371名:3園合計) ②講演会(3回:4園合計)、園庭開放(各園/週2~4回)、相談事業の実施 ③預かり保育の実施

C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果		H30数値目標
	(39) 公立幼稚園における預かり保育の人数 目標:1日6人~17人 成果:1日19人		1日20人
	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 保護者や地域の様々なニーズに応えるため、各幼稚園において「子育てふれあい広場」、「預かり保育」などの子育て支援事業を実施することにより、開かれた幼稚園づくりの推進を図ることができた。 (課題・改善策)	
推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等			
B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) おおむね数値目標を達成している。 (課題・改善策) 引き続き各子育て支援事業を実施されたい。		

A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)
	公立幼稚園3園において、「子育てふれあい広場」、「預かり保育」などの子育て支援事業を、引き続き実施する。(中の島幼稚園が閉園のため、3園となる)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	41	基本目標	IV ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
事業名	高齢者の総合相談窓口の充実	主要課題	IV-1 家庭における男女共同参画
課係名	高齢者支援課	施策の方向	IV-1(3)介護支援の充実
担当者職氏名	副主査 中村 博之	内線番号	6243

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)		
	高齢化率の上昇や認知症高齢者の増加が見込まれる中、地域包括支援センターが中核的な役割を果たし、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、継続的な支援を実施する。		
P L A N (計画)	事業の概要		
	高齢者にとって身近な相談窓口となる地域包括支援センターを日常生活圏域ごとに設置し、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員が中心となり、地域で暮らす高齢者を介護、福祉、健康、医療など、さまざまな面から総合的に支える。各地域住民へ、地域包括支援センターを広く周知し、相談窓口の充実に努める。		
	H30予算額(千円)	71,799	H30予算額(再掲の場合)
	H30決算見込額	71,799	R1予算額
D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を簡条書きで具体的に記入 (添付書類 無)		
	直営地域包括支援センターで担当していた茂原地区について、社会福祉法人等へ業務を委託し、地域包括支援センターの機能強化をはかることができた。また、地域包括支援センターが、高齢者本人や家族から高齢者虐待等の権利擁護や生活・健康相談等に応じ、介護支援をはかることができた。 総合相談件数(H30.4~H30.1までの延件数 直営:854件、みなみ1,377件、ほんのう554件、ちゅうおう1,926件、もばら60件 合計4,771件)(参考:H29.4~H30.1までの延件数 直営:1,212件、みなみ:1,287件、ほんのう:503件、ちゅうおう1,649件 合計4,651件)		
C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果		H30数値目標
	地域包括支援センター設置数 4箇所(1直営3委託) ➡ 5箇所(1直営4委託)		5箇所
	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 茂原地区の地域包括支援センターを公募し、平成31年1月から地域包括支援センターを社会福祉法人兼愛会に委託し、市内1直営4委託体制を構築することができた。 (課題・改善策) 相談機関を知らない住民のために周知活動を行う必要がある。	
A C T (改善)	推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 数値目標を達成している。 (課題・改善策) 相談窓口の充実に努め、さらなる周知活動に努められたい。	
A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)		
	地域包括支援センターの周知活動を継続して行い、地域包括支援センターで本人や家族からの相談に応じることで、介護支援の充実をはかり、ワークライフバランスの推進をはかる。		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	42	基本目標	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
事業名	認知症高齢者と家族等への支援の充実	主要課題	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画
課係名	高齢者支援課	施策の方向	Ⅳ-1(3)介護支援の充実
担当者職氏名	主事 岩坂 理奈	内線番号	6242

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)
	①認知症サポーター養成講座の周知活動を行う。 ②ほっとみまもり隊の加入率を受講者の20%にする。

P L A N (計画)	事業の概要	
	認知症の方とその家族が住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援する「認知症サポーター」の養成を図ると同時に、サポーターとしての支援活動に賛同した方を「ほっとみまもり隊」に登録し、「ほっとみまもり運動」を実施していく。また、サポーター養成講座の講師になれる認知症キャラバン・メイトを増やし、地域での活動を広げる。	
	H30予算額(千円)	475 H30予算額(再掲の場合)
	H30決算見込額	188 R1予算額 245

P L A N (計画)	平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)
	認知症サポーター養成講座は17回開催し400人の受講者を目標とする。またほっとみまもり隊の登録者も引き続き募集し、ほっとみまもり隊にはフォローアップ講座を開催し、地域での活動につなげていく。認知症サポーター養成講座については延べ2,000人を目標としている。

D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入 (添付書類 無)
	認知症サポーター養成講座 9回242人(男性134人 女性108人)目標は達成できなかった。以前は圧倒的に女性の受講者が多かったが今年は若干男性の受講者が増えた。また、ほっとみまもり隊加入率は9.9%であった。

C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果	H30数値目標
	(40) 認知症サポーター養成講座受講者数 目標:延べ2,000人以上(年400人以上) 成果:1,036人(平成30年度245人)	年400人

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等	
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 年間での開催回数や養成人数が目標値に至らなかった。 (課題・改善策) 受講者の年齢層が高くその年齢層はある程度受講してしまったので、今後は今まであまり受講してこなかった年齢層に向けてのアプローチが必要と考えている。今後周知活動を徹底するために、駅にてチラシ配りなどを行う。

C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等	
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 数値目標は達成していないが、男性受講者の増加と5年間の成果については評価できる。 (課題・改善策) 受講していない人たちへ、周知を図りたい。

A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)
	認知症サポーター養成講座の周知を徹底し、今まであまり関心のなかった年齢層に広げていく。

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	43	基本目標	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
事業名	市民へのワーク・ライフ・バランスの推進	主要課題	Ⅳ-2 労働の場における男女共同参画
課係名	企画政策課	施策の方向	Ⅳ-2(1)ワーク・ライフ・バランス意識の浸透
担当者職氏名	主事 磯部 千尋	内線番号	7415

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)		
	市ホームページやリーフレットの配布を通じてワーク・ライフ・バランスについて効果的に情報提供する方法を検討するとともに、ワーク・ライフ・バランスをテーマとした講演会等を開催し、実践に結びつくようにする。		
P L A N (計画)	事業の概要		
	関係機関と連携しワーク・ライフ・バランスについて、講演会や講座のテーマに取り入れ市民への意識啓発を図るとともに、広報・ホームページなどを活用し、市民一人ひとりが人生の各段階に応じて多様な働き方の選択ができるよう情報提供を行う。		
	H30予算額(千円)	H30予算額(再掲の場合)	70
	H30決算見込額	0 R1予算額	0
D O (実施)	平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)		
	①市ホームページへの情報掲載やリーフレットの配布を通じて、市民向けにワーク・ライフ・バランスについて意識啓発に努める。 ②ワーク・ライフ・バランスをテーマとした市民向けの講演会等を開催する。 ※市職員向けのワーク・ライフ・バランスについては職員課が担当(事業番号45のシート参照)		
C H E C K (評価)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を簡条書きで具体的に記入 (添付書類 無)		
	①市ホームページへの情報を更新した。関係機関からのワーク・ライフ・バランスについての啓発リーフレットや、講演会・講座等のチラシについて、窓口に設置するとともに、会議・行事等で配布した。 ②ワーク・ライフ・バランスをテーマとした市民向けの講演会・講座等については開催しなかった。		
A C T (改善)	数値目標と平成30年度の成果		H30数値目標
	①市ホームページへの情報掲載やリーフレットの配布 目標:年1回以上 成果:年5回以上(随時) ②ワーク・ライフ・バランスをテーマとした市民向けの講演会等の開催 目標:年1回以上 成果:年0回		①年1回以上 ②年1回以上
	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等		
	C:事業の対象の見直しが必要(達成度3割以下)	(評価の根拠) 市ホームページへの情報掲載やリーフレットの配布については、随時行った。(課題・改善策) ワーク・ライフ・バランスをテーマとした市民向けの講演会・講座等の開催については、事業番号6(ハートフルフェスタ実行委員会との協働による男女共同参画に関する意識啓発、ワーク・ライフ・バランスの推進などをテーマとした講演会や講座等の開催(年1~2回、予算70,000円))のなかで取り組むことになっているが、男女共同参画は幅広いテーマを内包するため、毎年ワーク・ライフ・バランスをテーマに取り上げることは難しい。	
C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等		
	C:事業の対象の見直しが必要(達成度3割以下)	(評価の根拠) 情報提供については達成しているが、講演会等について開催していない。 (課題・改善策) 引き続き周知を図りたい。	
A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)		
	市ホームページへの情報掲載やリーフレットの配布について、随時積極的に行う。		

重点評価事業

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による3次評価(H30事業)

項目評価及び総合評価

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	2	1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	<p>・個人の意思だけでは働き方を変えることはできないので、個人のレベルで市民を啓発し、ワークライフバランスを促進するのは無理がある。最初から個人を対象にしているこの計画は無理があるが、その制約の中では一生懸命やれていると思う。</p>
改善策等の提言	
<ul style="list-style-type: none"> ・市民向け講演会について、ワークライフバランスをテーマとした講演会単独の予算を計上していないので難しいと思うが、商工観光課や商工会議所と合同で講演会を開催をできるよう検討されたい。 ・男性のライフワークバランスが促進され、家事・育児に参加しないと、女性に負担が偏り、児童虐待等の問題にも繋がると思うので、もう少し核心的な取り組みが必要。部分的に意識改革を実施しても、社会全体が変わらないと難しい。 ・個人の働き方は、職場のやり方に合わせるしかないので、「こうゆう働き方がある」と言われても、大部分の人にはできない話だと思うが、子どものときから「こうゆう生き方・働き方がある」と聞いていると参考になるかも。 ・ワークライフバランスは職場の中から変えていくことが必要なので、講演会のテーマにするのではなく、他に関連した、人が寄ってきそうなテーマの中に組み入れた方が現実的かも。②の目標を、ワークライフバランスについて関連講演会に取り入れてもらった件数にするとよいのでは。 ・市役所としては、市民向け講演会よりも、調査・促進施策が役割なのでは。 ・企業が求人をするときに、子育て・介護に配慮することを条件に記載することを義務付ける等して、給与の条件はよくなくても、その条件なら働きたいと思う人を採用できるようにするのはどうか。雇われる側も、給与だけでなく、全体の条件を見ることが大事だと、市民に知らせることが大事。 ・市が公共事業の入札時に企業の条件として労働環境を入れると、経営者や職場での意識も変わっていくと思う。 	

【総合評価基準】

- A : 十分な成果をあげた(達成度8割以上)
- B : ある程度の成果をあげた(達成度4割～7割)
- C : 事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	44	基本目標	IV ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
事業名	事業所へのワーク・ライフ・バランスの推進	主要課題	IV-2 労働の場における男女共同参画
課係名	商工観光課	施策の方向	IV-2(1)ワーク・ライフ・バランス意識の浸透
担当者職氏名	課長補佐 深山 光男	内線番号	7633

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)
	国・県等の施策に関する情報を、公式HP上でさらに見やすいものとし効果的に発信する。また、中小企業向けの講演会、優良企業の認定や表彰制度など市独自の施策を検討する。

P L A N (計画)	事業の概要
	関係機関と連携しワーク・ライフ・バランスについての意識啓発に努めるとともに、広報・ホームページなどを活用し「県男女共同参画推進事業所表彰制度」の周知を行い、企業等の積極的な取り組みを促進する。また、各事業所において長時間労働の是正や育児・介護休業取得率向上等の両立支援の取り組みが促進するよう啓発を実施する。

H30予算額(千円)	0	H30予算額(再掲の場合)	
H30決算見込額	0	R1予算額	0

P L A N (計画)	平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)
	①市ホームページ等を積極的に活用するとともに、関係機関のパンフレットの配布によりワーク・ライフ・バランスに関する情報提供及び周知に努める。 ②他市町村や企業における先進的な取り組みなどを調査し、本市における促進施策を検討する。

D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を簡条書きで具体的に記入 (添付書類 無)
	①市ホームページの構成を施策体系に沿って整理し効果的な情報発信に努めるとともに、国のポータルサイトの利活用を促進した。 ②本市における促進施策の検討にはいたらなかった。

C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果	H30数値目標

担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等

B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 国・県の施策の周知にとどまり、積極的な事業実施が展開できていないものの、今年度においては、HP上での表示を工夫した。 (課題・問題点) 市の取組みは、国・県等の情報提供と周知が主となってしまい、事業所への直接的な働きかけが困難である。
-------------------------	--

推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等

B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 国・県等の施策に関する情報提供の改善については評価できる。 (課題・改善策) 引き続き市独自の施策について検討されたい。
-------------------------	---

A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)
	「働き方改革」が重点施策となっていることから情報発信をさらに強化する。また、千葉県が取り組む「千葉働き方改革推進支援センター」や「社員いきいき！元気な会社宣言企業」(市内9社が登録)などの情報発信を強化する。

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	45	基本目標	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
事業名	市職員へのワーク・ライフ・バランスの推進	主要課題	Ⅳ-2 労働の場における男女共同参画
課係名	職員課	施策の方向	Ⅳ-2(1)ワーク・ライフ・バランス意識の浸透
担当者職氏名	副主査 長谷 裕子	内線番号	7432

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)		
	各所属において、3ヶ月ごとの年次有給休暇等の取得予定表を作成し、各所属職員間での業務予定調整・休暇調整を実施する。		

P L A N (計画)	事業の概要		
	市職員自らワーク・ライフ・バランスを実践できるよう、意識啓発を行うとともに、各種休暇・休業制度及び育児・介護休業制度が男女ともに偏りなく活用できるよう情報提供を行う。		
	H30予算額(千円)	0	H30予算額(再掲の場合)
	H30決算見込額	0	R1予算額
平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)			
①「茂原市における女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画」に基づき、超過勤務の縮減を推進することで、職員一人ひとりが意欲的に仕事に取り組みながら、健康で豊かな生活のための時間を確保し健康管理と公務能率の維持向上を図る。			

D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を簡条書きで具体的に記入 (添付書類 無)		
	①ワーク・ライフ・バランスの確保について、従来より行っている「ノー残業デー」実施や、「時間外勤務は必ず所属長が直接命令すること」を徹底した。 ②特定事業主行動計画に基づき、女性活躍推進法に基づく女性の職業選択に資する情報及び実施状況をホームページで公表した		

C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果		H30数値目標
	特定事業主行動計画の実施状況の公表 5回以上(年1回以上) 成果: 年1回		年1回
	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 特定事業主行動計画に基づき、女性活躍推進法に基づく女性の職業選択に資する情報及び実施状況をホームページで公表した。 (課題・改善策) 超過勤務の縮減を推進しているが、時間外勤務は増加している。	
推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等			
B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 担当課に同じ。 (課題・改善策) 引き続き「ノー残業デー」の実施や時間外勤務の縮減を図られたい。		

A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)		
	平成30年7月公布の「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」により事業主は従業員に対して、時間外労働の上限規制を行うことになったことにより、職員の超過勤務及び在庁の状況並びに健康状態の把握に努める。		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	46	基本目標	IV ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
事業名	農業における女性グループ活動の支援と女性起業の育成	主要課題	IV-2 労働の場における男女共同参画
課係名	農政課	施策の方向	IV-2(4)農業・自営業等における男女共同参画の促進
担当者職氏名	主事 齋藤 勲	内線番号	7611

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)		
	県と麦の会と連携をとることにより女性農業者や女性起業者の育成を推進していく。		

P L A N (計画)	事業の概要		
	女性農業者グループ「麦の会」が郷土料理や地元農産物をPRすることにより、地産地消や食育への取り組みを促進する。女性農業者に県主催の起業講座や研修会を通して知識や技術を向上してもらい女性起業者を育成するとともに、6次産業の補助金制度等の情報提供により女性の起業を推進する。		
	H30予算額(千円)	162	H30予算額(再掲の場合)
	H30決算見込額	138	R1予算額
平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)			
①「もばらふるさと塾」において、市内で活躍している農業者や「麦の会」と交流したり、直売所に行ってもらうことで農業や起業に対する意識を高めてもらう。 ②市内の女性農業者に各種講座や研修会に参加してもらうことで知識や技術を向上してもらう。 ③起業を目指す女性に対し6次産業の補助制度等の情報提供を行う。			

D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を簡条書きで具体的に記入 (添付書類 無)		
	①県主催の研修会に参加して知識や技術を向上してもらうことで、女性農業者や女性起業家の育成を支援した。 平成31年2月13日 農山漁村女性リーダー研修 ②第31回もばらふるさと塾 開催日平成30年10月29日23人参加(男性1名 女性22名) 第32回もばらふるさと塾 開催日平成31年3月1日 23人参加(男性3名 女性20名)		

C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果		H30数値目標
	(41) 女性の農業起業家数 目標:5人以上 成果:1人		年1人
	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 「もばらふるさと塾」を開催することで、地元の農産物や直売所をPRすることと共に協力いただいている「麦の会」や市内農業者との交流により農業に対する関心が深まった。また、研修会を通して県とともに女性農業者や女性起業家の育成を支援した。 (課題・改善策) 農業における起業や6次産業化に関心のある女性の掘り越しが難しい。	
推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等			
B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 数値目標を達成している。 (課題・改善策) 引き続き研修等を行い、女性農業者や女性起業者の育成を推進されたい。		

A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)		
	県や麦の会と連携をとり、女性農業者や女性起業者の育成を推進していく。		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	47	基本目標	IV ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
事業名	農業における家族経営協定締結の促進	主要課題	IV-2 労働の場における男女共同参画
課係名	農政課	施策の方向	IV-2(4)農業・自営業等における男女共同参画の促進
担当者職氏名	主事 齋藤 勲	内線番号	7611

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)		
	認定農業者の認定更新時に、家族経営協定の内容説明をすると共に、各種講演などの意見交換を行い、家族経営協定の締結を推進する。		
P L A N (計画)	事業の概要		
	農業経営について、特に夫婦の場合女性の役割や労働時間、労働報酬などの就業条件が曖昧になりやすいことから、経営方針や役割分担、働きやすい就業環境などについて家族間合意の上「家族経営協定」の締結を促進し、それぞれが主体的に経営に参画できる環境の整備及び農業経営の改善につなげていく。		
	H30予算額(千円)	0	H30予算額(再掲の場合)
	H30決算見込額	0	R1予算額
平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)			
①県と協力し認定農業者の更新時や新規就農者の認定時を中心に説明することで家族経営協定の締結を推進する。			
D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入 (添付書類 無)		
	①1件の相談があり、家族協定の概要説明を行った。		
C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果		H30数値目標
	(42) 家族経営協定の新規締結数 成果:0件		年1件
	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等		
	C:事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)	(評価の根拠) 目標値に達していない。 (課題・改善策) 相談者に対し丁寧な説明により協定への理解を深める。	
推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等			
C:事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)	(評価の根拠) 数値目標を達成していない。 (課題・改善策) 「家族経営協定」の内容についての周知に努め、協定への理解を深められたい。		
A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)		
	相談者とともに他の家族経営への説明を行う。		

重点評価事業

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による3次評価(H30事業)

項目評価及び総合評価

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	2	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	2	1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
C	<ul style="list-style-type: none"> ・改善の中に含まれていた「各種講演などの意見交換」が取り組まれていない。H29年度の方が多く取り組まれていたように感じる。また、「改善」が具体的でない。 ・目標値に達しておらず、講演・研修等も全く実施されなかった。締結がなくとも、H29のように研修会等で周知努力が必要。
改善策等の提言	
<ul style="list-style-type: none"> ・相談が1件あったにも関わらず協定へ繋げられなかった原因について検討が必要。 ・認定更新時に、家族経営協定の内容を男女共同参画の視点でわかりやすく説明し、協定まで持っていかれるよう努められたい。 ・「家族経営協定」の利点を説明しているとは思いますが、面倒が優先してしまうと思われる。より詳しく面倒にならない方法を具体的に説明し、サポート方法も伝えたいと思う。 ・農家の仕事は「名前のない農作業」がたくさんあり、女性への負担が大きすぎることがある。こういった事情を知らない、農家や自営業の出身でない担当者がアドバイスできるのか。きちんと研修等を受けて取り組まれたい。 ・JAと連携して取り組まれたい。 	

【総合評価基準】

- A : 十分な成果をあげた(達成度8割以上)
- B : ある程度の成果をあげた(達成度4割～7割)
- C : 事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	47	基本目標	IV ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
事業名	農業における家族経営協定締結の促進	主要課題	IV-2 労働の場における男女共同参画
課係名	農政課	施策の方向	IV-2(4)農業・自営業等における男女共同参画の促進
担当者職氏名	主事 齋藤 勲	内線番号	7611

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)		
	認定農業者の認定更新時に、家族経営協定の内容説明をすると共に、各種講演などの意見交換を行い、家族経営協定の締結を推進する。		
P L A N (計画)	事業の概要		
	農業経営について、特に夫婦の場合女性の役割や労働時間、労働報酬などの就業条件が曖昧になりやすいことから、経営方針や役割分担、働きやすい就業環境などについて家族間合意の上「家族経営協定」の締結を促進し、それぞれが主体的に経営に参画できる環境の整備及び農業経営の改善につなげていく。		
	H30予算額(千円)	0	H30予算額(再掲の場合)
	H30決算見込額	0	R1予算額
平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)			
①県と協力し認定農業者の更新時や新規就農者の認定時を中心に説明することで家族経営協定の締結を推進する。			
D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入 (添付書類 無)		
	①1件の相談があり、家族協定の概要説明を行った。		
C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果		H30数値目標
	(42) 家族経営協定の新規締結数 成果:0件		年1件
	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等		
	C:事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)	(評価の根拠) 目標値に達していない。 (課題・改善策) 相談者に対し丁寧な説明により協定への理解を深める。	
推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等			
C:事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)	(評価の根拠) 数値目標を達成していない。 (課題・改善策) 「家族経営協定」の内容についての周知に努め、協定への理解を深められたい。		
A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)		
	相談者とともに他の家族経営への説明を行う。		

重点評価事業

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による3次評価(H30事業)

項目評価及び総合評価

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2	4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	2	2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	2	1…不十分である	【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
C	<ul style="list-style-type: none"> ・改善の中に含まれていた「各種講演などの意見交換」が取り組まれていない。H29年度の方が多く取り組まれていたように感じる。また、「改善」が具体的でない。 ・目標値に達しておらず、講演・研修等も全く実施されなかった。締結がなくとも、H29のように研修会等で周知努力が必要。
改善策等の提言	
<ul style="list-style-type: none"> ・相談が1件あったにも関わらず協定へ繋げられなかった原因について検討が必要。 ・認定更新時に、家族経営協定の内容を男女共同参画の視点でわかりやすく説明し、協定まで持っていかれるよう努められたい。 ・「家族経営協定」の利点を説明しているとは思いますが、面倒が優先してしまうと思われる。より詳しく面倒にならない方法を具体的に説明し、サポート方法も伝えたいと思う。 ・農家の仕事は「名前のない農作業」がたくさんあり、女性への負担が大きすぎることがある。こういった事情を知らない、農家や自営業の出身でない担当者がアドバイスできるのか。きちんと研修等を受けて取り組まれたい。 ・JAと連携して取り組まれたい。 	

【総合評価基準】

- A : 十分な成果をあげた(達成度8割以上)
- B : ある程度の成果をあげた(達成度4割～7割)
- C : 事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	48	基本目標	V 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	高齢者の自主活動への支援	主要課題	V-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	高齢者支援課	施策の方向	V-1(1)高齢者・障害者施策の充実
担当者職氏名	副主査 内山 栄美	内線番号	6226

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)
	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が増加するなか、会員数も増加するよう、積極的な勧誘に努め、活発な活動を展開する。 ・引き続き、市バスの予約を行い、送迎手段の確保に努める。 ・各種行事をHPで紹介したり、積極的な取り組みを行う単位クラブを広報誌で紹介する等、新たな仲間づくりと各地域での活動の活発化を図る。

P L A N (計画)	事業の概要		
	各種スポーツや文化活動、友愛活動、社会奉仕などを通し、仲間づくりの中で、男女がともに楽しく健康に過ごし、社会に貢献することを目的とする長寿クラブ等の自主活動に対し支援を行い、活動の活性化を図る。また、地域で自主的に行われている健康づくり活動等と連携し、運動教室や介護予防教室等を開催することで、支援の一層の充実を図る。		
	H30予算額(千円)	2,491	H30予算額(再掲の場合)
	H30決算見込額	2,176	R1予算額

D O (実施)	平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)
	平成30年4月1日現在の会員数は1,975名であり、80歳未満の男女比は男性507名、女性499名とほぼ同率であるが、80歳以上となると男性394名、女性499名となり女性比率が高くなり、女性の活躍が期待される。そこで、女性委員を各地区から2名ずつ選出し、24名の女性委員が活発に活動を行っている。また、平成29年度から75歳以下の会員で構成される若手委員会を立上げ、若い発想で会を牽引している。それぞれの会を通し、引き続き会員の加入促進運動を進めるとともに、連合会としての活動や会員・クラブ間の交流を充実させ、男女問わず様々な意見を取り入れながら、魅力あるクラブづくりへの支援に努める。

D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を簡条書きで具体的に記入(添付書類 無)
	<p>総会(年1回)、運営幹部会及び運営委員会会議(毎月1回)、輪投げ大会(年2回)、文化芸能などの各種大会(年3回)、女性委員会及び若手委員会会議(月1回)、ペタンク・グラウンドゴルフのスポーツ活動(ほぼ毎月)、市内12施設への友愛訪問(4月～6月)、長生地区総会(年1回)、長生地区会長会議(年2回)、長生地区運営委員会会議(年3回)、長生地区スポーツ実行委員会会議(年1回)、長生地区での各種大会など(年11回)、長生地区若手委員会会議(月1回)、県大会への参加(年5回)</p> <p>HPに活動紹介や会員募集の掲載、会員募集のリーフレットの作成</p>

C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果	H30数値目標
	(43) 茂原市長寿クラブ連合会の会員数 目標:3,000人以上 成果:2,008人 (4/1現在1,975人+中途加入33名 11/30現在)	年79人増

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等	
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割～7割)	(評価の根拠) 各種活動が継続的に実施されている。会員の健康増進につながっている。若手委員会の活動が軌道に乗り、後継者の育成と新たな会員加入促進として、HPを活用した取り組みを行っている。 (課題・問題点) 今後も会員の高齢化が進むなか、新規若手会員の入会促進の強化及び役員の後継者の育成が課題である。各種行事を開催するにあたり、車や自転車で移動ができない高齢者に対して交通手段が不足している。バスの送迎等、移動手段の確保が課題である。

C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等	
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割～7割)	(評価の根拠) 活動が継続的に実施されている点について評価できる。 (課題・改善策) 後継者の育成及び各種行事のサポートに努められたい。

A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)
	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が増加するなか、会員数も増加するよう積極的な勧誘に努め、活発な活動を展開する。 ・引き続き、市バスの予約を行い、送迎手段の確保に努める。 ・各種行事をHPで紹介したり、積極的な取り組みを行う単位クラブを広報誌で紹介する等、新たな仲間づくりと各地域での活動の活発化を図る。

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	49	基本目標	V 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	障害者(児)の地域生活支援の充実	主要課題	V-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	障害福祉課	施策の方向	V-1(1)高齢者・障害者施策の充実
担当者職氏名	係長 片岡 雄一	内線番号	6217

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)
	H29年度と同様に取組む。

P L A N (計画)	事業の概要	
	障害のある人もない人も共に暮らせる地域づくりという考えのもとに、障害者と介護者のための障害福祉サービスや地域生活支援事業を充実し、「介護は女性の役割」という社会通念を是正し、社会で支える介護の推進を図る。	
	H30予算額(千円)	261,411
	H30決算見込額	248,831
	H30予算額(再掲の場合)	R1予算額
平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)		
① 居宅介護、短期入所、同行援護、児童発達支援、放課後等デイサービス、日中一時支援、移動支援等の障害者総合支援法及び児童福祉法によるサービスの提供。		

D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を簡条書きで具体的に記入 (添付書類 無)
	H30年4月からH31年3月までの各サービスの総延利用者数 2,719人 <内訳> 居宅介護:787人 短期入所:343人 同行援護:88人 放課後等デイサービス:1,043人 日中一時支援:330人 移動支援:128人

C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果	H30数値目標
	利用者数(実績) 利用者数 居宅介護:80実人/月(74実人/月) 短期入所:35実人/月(33実人/月) 同行援護:9実人/月(10実人/月) 児童発達支援:43実人/月(48実人/月) 放課後等デイサービス:90実人/月(95実人/月) 日中一時支援:26実人/月(31実人/月) 移動支援:14実人/月(11実人/月)	

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上) (評価の根拠) 新規ケースも含め、個々のケースに対し障害福祉サービス及び地域生活支援事業によるサービスの提供により適切な支援を実施することで、支援体制を整え、社会で支えていく介護の推進を図ることができた。 (課題・改善策)
C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上) (評価の根拠) 数値目標を達成しているため。 (課題・改善策) 引き続き社会で支える介護の推進を図られたい。

A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)
	平成30年度と同様に取組む。

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	50	基本目標	V 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	障害者(児)の相談事業の充実および社会復帰の促進	主要課題	V-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	障害福祉課	施策の方向	V-1(1)高齢者・障害者施策の充実
担当者職氏名	係長 片岡 雄一	内線番号	6217

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)		
	H29年度と同様に取組む。		

P L A N (計画)	事業の概要		
	障害福祉サービスの利用に必要な情報の提供や助言、支援を行うとともに、地域生活支援センターと連携し、身体障害者相談員、知的障害者相談員および保健師等による全ての障害に対する相談支援体制の充実、社会復帰に向けての支援の促進を図る。		
	H30予算額(千円)	11,752	H30予算額(再掲の場合)
	H30決算見込額	11,831	R1予算額
			11,745
平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)			
①障害者(児)の日常生活等相談、各種福祉サービスの提供。②長生地域活動支援センター、生活支援センターつくも、障害者相談員、保健師等により、全ての障害(身体・知的・精神・児童)に対する電話・窓口相談や家庭訪問等の支援を実施。			

D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入 (添付書類 無)		
	平成30年4月から平成31年1月までの延相談件数 4,734件 <内訳>長生地域生活支援センター:3,498件 障害者相談員:420件 生活支援センターつくも : 581件 保健師:605件		

C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果		H30数値目標
	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 全ての障害に対する相談支援体制の充実を図るとともに、障害者(児)を持つ家族等が抱えている問題を相談事業により整理することで、障害福祉サービス等の利用に結びつけ、社会で支える介護の推進を図ることができた。 (課題・改善策)	
推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等			
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 相談事業により障害福祉サービス等の利用に結びつけられている。 (課題・改善策) 引き続き障害福祉サービスの利用に必要な情報の提供や助言、支援に努められたい。		

令和元年度の取り組み(予定)			
平成30年度と同様に取組む。			

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	51	基本目標	V 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	精神保健相談の実施および社会復帰の支援	主要課題	V-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	V-1(1)高齢者・障害者施策の充実
担当者職氏名	保健師 細内 絵理香	内線番号	25-1725

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・職員向けゲートキーパー講座を「基礎編」「応用編」で継続して実施。 ・特定健診、がん検診時や、各団体での効果的な普及啓発の実施。 ・新生児訪問、乳幼児健診においてフォローする家庭を把握し、継続支援に繋げる。 ・専門職を活用とした妊産婦メンタルヘルス相談、こころの健康に関する相談を新設。 		

P L A N (計画)	事業の概要		
	保健師による「健康相談」や各種健(検)診を通じて、精神疾患を持つ方をはじめとした自殺予防等のための相談を充実させるとともに、精神科病院・保健所等の各相談専門機関や専門家等との連携をはかり、こころの健康づくりの支援に努める。		
	H30予算額(千円)	427	H30予算額(再掲の場合)
	H30決算見込額	275	R1予算額

D O (実施)	平成30年度の具体的な取り組み(年度当初計画)		
	①職員向けゲートキーパー養成講座を実施し窓口対応について知識の普及を図る。(1回)		
	②各健康教育等でのゲートキーパーに関するミニ講話の実施		
	③自殺対策の強化期間に合わせ、3月・9月に精神保健福祉士による「こころの健康相談」を行う。		
	④子育てに悩む母親を対象に、月に1回、精神保健福祉士による「ママのメンタルヘルス相談」を行う。		
	⑤乳幼児家庭訪問事業において、産後うつ啓発をする。		
	⑥職員健診において、心の健康に関する啓発活動をする。		

C H E C K (評価)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を簡条書きで具体的に記入 (添付書類 無)		
	①職員向けゲートキーパー養成講座1回、参加者42人(男性20人、女性22人)		
	②ゲートキーパーに関する出前講座1回、参加者22人(男性3人、女性19人)		
	③こころの健康相談(9月、2月、3月):8回、10人(男性5人、女性5人)		
	④ママのメンタルヘルス相談(毎月設定):5回、5人(男性0人、女性5人)		
	⑤乳幼児家庭訪問事業にて、産後うつに関するチラシ配布と保健指導:396件(産婦)		
	⑥職員健診におけるメンタルヘルスに関するチラシ配布:556人		

C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果		H30数値目標
	①職員研修会を受講し、ゲートキーパーの役割を理解した職員数	成果:36人	①50人
	②各健康教育等でのゲートキーパーに関するミニ講話の実施回数	成果:1回22人	②1回
	③「こころの健康相談」の実施	成果:8回10人	③6回24人
	④「ママのメンタルヘルス相談」の実施	成果:5回5人	④12回24人
	⑤産後うつ啓発	396件	⑤550件
	⑥職員健診でのチラシ配布	556人	⑥700人

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) ゲートキーパー養成講座により、自殺対策への理解と支援を必要とする人への対応について知識の普及ができた。今年度から相談事業(こころの健康相談、ママのメンタルヘルス相談)を新規事業として開始する事ができた。 (課題・改善策) 相談事業の利用者が少なく、対象や相談日の頻度に改善が必要である。	

C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) おおむね数値目標を達成しており、新規事業も開始している。 (課題・改善策) 事業の周知に努め、こころの健康づくりの支援を図られたい。	

C H E C K (評価)	令和元年度の取り組み(予定)		
	全庁的に自殺対策に取り組めるよう、ゲートキーパー養成講座の継続はもとより、自殺対策計画の見直しを行い、職員の理解や他機関との連携を深める。 ママのメンタルヘルス相談をこころの健康相談と統合し、全年齢層を対象に毎月相談日を設定する。(3月、8月、9月は強化月間として回数を増やす)		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	52	基本目標	V 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	男女共同参画の視点を取り入れた防災対策の充実	主要課題	V-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	防災対策課	施策の方向	V-1(2)防災・防犯における男女共同参画の促進
担当者職氏名	主査 白井 憲一	内線番号	7444

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)
	機会があるごとに周知を実施する。新たな環境整備に努める。

P L A N (計画)	事業の概要			
	災害時の避難所における男女のニーズの違いを考慮し、女性や要配慮者に配慮した取り組みを進め、地域防災力の向上に努める。			
	H30予算額(千円)	10,667	H30予算額(再掲の場合)	
	H30決算見込額	10,475	R1予算額	12,221
平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)				
①地域防災訓練において、避難所の運営について啓発する。 ②備蓄品の更新・拡充において要配慮者に必要な物品を考慮する。 ③災害時の円滑な避難のため、指定避難所・指定緊急避難場所の標識案内看板を改修する。(平成30・31年度) ④避難所運営のための検討委員会を組織し、女性の視点を取り入れた、避難所の運営・準備事項を確立する。				

D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入 (添付書類 無)
	①平成30年9月30日に予定していた地域防災訓練においては参加者約250名に対して自らが避難所を運営できるよう自治会長等に指導した。(台風の影響により中止) ②アレルギー対応粉ミルクの更新及び要配慮者も使用できる避難所組立式トイレと自動ラップ式トイレを購入した。 ③指定緊急避難場所・指定避難所40ヶ所のうち20ヶ所の標識案内看板を改修した。 ④消防庁の委託金を活用し、東部小学校をモデルケースに自治会長等による検討会を作り、指定避難所の開設・運営準備についての展示を含めた検討を行った(H30.6~H31.2)

数値目標と平成30年度の成果		H30数値目標

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等	
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 指定避難所の開設・運営準備の検討において、トイレや物干し場の配置を男女で分けるなど検討し、展示を行うことができた。 (課題・問題点) 展示については概ね必要なものを購入したが、全てを備蓄することは難しいため、各指定避難所の備蓄倉庫の容量などを考慮し、今後の備蓄について検討する必要がある。
推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等		
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 女性の視点を取り入れた避難所の開設・運営準備の検討について、評価できる。 (課題・改善策) 引き続き災害時の避難所における男女のニーズの違いを考慮し、地域防災力の向上に努められたい。	

A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)
	・地域防災訓練において、引き続き女性の参加を促す。 ・市民への防災情報の提供について、防災マップと洪水ハザードマップの内容を統合し作成を行う。 ・指定緊急避難場所・指定避難所の標識案内看板について引続き改修を行う。

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	53	基本目標	V 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	自主防災組織の育成	主要課題	V-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	防災対策課	施策の方向	V-1(2)防災・防犯における男女共同参画の促進
担当者職氏名	主査 白井 憲一	内線番号	7444

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)
	災害時の避難所運営には女性の視点が重要であることを防災訓練や出前講座等のあらゆる場で周知し、自主防災組織への女性の参画を促す。

P L A N (計画)	事業の概要			
	平常時および災害発生時に住民自らが被害を防止・軽減するために、地域全体の安全を守る活動を行う自主防災組織について、既存の自治会単位での設立を推進する中で、男性だけでなく女性の参画も促し、育成を図る。			
	H30予算額(千円)	3,976	H30予算額(再掲の場合)	
	H30決算見込額	2,884	R1予算額	3,519
	平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)			
	①千葉県災害対策コーディネーター養成講座を開催時に女性の参加を促す。 ②既存の自主防災組織に対する資機材補助にあたり、女性の意見を取り入れるように促す。 ③出前講座時に自主防災組織への女性の参加を促す。			

D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を簡条書きで具体的に記入 (添付書類 無)
	①災害対策コーディネーター養成講座(H31.2.9~11.16の4日間開催 講座修了者51名うち女性5名) ②防災資機材の追加購入に対する補助については、資機材の選定にあたり女性の視点も取り入れるよう口頭で説明。(13件:トランシーバー、発電機、消火器等) ③出前講座においては、自主防災組織の必要性や避難所運営には女性の視点を取り入れることが必要だと講義した。(13回)

C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果	H30数値目標
	(44) 自主防災組織の新規設立 36団体以上 成果:4団体	5団体
	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等	
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 災害対策コーディネーター養成講座において、女性リーダーの参加を呼びかけたところ、5名の参加があり、積極的に研修に臨んでいた。 (課題・改善策) 自主防災組織については、自治会を母体としているところが多く、元々女性の参加が少ない傾向にある。災害時の避難所運営には女性の視点が重要であることを出前講座等で引き続き周知していく必要がある。
推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) おおむね数値目標を達成しており、女性リーダーの参加について評価できる。 (課題・改善策) 地域防災訓練や出前講座等で、女性の視点の重要性について引き続き周知されたい。

A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)
	災害時の避難所運営に女性の視点が重要であることを地域防災訓練や出前講座等のあらゆる場で引き続き周知し、自主防災組織への女性の参画を促す。

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	54(生)	基本目標	V 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	地域防犯体制の充実	主要課題	V-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	生活課	施策の方向	V-1(2)防災・防犯における男女共同参画の促進
担当者職氏名	係長 貝沼 剛	内線番号	7256

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)		
	地域の防犯活動を男女が共に担い、参加を図るために、防犯組合、自治会と協力し、また広報や市ホームページ等で、より身近な防犯組織としての自主防犯団体の育成と結成を促進する。		
P L A N (計画)	事業の概要		
	住民自らが「自分たちの住む地域の安全は自分たちで守る」という強い連帯意識で実施している地域防犯活動について支援を行い、男女がともに担うことにより、地域防犯力の向上を図る。		
	H30予算額(千円)	366	H30予算額(再掲の場合)
	H30決算見込額	348	R1予算額
平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)			
①自主防犯団体を育成し、活動の助成を行う。 ②防犯組合、自治会等と協力し、自主防犯団体の結成を促進する。 ③防犯パトロールを実施する。			
D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入 (添付書類 無)		
	①自主防犯団体の活動把握及び活動保険の加入をした。(35団体1,084人) ②茂原市防犯組合へ補助金を交付し、活動の推進を図った。 ③安全安心パトロール(青パト)については事業者へ委託し、採用にあたっては男女平等に機会を与えている。その他パトロールについても男女平等に機会を与え、参加を促した。		
C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果		H30数値目標
	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 市の犯罪認知件数は、事務所荒らし、出店荒らし、部品狙い、その他非侵入盗等が増加したが、昨年(803件)に比べ130件、約16%の減であった。活動時間の制約があり、犯罪認知件数の増減から効果を評価することは難しいが、各地域で各団体が活発な活動をしており、効果があったと考えられる。 (課題・改善策) 防犯活動という性格上、活動の中心が男性であるため、幅広い年代の男女の参画を促すことが課題である。	
推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等			
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 各地域で各団体が活発な活動をしていることが評価できる。 (課題・改善策) 男女の役割分担を行い、より身近な防犯組織としての自主防犯団体の育成と結成の促進に努められたい。		
A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)		
	地域の防犯活動を男女が共に担い、参加を図るために、防犯組合、自治会と協力し、また広報や市ホームページ等で、より身近な防犯組織としての自主防犯団体の育成と結成を促進する。		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	54(学)	基本目標	V 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	地域防犯体制の充実	主要課題	V-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	学校教育課	施策の方向	V-1(2)防災・防犯における男女共同参画の促進
担当者職氏名	主幹 金坂 暁		7928

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)
	H30年度においても、継続して同様の取り組みを実施する。

P L A N (計画)	事業の概要		
	住民自らが「自分たちの住む地域の安全は自分たちで守る」という強い連帯意識で実施している地域防犯活動について支援を行い、男女がともに担うことにより、地域防犯力の向上を図る。		
	H30予算額(千円)	139	H30予算額(再掲の場合)
	H30決算見込額	139	R1予算額
			139
平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)			
①下校時間に地域で児童生徒を見守る「わん！だふるタイム」を周知。 ②学校ボランティアに登録した方に対し、不測の事態に備え、学校支援ボランティア保険に加入。 ③学校、家庭、地域連携により、子どもの安全を守る。			

D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入 (添付書類 無)
	①月、金曜日の午後3時に、防災無線での呼びかけ。(小中学校の休業期間を除く。) ②市ウェブサイトでの啓発。 ③広報等での周知。

C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果		H30数値目標
	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 男女を問わず、多くの市民の協力を得て、子どもたちの見守り活動が実施されている。犯罪の防止、抑止に有効な活動であると考えており、今後も継続して実施する。 (課題・改善策) 「わん！だふるタイム」の放送時間帯以外でも、幅広い世代の方々の参加が必要と考える。	
	推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等		
B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 担当課に同じ。 (課題・改善策) 引き続き、広報やウェブサイトでの周知を図りたい。		

A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)
	H31年度においても、継続して同様の取り組みを実施する。

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	55	基本目標	V 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	自らの健康を自ら管理する意識づくりについての啓発	主要課題	V-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	V-2(1)生涯を通じた健康支援
担当者職氏名	健康指導係長 石井 作之	内線番号	7244

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)		
	各種検診について、ホームページや広報の他、自治会を通じて「各種検診のお知らせ」を毎戸配布するなど周知に努めるとともに検診会場・市民健康講座・出前講座等におけるPRなど、あらゆる機会を活用し健康についての意識啓発及び受診勧奨に取り組む。また、同時受診の拡充による利便性の向上及び未受診者への個別勧奨・再勧奨等により受診率の向上を図る。		

P L A N (計画)	事業の概要			
	疾病の早期発見を目的とした各種検診(健)の受診勧奨と健康相談、健康教育など疾病予防に向けた保健事業を推進する。 また、女性特有のがんの早期発見及び受診率が低い男性への啓発を図ることで、男女ともに生涯健康でいられる社会づくりに努める。			
	H30予算額(千円)	96,310	H30予算額(再掲の場合)	96,272
	H30決算見込額	99,559	R1予算額	98,980
平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)				
①肺がん検診 : 45～69歳の前年未受診者で、過去5年以内に受診歴のある方に個別勧奨を実施。 ②胃がん検診 : // ③大腸がん検診 : // ④子宮がん検診 : 新規20歳及び25・30・32・34・36・38歳に無料クーポン券を配布。 25～50歳の28年未受診者で、26・24年に受診歴のある方に個別勧奨を実施。 未受診者への再勧奨を実施。 ⑤乳がん検診 : 新規40歳及び45・50・55・60歳に無料クーポン券を配布。 35～69歳の29年未受診者で、過去5年以内に受診歴のある方に個別勧奨を実施。 未受診者への再勧奨を実施。 ⑥前立腺検診 : 新規50歳の国保未加入者及び55～79歳の前年未受診者で、過去5年以内に受診歴のある方に個別勧奨を実施。 ⑦肝炎ウイルス検診 : 対象者の年齢制限を撤廃。 国保未加入者で、40歳から75歳の5歳刻みの方を対象に個別勧奨を実施。 ⑧骨粗鬆症検診 : 閉経時期を迎える40・45・50・55歳の方に個別勧奨を実施。 ⑨特定健診及びがん検診会場にて、がん検診受診の受診勧奨及び申し込みブースを設置。 ⑩広報・フェイスブックでの周知及び「各種検診のお知らせ」の毎戸配布。 ⑪出前講座等を活用した普及啓発活動の実施。 ⑫健康意識の向上を図るため、他課と連携した普及啓発活動を実施。 ⑬国の推奨するリーフレットを活用した個別勧奨の実施。				

D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入 (添付書類 無)		
	上記取り組み計画のとおり実施		

C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果		H30数値目標
	(45)がん検診の受診率50%(国の目標) 成果:肺がん 11.8%、胃がん 5.2%、大腸がん 10.2%、子宮がん 7.4%、乳がん 20.4%		全検診の受診者増
	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 様々な機会・方法を活用して勧奨を実施し、各種検診に対する意識啓発及び受診勧奨に努めた。その結果、全ての検診で受診者数が増加した。 (課題・問題点) 継続した受診に結びつけることが重要になる。	
推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等			
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 個別勧奨の実施や受診者の増加について評価できる。 (課題・改善策) 担当課に同じ。		

A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)		
	各種検診について、ホームページや広報の他、自治会を通じて「各種検診のお知らせ」を毎戸配布するなど周知に努めるとともに検診会場・市民健康講座・出前講座等におけるPRなど、あらゆる機会を活用し健康についての意識啓発及び受診勧奨に取り組む。また、同時受診の拡充による利便性の向上及び未受診者への個別勧奨・再勧奨等により受診率の向上を図る。		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	56	基本目標	V 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	人生の各段階に応じた健康相談と家庭訪問の実施	主要課題	V-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	V-2(1)生涯を通じた健康支援
担当者職氏名	保健師 石野 祐子	内線番号	25-1725

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)
	自主サークルが、ままのわやママ・パパ教室と同時に開催することで、妊産婦が交流できる仕組みづくりを実施している。次年度も自主サークルと共に事業を展開し、子育て支援の強化を図る。

P L A N (計画)	事業の概要
	生涯健康に関して安心して過ごせるよう、妊娠期から高齢期の各々の状態に応じた健康相談や家庭訪問を行う。困難事例に対しては、他団体・他機関と連携をとり、支援する。
	H30予算額(千円) 5,105 H30予算額(再掲の場合)
	H30決算見込額 3,093 R1予算額 3,574
	平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)
	①妊娠～出産まで一貫した母子保健サービスを地区担当保健師を中心として実施する ②生涯を通じ、自己の健康を適切に管理・改善するための健康教育・健康相談を行う。 ③電話・面接・家庭訪問を通じてあらゆる世代の人々への健康支援を推進する。

D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)
	①妊娠期から3歳児健診までは、地区担当保健師が一貫した支援が行えるように健診事業に加え訪問等で支援を行った。 ②助産師相談(年19回)参加人数延92人(全員女)、ままのわ・ままのわミニセミナー(年16回)参加人数延273人(全員女)、育児パパおとこ塾(年3回)参加人数延63人(男26人、女37人)、出前講座(年26回)参加人数延733人、いきいきサロン(年27回)参加人数延672人、健幸フライデー(年12回)参加人数延229人※2月末、思春期教室(年6回)参加人数延678人、定例栄養相談延68人、定例歯科相談延52人 ③電話延1,265人(母子798、成人467)、面接延825人(母子613、成人212)、訪問延1,065人(母子832、成人233)実施

C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果	H30数値目標
	(数値目標と平成30年度の成果の達成状況を示すグラフ領域)	

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上) (評価の根拠) 妊娠期から出産1年未満については、各種相談事業や教室、訪問指導などを通してきめ細やかな支援ができた。また思春期についても小中学校と連携して、性教育並びに自身の健康を守るため意識付けなどについて健康教育ができた。成人・高齢者については健幸フライデーの実施、いきいきサロンへの参画などを通じ、健康づくりや介護予防に関する健康教育を実施できた。健幸フライデーでは予想以上に好評で参加者数が伸びている。 (課題・改善策) 妊娠期から子育て期にかけては、夫の育児参加を促すため育児パパおとこ塾を開催しているが、受講者数の伸び悩みがあり、開催方法の工夫が必要である。思春期については、市内の6小中学校で開催しているが、より多くの小中学校で開催できるようにしたい。健幸フライデーでは、年齢制限をしていないが、高齢者の参加が多く、青壮年期の参加者数の増加を見込みたい。

C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上) (評価の根拠) 各種相談事業や教室、訪問指導などの支援が評価できる。 (課題・改善策) 男性の育児参加を促すため、各種教室や講座の周知を図られたい。

A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)
	・育児パパおとこ塾は、夫の参加が多い、ママ・パパ教室に組み込み、多くの男性に受講してもらえるようにしていく。 ・健幸フライデーは複数会場での実施や、若い人向けの企画、PR方法の検討を実施する。 ・いきいきサロンについては、健康相談の充実をはかり、高齢者支援課と相談者の情報共有、支援へと繋げる。

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	57	基本目標	V 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	市民参加の健康づくりの推進	主要課題	V-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	V-2(1)生涯を通じた健康支援
担当者職氏名	栄養士 御園 未来	内線番号	25-1725

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)		
	改選2年目となるので更なる知識と技術を身につけ、推進員相互の親睦を図りながら健康づくり活動が行われるように支援していく。また、仲間づくりをしながら自信とやりがいを持って普及活動が行われるように支援する。研修会年10回、普及活動17回を予定。		
P L A N (計画)	事業の概要		
	市民が自主的に健康管理に努め、市民参加型の健康づくりを推進するため、地区組織である健康生活推進員の育成に努める。 健康生活推進員により、乳児から高齢者まで様々なライフステージを対象とした健康づくり料理教室、食育教室、運動教室、ウォーキング教室等を開催し、正しい健康知識の普及活動を積極的に行う。		
	H30予算額(千円)	630	H30予算額(再掲の場合)
	H30決算見込額	630	R1予算額
D O (実施)	平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)		
	①本年度も「ゲー・パー食生活と運動習慣の定着で健康づくり」を目標に研修会を年10回実施し、健康生活推進員としての知識を身につけてもらう。 ②研修会で学んだことを運動・ウォーキング教室7回、各種料理教室10回、普及活動として行っており、市民の健康づくりをサポートする。		
C H E C K (評価)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入 (添付書類 無)		
	①市民がより健康で元気になるために生活習慣病の予防 ～ゲー・パー食生活と運動習慣の定着で健康づくり～を目標に研修会を実施し、健康生活推進員としての知識を身につける研修会を実施。(10回・延べ305人出席) ②普及活動としてウォーキング教室等運動教室を7回開催。(男33人、女102人参加) また、健康づくり料理教室等料理教室を10回開催。(男51人、女146人) ③塩分測定家庭訪問79軒		
C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果		H30数値目標
	(46) 健康教室等の開催回数 550回以上(年110回以上) 成果:151回		年110回以上 年1,100人以上
	(47) 健康教室等の参加者数 延べ5,500人以上(年1,100人以上) 成果:1,166人		
	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等		
A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)		
	3年任期の最終年度となるので、今までの活動の中で得た知識を市民により広く普及が行われるように支援していく。また、推進員がやりがいを見出し、普及活動が自主的に実施できるように支援する。研修会年10回、普及活動22回を予定。		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	58	基本目標	V 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	スポーツを通じての健康増進	主要課題	V-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	体育課 体育振興係	施策の方向	V-2(1)生涯を通じた健康支援
担当者職氏名	副主査 中村 勇人	内線番号	7972

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)		
	H29度に引続き市民のニーズに沿うような各種スポーツ教室・市民体育祭やみんなでラジオ体操会&ファミリースポーツまつり、タッチバレーボール大会等を開催する。なお、幅広い年齢層の男女に均等に参加していただけるよう、主催教室の選定や市民体育祭などは各種団体と連携を図り、情報提供に努めたい。		

P L A N (計画)	事業の概要		
	生涯スポーツの観点に立ち、市民誰もが参加できるスポーツ・レクリエーションの普及に努める。また、市民がスポーツによる楽しさや爽快感と市民相互の連帯感の醸成などの精神的充足感を得ることができるよう、事業の充実に努める。開催にあたっては、土日や夜間に開催するなど、男女がともに参加する機会の確保に努める。		

H30予算額(千円)	9,595	H30予算額(再掲の場合)	
H30決算見込額	8,034	R1予算額	8,568

D O (実施)	平成30年度の具体的な取り組み(年度当初計画)		
	<p>①各種スポーツイベントを開催し、誰もが気軽にスポーツに触れ合う機会を提供する。また、広報・ウェブページ・フェイスブックはじめ、民間情報誌等を活用しより多くの市民に情報提供を行い、老若男女が参加できるように努める。</p> <p>②スポーツ推進計画に基づき、関係部署とより一層の連携を図り市民1人1スポーツを目指す。</p>		

平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)

①各種スポーツ教室:ジュニアバレーボール教室(12月16日(日))180人(男0人、女150人)、太極拳教室(火曜日:前後期各10回)1,000人(男13人、女87人)、ヨーガ教室(金曜日:前後期各10回)2,010人(男6人、女195人)、美と健康づくり体操教室(木曜日:前後期各10回)1,060人(男0人、女106人)、エアロビクスダンス教室(月曜日:16回)480人(男0人、女30人)エンジョイスports(日曜夜間:計11回)582人(男73人女141人)、市民体育祭(8月19日~11月24日)23競技、実施3,679人(男女参加比:およそ5対5)、みんなでラジオ体操会&ファミリースポーツまつり(5月20日(日))316人(男女参加比:およそ5対9)、タッチバレーボール大会(7月1日(日))138チーム、684人(男女参加比:およそ5対4)、茂原市スポーツレクリエーション祭(3月3日(日))348人(男女参加比:およそ5対6)②スポーツもばら(広報もばら内)年3回掲載。各種事業の開催に際しては、市ウェブページ、また民間情報誌等を活用し、より多くの市民に情報提供した。また、スポーツ情報掲示板の市民体育館および市役所への設置により、茂原市のスポーツ情報を発信した。(およそ隔月で情報を更新)

C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果		H30数値目標
	<p>(48) スポーツ・レクリエーション教室等の開催回数 目標:700回以上(年140回以上) 成果:115回</p> <p>(49) スポーツ・レクリエーション教室等の参加者数 目標:延40,000人以上(年8,000人以上) 成果:10,339人</p>		<p>年140回</p> <p>年8,000人</p>

担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等

A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 主催教室にあたっては、土日や夜間に開催するコースを設けることにより、市民誰もが参加する機会を確保することができた。また、茂原市発祥の新しいスポーツ、「タッチバレーボール大会」を開催した結果、参加者数の増加に繋がった。参加者の男女比については、教室によって偏る傾向が見られるが、老若男女誰もが参加できる、新たなスポーツ「タッチバレーボール大会」を開催することで、男女とも参加数が増加した。 (課題・改善策) 引続き老若男女誰でも気軽に参加できるよう、情報提供に努めたい。
----------------------	---

推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等

A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 開催日を工夫し、土日や夜間に開催することで参加者が増加したことについて、評価できる。 (課題・改善策) 担当課に同じ。
----------------------	--

令和元年度の取り組み(予定)

A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)		
	H30度に引続き市民のニーズに沿うような各種スポーツ教室・市民体育祭やみんなでラジオ体操会&ファミリースポーツまつり、タッチバレーボール大会等を開催する。なお、幅広い年齢層の男女に均等に参加していただけるよう、主催教室の選定や市民体育祭などは各種団体と連携を図り、情報提供に努めたい。		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	59	基本目標	V 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	勤労妊婦の母性健康管理対策の推進	主要課題	V-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	V-2(2)安心して妊娠・出産できる環境づくり
担当者職氏名	保健師 小沼 文	内線番号	25-1725

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)
	次年度も継続して各種事業や電話、家庭訪問、窓口面接等において妊婦や産婦だけではなく夫等の周囲の方に対しても周知を図っていく。

P L A N (計画)	事業の概要			
	妊娠、出産を理由とする不利益取り扱いを受けないことのないよう、妊娠届出時、ママ・パパ教室、育児パパおとこ塾、家庭訪問等においてリーフレットの配布と説明、相談先の周知をはかる。			
	H30予算額(千円)	0	H30予算額(再掲の場合)	0
	H30決算見込額	0	R1予算額	0

C H E C K (評価)	平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)
	妊産婦の危険有害業務の就業制限等の母性保護制度や、妊娠中および出産後の女性労働者に必要な母性健康管理の措置として、妊娠届出時やママ・パパ教室の参加者に「母性健康管理指導事項連絡カード」の情報提供を行い、利用の普及促進を図る。 また、母子健康手帳配布時に妊婦およびパートナーと面接して就労状況や健康状況を把握するとともに、妊娠や出産を理由とする差別的取り扱いの対象とならないよう、法制度等情報提供を行う。また保健センター内にポスターを掲示し、来所した方へ普及する。

D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入 (添付書類 無)
	①妊娠届出時面接にて連絡カード利用について周知と相談、指導を行った。(3月末予定発行数510人) ②ママ・パパ教室において妊娠育児と就労について講話を行った。(H30参加実人数249人)

C H E C K (評価)	数値目標と平成30年度の成果	H30数値目標
	(50) 母性健康管理指導事項連絡カードの対象妊婦への認知率 目標:100% 成果: 100%	実施率 100%

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上) (評価の根拠) 母子健康手帳発行時の面接ではすべての妊婦に母性健康管理指導事項カードの紹介や母体保護法などの説明した。また、相談者に合わせた相談を行うことができた。 (課題・改善策) 平成30年度からの母子健康手帳には母性健康管理指導カードが掲載されておらず、別途リーフレットを配布し、周知を図った。

C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上) (評価の根拠) 担当課に同じ。 (課題・改善策) 勤労女性の権利についての周知及び産後も働きながら子育てしやすい環境づくりに取り組んでいただきたい。

A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)
	平成30年度と同様に母子健康手帳発行時に保健師が面接し、健康状態や就労状況などを確認しながら、妊娠・出産による不利益な扱いを受けないように支援していく。また、ママ・パパ教室などを通して、妊婦だけでなく家族にも勤労女性の権利について講話し、産後も働きながら子育てしやすい環境づくりに取り組む。

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	60	基本目標	V 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	安心して妊娠・出産するための支援	主要課題	V-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	V-2(2)安心して妊娠・出産できる環境づくり
担当者職氏名	副主査 三枝 亮平	内線番号	7243

A C T (改善)	平成29年度末における平成30年度の取り組み(予定)
	引き続き助成対象となる夫婦に対して正確な情報を提供することに努める。

P L A N (計画)	事業の概要	
	子どもを産み育てたいという希望を持ちながら子どもが出来ない夫婦に対し、特定不妊治療等に要する費用の一部を助成することにより当該夫婦の経済的負担軽減を図り、安心して妊娠・出産ができるよう支援する。	
	H30予算額(千円)	3,120
	H30決算見込額	2,933
	H30予算額(再掲の場合)	
	R1予算額	2,620
平成30年度の具体的取り組み(年度当初計画)		
①特定不妊治療費から「千葉県特定不妊治療費助成事業による助成額」を差し引いた金額について、10万円を上限として助成する。		
②男性不妊治療(精巣内精子回収術等)を必要とする方について、治療費から「千葉県特定不妊治療費助成事業による助成額」を差し引いた金額について、10万円を上限として助成する。		
③男性不妊検査に係る費用を1万円を上限として助成する。		

D O (実施)	平成30年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入 (添付書類 無)
	①特定不妊治療費助成: 28件(平成31年2月末現在) ②男性不妊治療(精巣内精子回収術等): 0件(平成31年2月末現在) ③男性不妊検査: 2件(平成31年2月末現在) ④広報もばら、茂原市ウェブサイトにて制度の周知をおこなった。また、県の助成窓口である保健所にチラシの設置を依頼した。

数値目標と平成30年度の成果		H30数値目標
①特定不妊治療費助成: 28件 (平成31年2月末助成決定件数)		①30件
②男性不妊治療(精巣内精子回収術等): 0件(平成31年2月在助成決定件数)		②1件
③男性不妊検査: 2件(平成31年2月末助成決定件数)		③2件

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等	
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 特定不妊治療費助成については、概ね数値目標を達成した。男性不妊検査については数値目標どおりの助成決定を行った。なお、男性不妊治療については申請がなかった。 (課題・問題点) 不妊に悩む夫婦が経済的な理由で子供を持つことをあきらめることがないよう、引き続き制度の周知を行う。
推進委員会による2次評価とその根拠、男女共同参画の視点からみた成果・課題・改善策等		
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) おおむね数値目標を達成している。 (課題・改善策) 引き続き制度の周知を図りたい。	

A C T (改善)	令和元年度の取り組み(予定)
	引き続き助成対象となる夫婦に対して正確な情報を提供することに努める。